

第七十六回帝國議會  
衆議院

國家總動員法中改正法律案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案  
國家總動員法中改正法律案(政府提出)(第二四號)

會議

昭和十六年二月六日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山崎達之輔君

理事伊藤 五郎君 理事上田 孝吉君

理事小山倉之助君 理事中野 治介君

理事長井 源君 理事原口初太郎君

理事守屋 榮夫君

淺沼稻次郎君 板谷 順助君

大口 喜六君 加藤 綱一君

片山 哲君 勝田 永吉君

金井 正夫君 川崎末五郎君

川島正次郎君 坂本宗太郎君

清水留三郎君 田万 清臣君

高田 耘平君 高橋 義次君

中島彌次郎君 中原 謹司君

中村 梅吉君 中村三之丞君

馬場 元治君 濱野徹太郎君

原 惣兵衛君 原 玉重君

原 夫次郎君 肥田 琢司君

匹田 銳吉君 深澤豐太郎君

古島 義英君 牧野 賤男君

松村 光三君 松山常次郎君

山本 条吉君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

商工大臣 小林 一三君

逓信大臣 村田 省藏君

國務大臣 星野 直樹君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 富田 健治君

企畫院次長 小畑 忠良君

企畫院部長 柴田彌一郎君

企畫院部長 三浦 一雄君

企畫院部長 竹內 德治君

情報局總裁 伊藤 述史君

情報局次長 久富 達夫君

農林次官 井野 碩哉君

商工省監理局長 長谷川公一君

物價局長官 牧 檣雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法中改正法律案(政府提出)

○山崎委員長 ソレデハ開會致シマス

○古島委員 議事進行デ一言發言ヲ許シテ

戴キタイト思ヒマスガ、私ハ國家總動員法

ノ審議ニ付キマシテハ、物資ノ動員デアル

トカ、勞務ノ動員デアルトカ、或ハ金融ノ

動員デアルトカ、斯ウ云フコトハ無論必要

デアリマスガ、ソレヨリモモット必要ナコ

トハ、思想ヲ統一シテ精神ノ總動員ヲスル

ト云フコトガ、ヨリ多ク必要ナコトダト思

フノデアリマス、ソレデ昨日モ司法省ノ御

連中ニ承ツタノデアリマスガ、要領ヲ得ズ

シテ終ツタノデアリマス、而モ質問ハ打切

ラスニモ拘ラズ、寧ロ打切ツタカノ如ク見

エテ居リマス、サウシテ私ノ言ウタ事項ニ

付テハ取調ベテ返答ヲスルト云フコトデア

リマシタガ、豫算委員會ノ速記録ヲ見マス

ト、モウ既ニ問題ニナツテ居ルノデアリマ

ス、一月二十九日ニ此ノ問題ガ出テ、其ノ

際ニモ取調ベテ返答ヲスルト言ウテ居ルノ

デアリマスガ、一月二十九日カラ昨日マデ取

調ガ出來ナイヤウデハ、政府ハ洵ニ怠慢至極

ダト思フノデアリマス、ソコデ改メテ私ハ總

理大臣、內務大臣、司法大臣ノ三相ニ向ツテ

此ノ問題ヲ承リタイト思フノデアリマス、就テ

ハ總理大臣、司法大臣、內務大臣ニ必ズ出席

スルヤウニ取計ラツテ戴キタイノデアリマ

ス、尙ホ本審議ニ付テ、新聞デ承リマス、

八日ノ日頃マデニ審議ヲ済マスト云フヤウ

ナ御意見ダト聞イテ居リマス、私ハ初メ打

合セノ會ニ居リマセズデシタカラ、其ノコ

トヲ知ラナカツタノデアリマスガ、若シサ

ウダトスレバ、餘リニ審議ガ杜撰ニナリハ

シナイカト云フ心配モアルノデアリマス、

會デ七十三議會ノ際デアリマスガ、國家總

動員法案ガ出マシタ時ニハ、二月二十五日

カラ三月十六日マデ審議ヲ進メタノデアリ

マス、左様ナ長イ期間掛ツテ進メマシタ國

家總動員法ノ大部分ト云フモノガ、改正ヲ

サレル今回デアリマスルカラ、是ガ到底一

週間ヤ十日デ出來ル管ハナイノデアリマス、

然ルニ拘ラズ之ヲ八日ニ上ゲテシマフトカ、

十日ニ上ゲルト云フコトハ、是ハ審議ヲ全ウ

セズシテ結論ニ達スルト云フノデアリマシ

テ、是レコソハ委員會ガ責ヲ果サザルモノ

デアルト云フコトニ相成リマスカラ、十分

審議ヲ盡スヤウニヤツテ行キタイノデアリ

マス、ドウカ其ノ意味ニ於テ委員長カラ各

相ニ向ツテ出席ヲ強く要求スルヤウニ、尙

ホ審議ニ付テハ餘リ急ガズニ、ユツクリ一

ツ進メテ戴キタイト云フコトヲ、議事進行

ニ兼テ申上ゲル次第デアリマス

○山崎委員長 一寸速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○山崎委員長 デハ速記ヲ始メテ——企畫

院總裁ガ見エマシタカラ、ドウゾ……

○淺沼委員 一點ダケ御伺ヒシタイ、新聞

ノ報ズル所ニ依リマス、政府ニ於テハ國

家總動員審議會ヲ改組擴充スルト云フヤウ

ナコトガ見エテ居ルノデアリマス、國家總

動員法ノ改正ニ基キマシテ、國家總動員法

ノ持ツテ居リマス性質ガ、經濟全權委任法

ト云ツタヤウナ形式ヲ非常ニ整ヘテ來ルヤ

ウニナル結果トシテ、經濟人ヲ新タニ加ヘ

ヨウト云フヤウナ意思ガアルヤウデアリマ

スガ、サウ云フ御意思ガアリマスカドウカ、

此ノ際伺ツテ置キタイト思ヒマス

○星野國務大臣 總動員審議會ニ付キマシ

テハ、勿論國家總動員法ノ規定ニ基イテ居

ルノデアリマシテ、今回ノ國家總動員法ノ改

正ニハ其ノ點ハ觸レテ居リマセス、併シ今

日ノ事態カラ鑑ミマシテ、國家總動員法ノ意

義ハ益々重大ニナツタノデゴザイマスガ故

ニ、總動員審議會ノ職責モ益々重大ニナツテ居

ルコトハ言フ俟チマセス、隨ヒマシテ是ガ運

用其ノ他ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテモ

出來得ル限り本然ノ效用ヲ發揮スルヤウニ

色々努メタイト思ツテ居リマス、併シ只今

御話ノヤウニ、之ニ經濟界ノ代表者ヲ新タ

ニ加ヘルカドウカト云フヤウナ問題ニ付キ

マシテハ、元來國家總動員法ト云フモノガ、

國民ニ非常ニ重大ナル、謂ハバ權限委任立法アリマシテ、ヤハリ貴衆兩院ノ方々ガ出テ居ラレト云フコトガ、ソコニ非常ニ政治的ノ意味ガアリ、又實質的ニモ意味ガアルト思ヒマス、隨ヒマシテ單ニ經濟界ノ人達ヲ加ヘルト云フヤウナコトガ宜イカド

ウカト云フコトニ付テハ、必ズシモサウトモ考ヘテ居リマセヌ、唯臨時委員ト云フ制度モゴザイマスカラ、適當ナル問題ニ付キマシテソレノ臨時委員ト云フヤウナ方法ノ活用ニ依リマシテ、經濟界ニ關係セル學識經驗ヲ持ツテ居ル方々ニ御參加ヲ願フト云フヤウナコトハ、是ハ活用シテ宜イデハ

ナイカ、斯ウ存ジテ居リマス、併シ立テ方ト致シマシテハ、ヤハリ現在ノヤウナ立テ方デ行クコトガ宜イダラウ、斯ウ思ツテ居リマス

○淺沼委員 國家總動員審議會ヲ審議致シマス事項ト云フモノハ、當然立法府ノ權限ヲ行政府ニ委任シタ事項ニ就テ審議スル結果ニナルノデアリマシテ、其ノ成立ノ趣旨カラ考ヘマシテモ、貴衆兩院議員ノ基礎ノ上ニ考ヘラレテ然ルベキダラウト思ヒマス、

サウ云フ點篤ト御考慮ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、更ニ國家總動員審議會ノ運用ノ點デアリマスガ、今ハ委員數ヲ五十名ト云フ工合ニ大體限ツテアルト思フノデアリマスガ、此ノ際政府ニ於キマシテハ、各條項別ト言ツテハ語弊ガアルカモ知レマセ

スガ、勞務動員ニ關スル委員會、或ハ資金統制ニ關スル委員會、或ハ經濟團體統制ニ關スル委員會ト云ツタヤウニ、各條項別ニ分科會ノ如キモノヲ設ケテ、モツト擴大ラシテヤルト云フ御考ヘヲ持ツテ居ラナイカド

ウカ、此ノ際承ツテ置キタイト思ヒマス

○星野國務大臣 左様ナ點モ一ツ十分考慮致シタイト思ツテ居リマス

○山崎委員長 宜シウゴザイマス

○山崎委員長 ソレデハ片山君、企畫院總裁ニ何カ御質問ガアリマシタラドウゾ

○片山委員 今淺沼君ノ御質問ヲ聽キ損ヒマシタノデ、或ハ重複スルカモ知レマセヌ

ガ、若シサウ云フ點ガアリマシタナラバ御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス、本法施行ニ關スル重要事項ハ國家總動員審議會ノ議ニ付スルト云フコトニナツテ居リマスルガ、

是ハ發動ノ際ノ勅令ノ内容ダケヲ指シテ居ルノデセウカ、或ハ其ノ他ニ付テモ審議會ノ議ニ付スルヤウナ場合ガアリ得ルコトヲ想像サレテ居リマセウカ

○星野國務大臣 只今御話ノヤウニ、是ハ、勅令ノミナラズ、運用ノ方針ニ付キマシテモ、重大ナルモノニ付テハ付スルコトガアルト云フコトヲ考慮シテ居リマス

○片山委員 總動員審議會ノ官制ニ依リマスルナラバ、審議會ハ關係各大臣ニ建議スルコトヲ得トアリマスガ、此ノ建議ハ、諮問ヲ受ケテ勅令ノ内容ノ審議ヲスル際ノミナラズ、別個ニ建議ヲナス爲ノ會合ヲ開キ、

或ハ獨特ノ建議ヲナシ得ル權限ヲ付與シテ居ルノデアリマセウカ、御伺ヒ致シマスト思ヒマス

○星野國務大臣 仰セノ通りデ差支ヘナイト思ヒマス

○片山委員 本法ノ改正ニ依リマシテ、今後勅令ノ發布ガ非常ニ多ク、本法發動ニ依ル色々ノ場合ヲ想像サレ得ルノデアリマス

ルガ、此ノ建議ノ場合ガ十分ニ活用セシメテ、勅令ノ運用等ニ付キマシテモ更ニ建議セシメルト云フ風ニ擴大スルコトガ必要カ

ト思フノデアリマス、即チ本法ノ重要事項ニ關シマシテハ、發動ノミナラズ其ノ内容ニ付テ審議會ノ議ニ付シ、審議會ハ獨特ノ建議ヲナシ得ルト云フノデアリマスルカラ、

勅令ノ運用ニ付キマシテモ十分建議ノ機會ヲ與ヘルヤウニスルコトガ必要ダラウト思フノデアリマス、本來議會ノ議ヲ經テ法律案トシテ公布スベキ事項ガ非常ニ多ク、戰

時ト云フ特別立法形態ヲ以チマシテ勅令ニ委託シテ居ルノデアリマス、其ノ勅令ノ内容ハ、議會ノ議ニ付セズシテ省令或ハ勅令ト云フヤウナ形デ出ルノデアリマスルカラ、

議會ハ之ニ關與シテ居ナイノデアリマス、ソレデ此ノ審議會ハ、先程淺沼君ガ言ハレタト思ヒマスルガ、更ニ内容ヲ充實シ、議會ノ構成分子ヲ之ニ多分ニ入レマシテ、サ

ウシテ勅令ノ發動、運用、勅令ノ實際ノ效果等ニ付キマシテモ十分建議スル機會ヲ與ヘテ貰ヒタイシ、又與ヘルコトガ至當デア

ラウト思フ、今後ノ復雜ナル經濟局面ニ對應致シマシテ、是非トモ其ノ關係ノ調和ナリ或ハ民間ノ協力ヲ圖ツテ行ク上カラ申

シマシテモ、最モ必要デアラウト思フノデアリマスガ、是等ニ關シマシテ企畫院總裁ノ意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○星野國務大臣 御尤モノ御話ト思ヒマス、要スルニ今日ノ如キ時代、官民一體トナツテ行カナケレバナラナイ際デゴザイマス

カラ、斯カル機關ト云フモノハ官民一致ノ一ツノ現ハレノ機關デアラウト思ヒマスノデ、最大能力ヲ發揮スルヤウニ十分考慮致シタイト思ヒマス

○山崎委員長 片山君宜シウゴザイマス

○片山委員 宜シウゴザイマス

○山崎委員長 原口君企畫院總裁デオ宜シケレバドウゾ

○原口委員 總動員法案ニ付キマシテハ委員會デ色々質疑應答ガアリマシタ、私共審議ノ爲ニ戴キマシタ經濟新體制確立要綱、

此ノ資料ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス、實ハ審議ノ最初ニ御伺ヒシタカツタノデアリマスガ、他ノ委員カラ質疑ヲセラレ、或ハ

私丁度斯ウ云フ新體制ガ政府ニ於テ御決メニナル時ニハ國內ニ居リマセヌデシテ、此ノ經過モ能ク知ラナイモノデスカラ、遅レ

走セデアリマスガ、御伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ冒頭ノ第一ニ基本方針ト云フモノ

ガアリマシテ、是ハ經濟新體制ノ所謂基本デアリマス、此ノ事ガ實ハ私ハ我が國ノ時局ガ眞ニ重大ニナツタ一大要素ト考ヘテ居

ルノデアリマス、此ノ基本方針ヲ御決メニナリマシタコトハ、國策トシテ承知致シマスガ、此處ニアリマス所ノ「日滿支ヲ一環ト

シ大東亞ヲ包容シテ自給自足ノ共榮圈ヲ確立シ」トアリマスガ、此ノ確立ハサレタト思ヒマスガ、政府ノ其ノ確立セラレマシタ所

ノ——或ハハツキリハ御説明ハ出來ナイカモ知レマセヌガ——此ノ御見透シ「其ノ圈内ニ於ケル資源ニ基キテ國防經濟ノ自主性ヲ確

保シ」トアリマスガ、此ノ確保ト云フコトニ付テ閣議デ御決メニナツテ、之ヲ公表セラレテ居ルノデアリマスガ、御差支ヘノナイ範圍ニ於テ此ノ經緯ヲ御説明ヲ願ヒタイ、サウシテ此ノ一項ノ次ニ「而シテ之ガ爲ニハ」ト斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、

居ツテ見マシテモ、是ガ我が國ニ眞ニ重大時局ヲ持來シテ居ル最大原因デアルト思ヒマス、滿洲事變勃發以來政府ハ國民ニ向ツテ非常時ヲ呼掛ケテ來タ、私自身ノ考ヘマス範圍ニ於テハ是コソ眞ノ重大時局デアツテ、過去ニ於ケル十年間ハ私共ハ眞ノ國難、眞ノ非常時トハソレ程ニハ考ヘナカッタト云フコトヲ私ハ告白シマス、併シ此ノ事ガ愈、國家ノ重大時局デ、是ガ行キ損ヘバ國難デアルト斯ウ痛感致シマスカラ、閣議デ一決シテ之ヲ公表セラレタ以上ハ、私國民トシテ此ノ確立、此ノ確保ノ概念ト云フモノヲ、ハツキリ國民ニ與ヘラレナケレバナラヌト思フガ、經濟ノ新體制モ何モ今マデノ屢、聲明セラレタ政府ノ聲明ガ、當テニナラナカッタコトガ多イ、私ハ其ノ實例ハ今申シマセスガ、此ノ事變以來聲明シ、國民ニ呼掛ケラレタコトデ、其ノ通り行カナカッタ、率直ニ言フナラバ見透シガ間違ツテ居ッタト云フ例ハ少クナイデアアル、此ノ基本方針ニシテモ相手ガアルノデアリマスカラ、相手ニ付テノ見透シモ十分ニ付ケラレレバ、國民ガ之ニ向ツテ邁進スルト云フコトニナルデアラウト思ヒマスカラ、其ノ經緯ヲ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、私共ガ是サヘ安心ガ出來レバ政府ノ御決定通りニ必ズ邁進シナケレバナリマセヌ、併シ相手ガアルノデアアル、殊ニ新聞記事デアリマスカラ當テニハナリマセヌガ、數日前ノ新聞ニハ私共ハ此ノ國內ニ存スル所ノ蘭印ガ、或ル情報ニ依レバ、吾々ハ日本ノ東亞共榮圈ニハ入ラナイ、斯ウ云フコトヲ新聞ニ見ルニ至リマシテ、益、我が國ダケノ獨リ決メノ確立デアリ、獨リ決メノ確保デアルト云フコトデアルト云フト、其ノ實現ハ甚ダ困難デ

アル、是ガ眞ノ國家ノ重大時局ヲ招來スルト云フコトヲ私ハ心配致シマシテ、閣議決定ノ御趣旨ヲ承リタイノデアリマス

○星野國務大臣 此ノ經濟新體制ノ御趣旨ハ只今御話ノ通り、其ノ根本ノ目標ト致シマシテ日滿支ヲ一環トシ、大東亞ヲ包容シテ自給自足ノ共榮圈ヲ確立致シマシテ、而シテ此ノ共榮圈內ノ資源ト云フモノニ依リマシテ諸般ノ産業ト云フモノヲ打立テマシテ、之ニ依リマシテ本當ノ自主獨往ノ經濟ヲ打立テ、之ヲ目標トシテ行カウト云フコトデゴザイマス、即チ斯カル目標ト云フモノヲ、茲ニ打立テマシテ、此ノ目標ノ下ニ進ンデ行カウト云フコトガ趣旨デアリマス、而シテ其ノ目標ヲ立テタ

ザイマス、而シテソレニ對シマシテハ勿論此ノ共榮圈ニ屬スル諸國ノ我が國トノ關係ハ、ソレノ階段ガゴザイマシテ、例ヘバ滿洲國ノ如キ全ク我が國ト一德一心ノ關係ニナツテ居ルモノモゴザイマス、又更ニ新タニ生レタル中華民國ノ如ク一德一心ノ關係ニ立ツト云フヤウナコトガ、新タニ定マツタ所モゴザイマス、併シナガラ支那ニ付キマシテハ一部分禍亂ノ狀態ニアルコトモ御承知ノ通りデゴザイマス、如何ニ之ヲ利用出來ルカト云フコトニ付キマシテハ、今日ノ事情自ラ其處ニ又限界モアル譯デアリマス、更ニ又南方諸邦ニ至リマシテハ、今日ニ於キマシテハ其ノ眞ノ意思ト云フモノハ、殊ニ世ノ中ニ表明セラレタ意思ト云フモノハ、我が國ト同ジヤウニ共榮圈ノ建設ト云フコトニ、必ズシモ參ツテ居ラナイ國モゴザイマス、併シナガラ是ハ凡ユル方法ヲ盡シテ、其ノ達成ヲ圖ラネバナラナイ、是ガ我が國ノ一ツノ根本方針デアアル、斯様ニ確信致シテ居ルノデアリマス、ソレヲ如何ニシテ具現スルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ今日外交、軍事色々總テノ事ニ關係シテ居ル譯デゴザイマセウガ、私ガ今日此ノ席ニ於テ申上ゲルコトハ、是ハ致サナイ方ガ宜カラウト存ジテ居リマスガ、要スルニ南方諸國ト云フモノハ此ノ前モ申シマシタヤウニ、之ヲ以テ今日ノ我が國ノ國防經濟確立ノ生命線ト考ヘマシテ、如何ナル方法ニ依ルカト云フコトハ別ト致シマシテ、是非之ヲ加ヘテ共榮圈ヲ建設致シタイ、之ヲ根本ノ方針ト致シテ居ル、斯ウ云フ考ヘナノデアリマス

御説明ノヤウニ、日滿支ヲ一貫トスルト云フコトニ付テハ、誰モ心配致シマセヌガ、ソレ以外ノ國內ニ含ム地方デアリマス、吾等ノ希望ト致シマシテ、殊ニ我が國ニ必要ナ物資ヲ供給スベキ「アメリカ」ガ、凡ユル物資ヲ禁輸スルコトニ依ツテ日本ヲ妨害スル、隨テ必要ナル物資ヲ手近ナ所カラ得ルト云フコトハ、是ハ當然デゴザイマス、今御説明ニモアリマシタヤウニ、私共ガ心配致シテ居リマスノハ、此ノ國內ニ於ケル所ノ地域ト云フモノハ、色々錯綜シタ關係ガゴザイマス、我が國ノ希望ヲ達成スル爲メト云フノデ、閣議決定セラレテ、如何ニモ此ノ國內ノ物資ハ、我が國トシテハ凡ユル手段ヲ盡シテ之ヲ得ナケレバナリマセヌガ、サウ云フコトガ今新聞記事ヲ讀ミマシタヤウニ、サウ云フ氣持デ日本ガ進ンデ居ルト云フ位ナラバ、相手方モ之ニ應ズル考モ付ケ易イデセウガ、此ノ國內ニ否デモ應デモ捲キ込ンデシマフ、サウシテドウシテデモ此ノ資源ヲ確保シテシマフト云フコトニナルト、相手方トシテハソコニ考ガ少シ違ツテ來ハシナイカ、斯ウ云フコトデ私ハ國家ノ希望ハ宜シイノデスガ、之ヲ極メ付ケテシマフ、斯ウ云フ工合ニ公表サレタト云フコトニ付テ、御決メニナツタノデアリマスケレドモ、其ノ氣持ヲ伺ヒタイノデアリマス、無論今御説明ノヤウニ、殊ニ私トシテハ是ハ直ニ國家ノ重大問題ト思ヒマスカラ、公開ノ席ヤ、或ハ公開デナクテモ、政府ガ其ノ凡ユル方法ヲ御説明ニナルコトハ有害ト思ヒマスケレドモ、唯吾々國民トシテ心配ニナルノデアリマス、今マデコツチノ思フ通りニ行ツタコトハナイ、支那事變デモ初メカラ不擴大方針ヲ希望シタガ、

第六類第十號 國家總動員法中改正法律案委員會會議錄 第五回 昭和十六年二月六日

アル、是ガ眞ノ國家ノ重大時局ヲ招來スルト云フコトヲ私ハ心配致シマシテ、閣議決定ノ御趣旨ヲ承リタイノデアリマス

○原口委員 只今ノ御説明ノ程度ノコトハ私モ承知シテ居ル積リデゴザイマス、唯今

變デモ初メカラ不擴大方針ヲ希望シタガ、

ソレハ間違ヒノ希望デアツタ、併シ今度此ノ希望ガ若シ間違ツタラ大變デアリマスカラ、間違ハナイヤウニ、必ズ國家ヲ率ヒテ御實行ナサルト思ヒマスケレドモ、過去ニ於テ政府ノ希望ノ聲明、或ハ決定セラレタコトガ、其ノ通りニ行カヌコトガ多イノデアリマス、此ノコトヲ心配致シマシテ御伺ヒシタ譯デアリマス、手段方法ニ付テハ、私共ハ強ヒテ議場デノ公開ノ席デモ、或ハ祕密會デモ、申上ゲヨウトハ思ヒマセヌガ、是ハ決シテ輕々ニ出來ヌコトデアリマス、國運ヲ賭シテヤラナケレバ實行ガ困難デアアル、斯ウ云フ心配ヲ持ツカラ伺フノデアリマス、唯新聞記事ヤ何カデ共榮國ト云フコトハ能ク見テ居ツタガ、廟議デ一決セラレテ公表セラレタ以上ハ、國民ニハウキリシタ信念ヲ與ヘテ戴カナケレバナラス、斯ウ思フノデアリマス

○星野國務大臣 能ク分リマシタ、ソコデ只今ノ御話ノヤウナ趣旨モゴザイマシテ、日滿支ト其ノ他ノ大東亞ト云フモノハ、言葉モ變リ意味モ變ツタ譯デアリマシテ、實際ニ於キマシテ之ニ對シテ日滿支ト同様ナ關係ヲ直チニ結ブト云フコトハ、將來ノ大理想ト致シマシテハ別ト致シマシテ、ソレヲ今考ヘテ居ルト云フコトヨリハ、共榮ト云フ趣旨ニ於キマシテ、共榮ノ關係、眞ニ共存共榮ノ關係ト云フモノヲ確立スル、而シテ其ノ共存共榮ト云フモノノ關係ヲ基礎ト致シマシテ、我が國ノ自給自足ノ經濟ヲ立テテ、斯ウ云フ考ヘデアリマス、隨ヒマシテ自ラ其ノ方法其ノ他ニ付キマシテモ、此ノ方針ニ依ツテ出テ參ル譯デゴザイマス其ノ點ヲ能ク諒解スルナラバ、又自ラ展開スルコトモアラウト存ジテ居リマス

○原口委員 結構デゴザイマス、サツキ申上ゲマシタヤウニ、此ノ共榮國內ノ各國ニ所謂共榮ノ幸福ヲ享ケシムル、是ガ出來レバ各國共喜ンデ之ニ加ハルノデアリマス、ソレデ實ハ小林商工大臣ハ親シク蘭印ナドニモ御出張ニナリマシタカラ、相手國ガ喜ンデ共榮國內ニ加ハツテ來ル、斯ウ云フ御見透シガ付イテ居ルダラウト思ヒマシタカラ、實ハ其ノ方ハ商工大臣ニ伺ヒタイト思ツタノデスガ、是ハ併シ閣議デ御決メニナツテ、閣僚諸公ガ皆其ノ相手方ノ「サイコロジ」ヲ御承知ナシデ、唯コツチダケ都合ノ好イ共榮國ト云フコトヲ御決メニナル譯ハアリマセヌカラ、其ノ實情ヲ實ハ伺ヒタイノデアリマス、モウ諄クハ申上ゲマセヌガ、コチ

ラノ希望通り相手ガ應ジタコトハ殆ドナイノデス、併シ之ヲ閣議デ決定セラレタ以上ハ、共榮國內ノモノガ——所謂共榮ト云フコトニ付テハ手段方法ハ色々盡サネバナリマセヌガ、ソレニ依ツテ必ズ確保シ得ル、斯ウ云フ御見込ノコト私共ハ實ハ信ジナケレバナリマセヌ、又サウ希望スルノデアリマス、今此處ニ申上ゲマスノハ諄イヤウデアリマスガ、今マデ此ノ事變ニナリマシテカラ政府ガ聲明セラレ、希望セラレタコトガ、殆ド外レテ居ルノデス、實例ハ此處デハ申シマセヌガ、御聽キ下サレバ何時デモ申上ゲル、今度はガ外レタラバ是コソ重大事デアアル、ソレハ申スマデモナク國策トシテ決メラレタ日獨伊ノ同盟條約、之ニ關聯シテ國際難局モ斯ウ云フコトカラ起ルコトト信ジテ、私ハ心配スルノデアリマ

スドウゾ御決定ニナリマシタヤウニ、國民ガ安ンジテ、而シテ此ノ經濟新體制モ此ノ趣旨ニ沿フヤウニ進ムト云フコトヲ、唯机上デアリマセヌ、實際ニ御示シ下サルヤウニ御願ヒ致シマス、ソレダケノコトヲ御伺ヒ致シタイ

○星野國務大臣 御趣旨ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマス、尙ホ此ノ方針ニ從ヒマシテ一ツ實際ノ實績ヲ以テ御答ヘ致シタイト思ヒマス

○山崎委員長 板谷順助君

○板谷委員 私ハ統制經濟ニ付テ、企畫院總裁ノ所信ヲ簡單ニ伺ヒタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り現在ノ戰時體制ニ於キマシテハ、或ル程度マデ統制ヲ加ヘルコトハ、勿論必要デアリマス、併シナガラ統制經濟ノ極致ハ、言フマデモナク國家管理、國營ト云フコトニナル、隨テ近頃ノ經濟體制ニ對スル情勢ガ、或ハ社會主義、共產主義ニ流レ易イヤウナ傾向ガアル、又私ハ官廳ニ於テモ大政翼贊會ニ於テモ、其ノ流れヲ見テ居ルノデアリマスガ、要スルニ現在ノ統制ノヤリ方ニ依ツテ、國策會社或ハ統制會社ガ出來テ居ルガ、私ノ眼カラ見ルト大體ニ於テ失敗ト見テ居ル、其ノ原因ガ何處ニアルカト申上ゲマスルト、一例ヲ申上ゲマスルナラバ、北海道ニ於テ農產、海產ヲ統制シテ會社ヲ作ツテ居ル、ソレニ携ツテ居ル所ノ役員或ハ社長ガ、役人ノ古手デアル、又專務ノ如キハ、從來重油ヲヤツテ居ツタ者ガ、北聯ニ關係シテ居ツテ、月給百五十圓取ツテ居ツタ者ガ、現在一万二千圓ノ高給ヲ食ンデ居ルヤウナ狀態デアアル、慣レナイ者ガ其ノ統制ノ仕事ニ當ルカラサウ云フ結果ニナル、又一面ニ於キマシテハ、其ノ結果從來農產、海產ニ從事シテ居ツタ所ノ者ガ職ヲ失ヒ、其ノ結果轉失業ノ問題ヲ解決シナケレバナラス、救済シナケレバ

ナラスト云フ茲ニ非常ナ矛盾ガ起ツテ來ル、デアリマスカラ統制經濟ニ對スル所ノ企畫院總裁ノ信念、今申上ゲマスルヤウニ所謂國家管理、國營ト云フヤウナ流れニナルトスレバ、隨ツテ共產主義或ハ社會主義ト云フモノガ段々蔓延ルヤウナ情勢ニナルヤウニ私ハ見受ケルノデアリマスガ、之ニ對スル所ノ御所信ヲ伺ヒマス

○星野國務大臣 只今板谷サンカラ御話ニナリマシタヤウニ、今日ノ我國ノ時局、一方ニ於キマシテハ事變完遂ノ爲ニ、一方ニ於テハ新タニ將來ノ國力増強ノ爲ニ備ヘナクテハナラス、斯カル時艱ニ際會致シマシテハ、國民ノ力ヲ一致團結シテ所謂總動員ノ態勢ヲ段々執ツテ行カナケレバナラスト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ザルコトト存ジマス、併シナガラ如何ニシテ國民ノ力ヲ最大ニ發揮スルカト云フコトニ付キマシテ、是ハ例ヘバ國家ガ之ヲヤルトカ或ハ國家ガ管理スルト云フヤウナ方法デ其ノ目的ヲ達スルト云フノニハ、ソコニ限界ガアルダラウト思ヒマス、ヤハリ根本ハ官民打ツテ一丸トナツテ行クト云フコトガ一番必要デアラウト思ヒマス、ソコガ經濟新體制ト云フモノヲ定メタ根本ノ方針デゴザイマス、隨テ今日國ノ力ト云フモノヲ總動員的ニ進メルト云フコトハ是ハ必要ナコトト思ヒマス、其ノ方法トシテ其ノ態勢ト致シマシテハ、飽クマデモ國民ノ各業態ニ從事セラレテ居ル者ガ自發的ニ、此ノ國難ト云フモノノ非常ニ重大ナルコトヲ覺ツテ、自分ノ關係サレテ居ル部門ニ於キマシテハ自ラ之ヲ背負ツテ立ツ、凡ユル力ヲ出シ凡ユル經驗ヲ捧ゲテ背負ツテ立ツト云フ風ナ形ニシナケレバナラス、斯ウ存ジテ居リマス、隨ヒマシテ今後

ノ統制ノヤリ方ヲ致シマシテハ、國家ハ飽クマデ大所高所ニ立チマシテ、今日我が國ガ置カレテ居ル狀況、我が國ノ經濟ト云フモノノ總體的ノ地位ト云フモノニ鑑ミマシテ、如何ニ之ヲ運營スルカト云フヤウナ根本ノ方針、根本ノ按配ト云フコトニ力ヲ用ヒマシテ、其ノ各部門ニ於キマシテハ各業態ニ立ツタ人々ガ是亦打ツテ一丸トナツテ、サウシテ其ノ事業ノ發達ト云フモノニ當ル、而シテ其ノ下ニ各企業者ト云フモノハ是亦自分ノ持場々々、自分ノ仕事ト云フモノニ對シマシテハ、國家ノ負託ヲ受ケタル者ハ自分デアルト云フ強イ確信ヲ持ツテ其ノ事業ニ當ル、斯ウ云フ風ニシテ行カナケレバナラスト思ツテ居リマス、斯カル方針ヲ以テ參リタイト云フコトガ經濟新體制ト云フモノノ根本ノ方針デゴザイマス、併シナガラスクノ如クスル爲ニハ、一面ニ於キマシテハ、ヤハリ企業家ノ團體ト云フモノモ相當鞏固ナモノニナツテ、オ互ノ間ニ議論ガアツタ場合ニハ之ヲドン／＼決メテ行キ、サウシテソレニ從ツテ有機的一體トナツテ進ミ、力強イ活動ガ出來ルヤウニ致サナケレバナラス、サウ云フヤウナコトモ考ヘマシテ、今回ノ總動員法其ノ他ノ規定モ、サウ云フ風ナ趣旨モ織込デ作ツテアル譯デアリマス、要スルニ飽クマデモ國民各自、又各業界各事業ノ方面ヲ受持ツテ居リ、其ノ爲ニ從來ノ經驗ヲ持チ、又一生之ニ投ゼラレテ居ル人々、ソレ等ノ者ガ此ノ部門ヲ受持ツテ、ソレニ當ルト云フヤウナ態勢ニ持ツテ行キタイ、是ガ大體ノ考ヘデゴザイマス

○板谷委員 只今ノ御答辯ハ餘リ要領ヲ得マセスガ、御話ノヤウニ其ノ道ノ人ガ其ノ部門ヲ受持ツテ成功シテ居ルナラ私ハ何モ申上デマセス、併シナガラ今申上ゲルヤウニ、從來ノ國策會社、統制會社ト云フモノハ大體ニ於テ失敗ナシデス、所デ一面ニ於テ業務ヲ取上ゲラレタ轉失業者ガ續出致シテ居リマシテ、此ノ者達ガヤハリ相當ニ從來ノ政府ノ施政ヲ怨ミシテ居ル、ダカラ一億一心官民協力一致スルト云フニ付テハ、成ベク轉失業者ヲ作ラヌヤウニ、從來ノ機構ヲ成ベク變ヘナイヤウニ、惡イ點ハソレハ改正スルモ宜シイ、ケレドモ之ヲ覆ヘスト云フコトハ出來得ベキモノデヤナイ、總理大臣モ屢々其ノコトヲ仰シヤツテ居ル、デアリマスカラ國家總動員ノ運用ニ付キマシテモ、此ノ點ヲ十分ニ一ツ御考慮ニナツテ、轉失業者ノ出來ナイヤウニ、或ハ又從來ノ機構、日本古來ノ何千年來ヤツテ來タ所ノ美風ヲ壞サナイヤウニ御留意アラントヲ切望致シマス

○星野國務大臣 洵ニ御趣旨ノ通りニヤラナクテハナラスト思ヒマス、殊ニ新シキ統制團體其ノ他ニ、經驗ノナイ官廳ノ者ガ入ルト云フヤウナコトハ極力避ケテ、將來ハ是非各業界ニ於キマシテ一生ヲ之ニ捧ゲラレタ人達ノ中ノ先達ノ方々ガ、進ンデ其ノ指導ノ任ニ當ラレルト云フコトヲ希望致シテ居リマス、此ノ點ハ特ニ經濟新體制確立要綱ニモ書イテ居ルコトデゴザイマシテ、サウ云フ風ニ致スコトニ努力致シタイト存ジテ居リマス

○山崎委員長 中島君

○中島(彌)委員 遞信大臣ニ簡單ニ電力問題ニ付テ、總動員法ノ關係ニ付キマシテ十八條及ビ十六條ニ付テ質問申上ゲマス第一ニ、根本ト致シマシテ、電力ニ對シマシテ根本的ニドウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、御承知ノ通りニ此ノ二箇年ニ互ツテ石炭ノ不足ト渴水トニ悩ミ、サウシテ根本的ナ此ノ基礎産業ナルモノガ常ニ動搖シテ居リマシテ、生産擴充ニモ非常ニ影響ヲ及ボシテ居リマシテ、日發ガ出來マシタ根源デアル所ノ豐富且ツ低廉ナル電力ヲ供給スルト云フ趣旨通りニハ、行ツテ居ナイヤウデアリマスガ、根本對策ト致シマシテ二ツ考ヘラレルノデアリマス、現狀ノ儘デ、詰リ餘リ統制ヲ加ヘズニ、民有民營ト云フモノヲ、モウ少シ官ガ手ヲ離シテ徹底セシムルト云フ方ガ、所期ノ目的ヲ達シ得ルカ、更ニ一層ノ統制ヲ加ヘテ電力ノ供給ニマデ乗出シテ行クカト云フ根本方針ニ付キマシテ、ドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルカ、第一ニ伺ヒタイ

○村田國務大臣 電力問題ノ解決ニ當リマシテ、現在ドウシタラ宜イカ、民有民營ト申シマスカ、自由ニ當業者ニ放任シテヤラシテ置イタ方ガ宜イカ、現在ノ或ル點國家管理ニナツテ居リマスモノヲ、モツト強化シタ方ガ宜イカ、斯ウ云フ御尋ネト思ヒマス、現在ノ電力部門ハ御承知ノ通り七十三議會ニ日本發送電ト云フモノガ出來マシテ、發送電ノ國家管理ヲ認メテ居ルノデアリマス、其ノ狀態ヲ前提ト致シマシテ考ヘマスル時ニハ、全ク之ヲ民有民營ニ放任シテシマツテ、元ノ儘ニスルト云フコトモ出來ナイノデアリマス、而モ發送電ガ出來マシテ約二年デアリマスガ、發送電當初ノ計畫ト實情トノ間ニハ相當ノ開キガアリマス、只今仰セノヤウニ、或ハ石炭ノ値上リトカ、或ハ質ノ低下トカ、或ハ今日資材、勞力ノ不足等、凡ユル制約ヲ受ケテ、思フヤウニ水力

或ハ火力ノ増設モ出來ナイヤウナ狀態デアリマス、斯ウ云フヤウナ或ル點マデハ豫見シ得ナカツタ狀態ガ、一昨年ノ暮カラ昨年ノ春ニ發生シテ參リマスルシ、又今年モ程度ノ差コソアリマスガ、相當雨ガ少イノデアリマス、又雪ガ少イ爲ニ、或ハ此ノ春、夏モ相當渴水ヲ覺悟シテ置カナケレバナラスト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ狀態ヲ前提トシマシテ考ヘル時ニ、第一ノ點ヨリモ第二ノ點ニ重キヲ置カナケレバナラスデヤナイカ、殊ニ御承知ノ國防國リ體制、國內體制ヲ強化シナケレバナラス今日ニ於テ、凡ユル生産擴充ノ最モ基礎産業デアルベキ電力問題ハ、是ハ今日ノヤウナ亂雜ナ狀態ニ放任シテ置クコトハ許サレヌノデアリマス、私ガ申スマデモナク、今日デスラ民間會社ハ四百以上ニ互ツテ居リマス、又企業形態ト致シマシテハ、本會議デモ一寸觸レマシタガ、縣營アリ、市營アリ、町營アリ、自家個人經營アリ、又區域ニ致シマシテモ、實ニ雜然タルモノデアリマス、其ノ間ニ何等ノ統制モナシ、非常ニ無秩序ニ經營サレテ居ルノデアリマス、隨テ料金モ相互ニ關聯ナシ、斯ウ云フ狀態ニ放置致シテ置キマシタラバ、相當電力ガ濫費サレテ行キハシナイカ、先程申上ゲマシタ通り只今資材、勞力、凡ユル制約ヲ受ケテ居リマス際ニ、而モ需要ハ軍事上ノ關係、或ハ生産擴充ノ關係、斯ウ云フ方面デ相當増大シテ參リマス、同時ニ供給ハ遺憾ナガラ之ニ副ウテ參リマス、此ノ狀態ヲ知リツツ、今日ノ無秩序ノ狀態ニ電力問題ヲ放任シテ置クコトハ、是ハ許サレヌコトデアリマシテ、國內體制ヲ強化スル上ニ於テ、特ニ重要産業ヲ綜合的ニ計畫スルコトガ、今日非常時局ニ

際會シマシテ、基本國策トシテモ決マツテ居ルコトデアリマス、又ドウシテモ事實ヤラナケレバナラスノデアリマシテ、此ノ點カラ申シマシテ、吾々ハ電力問題ヲ解決スル爲ニ再編成ヲシナケレバナラス、隨テ官民協力ノ下ニ、此ノ整理ヲ一日モ早クヤラナケレバナラスノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○中島(彌)委員 サウシマス、電力統制ノ方針ニ向ツテ進マルト思フノデアリマスガ、其ノ統制ノ方針ニ付キマシテ、此ノ配電及ビ水力ニ付テドウ云フ方針ヲ執ツテヤツテ行クノデアリマセウカ、御承知ノ通り、閣議決定デ電力管理案ト云フモノヲ出スコトニナツテ居リマシテ、配電會社ト云フモノヲ綜合シテヤル所ノ方針ヲ茲ニ立デラレタノデアリマスガ、是ガ撤回サレルト致シマスレバ、今度改正ニナリマシタ總動員法ノ第十八條ヲ適用サレマシテ、之ヲ實行シテ行ク、即チ統制會社ヲ作ツテヤツテ行クト云フ十八條ノ適用ヲ茲ニ發動サシテ行クノデアリマセウカ、サウダト致シマスレバ、如何ナル方針及ビ方法デヤラレルノデアリマセウカ、大體ニアノ發表サレマシタ管理案ノ配電會社ノ統制ニ付テノ内容其ノモノヲソツクリ持ツテ來テ、十八條ヲ適用シテ、之ヲ勅令トシテヤラレルノデアリマセウカ、是ガ第一點デアリマス、次ニ第二點ハ、第十八條ニ依ツテ全體ノニ水力ヲ統制シ、或ハ統合スル所ノ計畫ガオアリデアリマセウカ、或ハ水力ノ中ニ於テモ、一部分必要ナモノニ限ツテヤルト云フ御考ヘデアリマセウカ、若シ全體ノニヤルナラバイザ知ラズ、一部分ヤルトスレバ、ドウ云フ方面ニ、ドウ云フ方法デオヤリニナルノ

デアリマセウカ

○村田國務大臣 第二點ノ方カラ申シマス、發送電ヲ作リマシタ時ニハ、マダ單ニ電力ヲ國家ガ管理スルノミデアリマシテ、既存ノ水力ハ發送電ニハ吸收サレテ居リマセス、併シナガラ過去二年ノ經驗ニ依リマシテ、是ガ今日ノ狀態デハ、運営上相當面白カラザル結果ガ現ハレテ參ツタノデアリマス、隨テ先程申上ゲマシタ電力ヲ愛惜スルト云フ意味カラ申シマシテ、既存ノ水力及ビ設備ハ、之ヲ發送電ニ歸屬セシムルコトガ宜イノデハナイカ、其ノ歸屬セシムルニ付テハ色々ナ方法ガアルト思ヒマス、其ノ方法ニ關シマシテハ無理ノナイヤウニ、摩擦ノナイヤウニ十分ニ研究シテ、實現シ易イ方法ヲ考ヘタイト思ヒマス、ソレカラ配電部門デアリマスガ、配電部門ノ動員、電力ノ動員ヲ致シマス必要ハ、先程申上ゲタ通りデアリマス、ソレデアリマスカラ、私任官以來此ノ電力問題ノ解決ト云フコトニ相當ノ力ヲ入レ、又色々ノ方法ヲ考ヘテ一案ヲ得タノデアリマスガ、先般政府ノ方針ニ從ヒマシテ、政府ノ方針トシテ此ノ配電管理案ハ提出ヲ致サナイコトニナツタノデアリマス、提出ヲ致サナイコトニナツタト申シマシテモ、其ノ機構ノ再編成ノ必要ハアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、獨立法デ之ヲ解決致シマセヌケレドモ、何トカ再編成ヲシテ、先程申上ゲマシタ通り、電力ノ濫費——ト申シテハ言葉ハ面白クナイデアリマセウカ、電力ヲ調整スル、節約スルト云フ點カラ申シマシテ、之ヲ一日モ早ク考ヘナケレバナラス、今度獨立法ガ出マセスカラ、私ハ成ベク早イ機會ニ於キマシテ、關係官廳ナリ、或ハ民間ノ人々ナリト色々

懇談ノ上ニ意見ヲ徵シマシテ、其ノ意見ニ依ツテ十分ニ檢討シテ參リタイト思フノデアリマス、曾テ私ガ考ヘタ案ト致シマシテハ、配電部門ヲ數「ブロック」ニ分チマシテ、其ノ數「ブロック」デ各地ニ於ケル營業者、誰ガ見マシテモ、其ノ人ナラバト云フ人ノ推薦ヲ受ケ、又コチラガ檢討致シマシテ、其ノ人ニ出來ルダケノ力ヲ政府モ與ヘテ、所謂企業擔當者トシテ各「ブロック」「ブロック」ノ配電ヲ經營シテ貰ヒタイ、斯ウ考ヘテ居ツタノデアリマス、今回配電管理法案ヲ提出シナイコトニナリマシテモ、ヤハリ同様ヲ考ヘテ持ツテ居リマシテ、出來ルナラバ一日モ早くサウ云フ人ヲ中心ニ致シマシテ、配電統制ノ實ヲ舉ゲルノニ必要ナ程度ニ、政府トシテ十分ニ力ヲ貸シタイ、政府ノ力ヲ貸スト云フ意味ハ、所謂法令ノ許ス範圍ニ於テ、民間ノ中心ノ企業擔當者ニ政府ガ力ヲ貸シテ事業ヲ進メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 配電ニ付キマシテ、大臣ノ今御答辯ニナラレマシタ内容ヲ實行サレマスニ付キマシテハ、總動員法ノ第十六條ノ讓渡、合併其ノ他ノ方法デヤラレルノデアルカ、或ハ第十八條ノ發動ニ依ツテ、統制會社ヲ作ツテヤラレルト云フ御考ヘデアリマス

○村田國務大臣 總動員法ガドウナリマシテモ、只今電力管理法トカ或ハ電氣事業法トカ色々法律ガアリマスノデ、其ノ事業ノ營業者ガ爲シマス上ニ於テ、最モ爲シ得易イ爲ニ、凡ユル法令ノ許ス範圍ニ於テ政府ガ力ヲ貸シタイ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、自然第十六條トカ第十八條トカ云フコトニ付テハ、マダ考ヘテ居リマセス

○中島(彌)委員 十八條ヲ適用シナケレバ配電會社ノ統合ハ出來ナイ場合ガアルト思ヒマスガ、十八條ヲ適用シテ統合致シマスカ致シマセヌカ

○村田國務大臣 統合ノ形式モ色々アルト思ヒマス、或ハ合併ニ依リ、或ハ出資ニ依リ、或ハ財産讓渡ニ依リ、一律ニハヤリ得ナイト思ヒマス、隨テ十八條ノミヲ援用スル、或ハ十六條ノミヲ援用スルト云フ限ラレタモノデハナイト考ヘマス、今度ハ相當自由ニ色々ノ形式デ以テヤツテ見タイト考ヘマス

○中島(彌)委員 サウシマス、十八條若シクハ十六條ヲ發動スル場合モアリ得ルト解釋シテ宜シウゴザイマス

○村田國務大臣 左様デゴザイマス

○中島(彌)委員 水力ニ關シマシテハ全般ノ統合ハヤラナイ、ソレカラ便利ニナルヤウナ工合ニヤル、斯ウ仰シヤラレタノデアリマスガ、水力ノ統合ニ付テハ勅令ノ改正デ出來ルト思ヒマスガ、勅令ヲ改正シテオヤリニナルノデアリマセウカ、ソレカラ合併若シクハ讓渡ハ總動員法ノ十六條ニ依ル方ガ宜イ、又ドウシテモ依ラナケレバナラスト思ヒマスガ、是ハ十六條ニ依ツテオヤリニナリマスガ、ソレカラ出資ニ關シマシテハ、是ハ又勅令ノ改正ニ依リ得ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ方針ヲ執ラレルノデアリマスガ、大臣ガ仰シヤラレマシタ答辯ノ内容ニ付キマシテハ能ク分リマセヌカラ、今ノ統合ノ形式ニ付キマシテモウ一應御答辯ヲ願ヒマス

○村田國務大臣 大體仰セノ通りデアリマス

○中島(彌)委員 ソレカラ電氣料金政策ニ

付テノ御方針ヲ御伺ヒ申上ゲマス、料金ニ付テドウ云フヤウナ政策ヲ御執リニナルノデアリマス、日發カラ配電會社ニ對スル卸賣料金ハ上ゲルノデスカ、上ゲナイノデスカ、ソレカラ配電會社カラ消費者ニ對スル料金ニ付テハ、ドウ云フ政策ヲ執ラレルデアリマス、是ハ國家政策トシテ重大ナル點デアリマス、此ノ二ツノ點ニ付キマシテ、上ゲルナラ上ゲルト云フ理由、上ゲナイナラ上ゲナイト云フ理由ト、電力料金ニ付テハ今後ドウ云フ根本方針デヤツテ行クカ、之ヲ伺ヒタイ

○村田國務大臣 仰セノ通り電力料金ト申シマシテモ、發送電會社カラ配電會社ニ對スル所謂卸賣料金、配電會社カラ消費者ニ對スル小賣料金トモ申シマス、ノ二ツガアリマス、只今日日本發送電會社ノ建直シニ凡ユル方面カラ力ヲ入レテ居リマス、會社内部ニ於キマシテモ無論ノコトデアリマス、又政府トシテモ建直シノ爲ニ、過日來日本發送電株式會社法ノ改正案モ提出致シタヤウナ次第デアリマス、此ノ際發送電ヲ建直スト云フコトハ、單ニ會社ヲ建直スノミデアリマセヌノデ、電力問題ノ上ニ非常ニ必要ナルコトト考ヘマシテ、先ヅ其ノ根幹ヲ成ス發送電ヲ立派ナモノニシナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ、昨年來ノ漏水ノ場合ニ、契約ノ不備デモアリマセウガ、石炭ノ値上リ、或ハ石炭ノ炭質ノ不良ト云フ、是等ノ爲ニ非常ニ大キナ損害ガ發送電ニ課セラレタノデアリマスガ、其ノ殆ド大部分ハ、發送電ダケガ背負ツテシマツタノデアリマス、隨テ發送電ト配電會社トノ間ノ料金ハ何等變ラズ、其ノ爲ニ配電會社ハ此ノ漏水或ハ石炭等ニ因

ル損害ヲ負擔セズニ濟ンダノデアリマス、此ノ點ハ相當不合理ナル點デハナイカ、契約ノ不備デアリマスガ、サウ云フヤウニナツタノデアリマス、等シクヤハリ電力ノ販賣ト云フコトニ從事シテ居ルナラバ、ヤハリ之ヲ相當ニ、均等ニ負擔シナケレバナラスデハナイカ、此ノ不合理ナル點ハ將來何トカ考ヘナケレバナラスデハナイカ、隨テ配電會社ト發送電會社トノ間ノ所謂卸賣料金ニ對シマシテハ、之ヲ是正スル必要ガアルト思フノデアリマス、併シ其ノ時期ハ先ヅ發送電ヲ、内部機構或ハ其ノ他ヲ凡ユル方法ヲ盡シテ建直シヲ考ヘタ後デ、ソレヲ考ヘタイト思フノデアリマス、更ニ消費者ニ對スル電力料金デアリマスガ、是ハ現内閣ト致シマシテモ、前々内閣カラノ低物價政策ヲ踏襲シテ居リマスノデ、此ノ電力料金ノ消費者ニ對スルモノハ非常ニ影響ヲ及ボスト思ヒマスノデ、私ハ是ハ原則トシテ動かスベカラザルモノデハナイカト考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 サウシマス、日發カラ配電會社ニ對スル卸賣料金ニ付テハ上ゲル、斯ウ解釋シテ宜イデスカ、而シテ消費者ニ對スル方ハ絕對ニ上ゲナイト云フノデスカ、ソコヲハツキリシテ戴キタイ

○村田國務大臣 卸賣料金ハ日發ノ建直シニ付テ凡ユル方法ヲ考ヘマシテ、若シ上ゲル必要ガアルトスレバソレハ最後ノモノデハナイカト思ヒマス

○中島(彌)委員 上ゲルノデスカ上ゲナイノデスカ、ソコヲハツキリ願ヒマス

○村田國務大臣 上ゲル必要ガアレバ最後ニナツテ上ゲルベキデハナイカ、斯ウ云フノデアリマス、私ノ表現ノ仕方ガ惡イカラハ

ツキリシナイカモ知レマセヌガ、私ハ相當ハツキリシテ居ル積リデアリマス、ソレカラ第二ノ消費者ニ對スル小賣料金デアリマスガ、之ヲ言フト又ハツキリシナクナルカモ分リマセヌガ、一應説明ノ順序ト致シマシテ申上ゲマス、今日ノ電力料金ハ――

是ハ今一々數字ナド擧ゲルト面倒ニナリマスガ、非常ニ安イモノデアリマスケレドモ、先程申上ゲタ通り、電力ノ小賣料金ヲ上ゲルト云フコトハ、今日生産擴充其ノ他ノ點カラ申シマシテモ、非常ニ影響ガアリマスノデ、原則トシテ上ゲナイ、色々是正ヲスルコトハアリ得ルカモ知レマセヌ、ナゼカト申シマス、其ノ料金ノ定メ方ガ所謂自由主義時代ノ、電力ヲ何トシテモ一生懸命ニナツテ賣ラウ、競争ノ結果無軌道ニ賣ル、一例ヲ申シマスレバ、澤山使ヘバ安クナル、使ヘバ使フ程料金ヲ安クスルト云フヤウナ料率ノ定メ方モアルノデアリマス、斯ウ云フ點ハ最モ電力ヲ愛惜シナケレバナラス今日、或ハ今後、電力ノ全體ノ需給關係カラ申シマシテモ、是ハ是正スル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、併シナガラ先程申上ゲタ通り小賣料金ハ原則トシテ上ゲナイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○中島(彌)委員 大分外ニモ質問者ガアリスカラ、此ノ點モ追究シタイノデアリマスケレドモ、追究ヲ止メマス、次ニ日發ノ石炭政策ニ付テハドウ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、樺太ノ山ヲ買ヒ、北海道ノ山ヲ買ヒ、又自給自足ノ政策ヲ御立テニナルノデアリマセウカ、ソレカラ商工省ガ執ツテ居ル現在ノ石炭政策トノ間ノ調和ニ付テハ、ドウ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、換言スレバ此ノ電力ヲ供給スル

所ノ石炭ニ付テ何カ特別ノ御考ヘヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、要スルニ日發ガ今日ノ不成績ヲ齎シタト云フコト、政府ノ四分ノ補助ヲ六分ニ上ゲテ貰ハナケレバナラスヤウニナツタ根本ハ、石炭ノ値段ガ十四圓位ニ見積ツテアツタモノガ、今日ハ二十一、二圓ニモナツテ來タト云フヤウナコトニナツテ居リマス、是ハ重大ナル問題デアリマスノデ、此ノ問題ニ付キマシテノ根本的解決ノ方法ヲ立テテ置カゲレバ常ニ渴水ト云フコトデ、二年續イテ、又來年モ渴水ガ續クカモ知レヌト云フ狀況デアリマスカラ、之ニ對シマシテドウ云フ御考ヘヲ持タレテ居ルノデアリマスカ

○村田國務大臣 御尤モナ御尋ネデアリマス、日發ノ建直シニ於テ先ヅ最初ニ考ヘラレルコトハ石炭問題デアリマス、此ノ點ハ石炭ヲ扱ヒマス商工省ト協力致シマシテ、商工省ニ於キマシテモ凡ユル努力ヲシテ石炭増産ヲヤツテ居ラレマスガ、私ハ商工省ニ信賴シマシテ、日發ノ石炭ヲ適當ニ考ヘタイト思ツテ居リマス

○中島(彌)委員 自給自足政策ヲヤツテ行クノデアルカ、ソレハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ

○村田國務大臣 日發ガ消費致シマス石炭ハ、今日五百万「トン」以上ニナツテ居リマス、日本ニ於テ鐵道ニ次イデノ非常ニ大キナ消費者デアリマス、今日五百万「トン」以上ノ石炭ヲ自給自足スルト云フコトハ許サレヌコトデアリマスノデ、ドウシテモ商工省ノ執ル石炭政策ニ呼應シテ行カナケレバナラスト思ヒマス、此ノ點ハ商工省ニモ十分炭質ノ改良ヲシテ貰ツテ、良イ炭質ヲ貰ヒタイ、又量モコチラガ要求スルダケノ量

ヲ貫ヒタイト考ヘテ居リマス、是ハ電力問題バカリデハアリマセヌ、或ハ製鐵其ノ他モアリマセウガ、ソレト同様ニ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス

○山崎委員長 板谷君

○板谷委員 板谷君 板谷問題ニ付キマシテ遞信大臣ノ所信ヲ承リタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り此ノ國家總動員法ガ擴張サレマスレバ、船舶ニ付テモ無論問題ニナツテ來ルダラウト思ヒマスガ、先般總理大臣モ我が國ノ國際情勢ニ於テ船舶ヲ急速ニ建造シナケレバナラヌト云フコトヲ仰シヤツテ居ル、遞信大臣トシテハ將來ノ之ニ對スル對策ハ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ、御差支ノナイ程度ニ於テ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村田國務大臣 御承知ノ通り今日ノ情勢ヲ考ヘマスルト、或ハ將來ヲ考ヘマスレバ、殊ニ東亞共榮圈ノ確立ト云フコトヲ考ヘマスレバ、今日ノ日本ガ保有致シマスル船舶デハ足りナイノデアリマス、隨テ此ノ増強ト云フコトハ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、又是非實行シテ行カナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ御承知ノヤウニ今年ノ如キ鐵鋼其ノ他ノ資材ノ不足ニモ拘ラズ、出來得ルダケ多クノ資材ヲ配當シテ貫ヒマシテ、造船所ガ許ス範圍ニ於テ出來ルダケ多クノ船ヲ造リタイト、今計畫シテ居ル次第デアリマス、又當業者ニ對シマシテモ、船價ガ非常ニ高クナツテ居リマスノデ、採算上下ウカト思ヒマスガ、此ノ際國家觀念ノ下ニ船舶ノ建造ヲシテ貫フヤウニ頼ンデ居リマス

○板谷委員 サウスルト大體前内閣ニ於テ船舶建造ニ對スル十八年度マデノ豫定計畫

ガアツタノデアリマスガ、ソレハ大分變ツテ居リマスカ

○村田國務大臣 前内閣ノ計畫ヨリハ、マダ多クナツテ居リマス

○板谷委員 其ノ御發表ハ出來マセヌカ

○村田國務大臣 發表ハ出來マセヌ

○板谷委員 御發表ガ出來ヌナラバ已ムヲ得ヌデスガ、其ノ計畫ニ對スル資材ノ確保ハ出來マスカ

○村田國務大臣 企畫院其ノ他ト色々相談ノ上、出來ルヤウニ進メテ居リマス

○板谷委員 更ニ伺ヒタイコトハ船舶ノ運輸ノ問題デアリマス、御承知ノ通り企畫院ニ於キマシテ、大體一箇年ノ物動計畫ヲ立テテ、其ノ月々ノ荷物ヲ運ブニ付テハ「ブロック」ヲ作ツテ、之ニ運輸ヲ委任スルト云フヤウナ現在ノ組織ニナツテ居ル、所ガ御承知ノ通りニ、假令物動計畫ニ基イテドノ方面カラドノ荷物ガ出來ルト云フ計畫ヲ立テマシテモ、天候ニ左右サレル、或ハ又港内ノ荷役ノ如何ニモ因リ、又荷物ノ港灣ニ出マス豫定ニ付キマシテモ、中々思フヤウニ行カナク、隨テ私ハ此ノ「ブロック」ノ現在ノ組織ガ旨ク行ツテ居ルトハ考ヘテ居ラヌノデアリマスガ、遞信大臣ハドウ云フ見解ヲ持ツテ居ラレマスカ

○村田國務大臣 今仰セノ通り、船ノコトデアリマスカラ凡ユル天候ニ支配サレマスノデ、如何ニ完全ナル案ヲ立テマシテモ、完全ニ旨ク行クト云フコトハ出來ナイト思ヒマス、今日ニ於テハ「ブロック」ヲ作ツテヤルコトガ宜イト云フ考ヘヲ以テヤツテ居ルノデアリマシテ、是ガ半年或ハ一年後ニナツテドウシテモイケナイト云フナラバ、是ハ幾ラモ變ヘル方法ハアルカト思ヒ

マスガ、現在ニ於キマシテハ「ブロック」ガ宜イト考ヘテ居リマス

○板谷委員 船ノ運輸ト云フコトニ付テハ御承知ノ通りデスガ、現在ドノ方面ニ荷物ガアリ、ドノ方面ニ船ガ遊ンデ居ル、之ヲ脱合ハセテ初メテ圓滑ニ行クヤウニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ從來ノ所謂船舶ノ仲介人ト云フモノヲ出來ルダケ利用スル必要ガアルヤウニ考ヘルニモ拘ラズ、是ガ段々統制サレテ、隨テ是ガ國家管理トナツテ、役人ノ慣レヌ人々ガ之ニ携ツテモ私ハ旨ク行カヌト思ヒマスガ、之ニ對シテ今御話ニ依レバ、將來イカヌ點ハ改正スルト云フ御説ガアツタノデアリマスガ、私ハ細カイトハ申上ゲマセヌガ、現在ノヤリ方デハイケナイト思ヒマス、ダカラ將來ハ出來ルダケ之ニ對スル業者ナリ、或ハ高度國防國家ヲ建設スル上ニ於テ最モ必要デアルト云フ見地カラ、遞信大臣ハ民間ノコトハ能ク御事情モ御分リニナツテ居ルコトデアリマスカラ、唯役人ノ人々ノ机上ノ論ダケデハナク、アナタノ信念ニ基イテ此ノ改正ヲ行フ御決心ヲ持ツテ戴キタイ、此ノ點ヲ一ツ御註文申上ゲテ置キマス——私ハ宜シウゴザイマス

○山崎委員長 伊藤君、何カ遞信大臣ニ御質問アリマセヌカ——宜シウゴザイマスカラ

○小山(倉)委員 一寸、私ニ許ス譯ニ行キマセヌカ、中島君ニ統一シテ貫ツタノデスガ、私ノ聽カントスル點ヲ中島君ハ聽イテ居ナイノデスカラ……

○山崎委員長 デハ極ク簡單ニ……  
○小山(倉)委員 板谷發送電ノ今日マデノ失敗ト云フモノハ、官廳ト發送電トノ間ノ連絡ガ執レナイ、要スルニ發送電ニ相當ノ權

力ヲ持タセ、相當ノ運用ヲ任セナケレバナラナイト思フノデアリマス、私ハ出發ハソコニアルト考ヘテ居ルノデアリマス、發送電ヲ最モ有機的ニ働キ得ルヤウニ改造セラ

ルルト云フ遞信大臣ノ御聲明ガアルヤウデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイ、ソレカラモウ一點ハ、總動員法デ電力ノ統制、或ハ會社ヲ作ルト云フヤウナコトハ、出來得ルコトニナツテ居リマス、併シ只今配電管理法ト云フモノヲ御引込メニナツテ、相剋摩擦ヲ防ガレタコトハ私ハ大變結構ダト思フノデアリマスガ、此ノ配電管理案ハヤハリ總動員法デ其ノ儘出來ルコトニナツテ居リマス、其ノ場合ニ全國ヲ「ブロック」ニ分ケテ、サウシテソコニ又官吏ニ

ヤラセル、斯ウ云フコトニナレバ、發送電ノ又失敗ヲ上塗リヲスル譯デアリマス、政府ハ、殊ニ村田遞信大臣ハ斯様ナ御考ヘナイカ、サウ云フ考ヘヲ以テ進マレルノデアルカドウカ、只今ノ御話ニ依ルト、必ズシモソレバカリデ行クノデハナイ、非常ニ彈力性ノアル御話ヲ伺ヒマシテ、私モ安心シタノデアリマスガ、是非サウヤツテ戴キタイ、若シ會社ヲ作ルト云フ場合ニ、何分ノ利率ヲ以テ還元スル御考ヘデアアルカ、餘リニ民間ノ仕事ヲイデメルヤウナ態度デハ、民間ノ資力ヲ萎靡サセルノミデアリマスカラ、大體其ノ還元率ヲドノ邊ノ見當ニ置カレテ居ルカト云フコトヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○村田國務大臣 發送電ノ計畫ニ最モ必要ナルモノハ人ノ問題デアリマス、前ニ居ラレタ人ニ對シテ私ハ善イトカ惡イトカ言フノデアリマセヌ、自發的ニ辭任サレマシタ後ニ新シク總裁ガ出來マシタ、是ハ業界

ノ推薦モアリ、又財界ニ於テモ推薦ヲサレ  
タ人デアリマス、私ハ其ノ人ノ力量、手腕、  
徳望ニ信賴致シマシテ、發送電ノ内部ノ建  
直シニ關スル凡ユル改革ハ、全然新總裁ニ  
任シテヤラシタイト思フノデアリマス、

又新總裁モ私が總裁就任ノコトヲ傳達致  
シマシタ時ニモ、自分ハ今後ノ餘生ヲ以  
テ發送電ノ建直シニ當ル、滅私奉公ノ觀  
念ヲ以テ當ルト云フコトヲキツパリ言ハ  
レマシタノデ、私ハ發送電ノ總裁ガ今後此  
ノ誓ヒノ考ヘヲ以テ、十分ニ建直シニ盡力  
ヲサレルコトト信ジテ居リマス、ソレカラ  
第二ノ點デアリマスガ、水力歸屬ノ場合ニ  
苛酷ナ標準、物指デヤラヌヤウニ、七十三議  
會デアリマシタカ、物指ガ決マツテ居リマス  
ケレドモ、此ノ點ヲモ私ハ含メテ申シタノデ  
アリマス、色々ノ法令ヲ運用致シマシテ、

出來ルダケ當業者ト話シテ、ソコニ摩擦  
ノ少イヤウニ、又將來會社モ十分ニ立ツテ  
參リマヌヤウニ、又大ニシテハ電力動員ニ  
即應ジ得ルヤウナ機構ニ致シタイト思ヒマ  
ス、モウ一遍繰返シテ申上ゲマスガ、成ベ  
ク法律ニ依ツテ、無理ヲシナイヤウニ、官  
民協力ノ下ニヤリタイ、斯ウ考ヘテ居リマ  
ス

○小山(倉)委員 私ノ質問ノ第一ノ點ハ、  
逓信大臣竝ニ今度總裁ニナラレタ方ノ人格、  
力量、是ハ私共信ジマス、併シドシナ立派  
ナ人格デアツテモ、ドンナ力量ガアツテモ、  
電氣廳ニ事細カニ干涉サレテハ、其ノ能力  
ヲ伸バス譯ニ行キマセヌ、私ノ御尋ネシタ  
ノハ此ノ一點デアリマス、電氣廳ハ指揮監  
督セベシ、發送電ハ其ノ運営ニ付テ十分ノ  
能力ヲ伸バスベシ、専門家ノ意見ヲ十分實  
現シ得ルヤウナ制度ヲ作ツテ貰ヒタイ、斯

ウ云フ點デアリマスカラ、其ノ點ニ付テ十  
分ナ權力ヲ與ヘ、十分腕ヲ揮ハセル御考ヘ  
デアリマスカ、サウ云フ制度ヲ御改革ナサ  
ル御意思デアリマスカ、ドウデアリマスカ、  
更ニ此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○村田國務大臣 其ノ點ハ御答辯ヲ取落シ  
マシタ、制度ノ點ヲ考ヘルノモ必要デアリ  
マスガ、併シナガラ制度ノミデハナイト思  
ヒマス、私ハ自分ガ任官シテ居リマス内ニ、  
發送電ト通信省、或ハ電氣廳トノ關係ヲ相  
當良クシテ行キタイト思ヒマス、此ノ點ハ  
大キク言ヒマス御安心ヲ願ヒマス

○山崎委員長 ソレデハ逓信大臣ニ對スル  
質問ハ是デ終了致シマシタ——休憩致シマ  
ス、午後ハ本會議トノ關聯デアリマスガ、  
只今ノ所、決議案ガ多分二時頃ニハ議了スル  
デアラウト云フコトデアリマスカラ、大體  
二時開會ト云フコトニ豫定致シテ置キマス、  
即チ決議案議了直後ニ開會スル、斯ウ云フ  
コトニドウゾ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ  
午後ハ總理大臣ガ御見エニナル豫定ニナツ  
テ居リマス

正午休憩  
午後三時十分開議  
○川崎委員長 開會致シマス、總理大臣ガ  
御見エニナリマシタカラ、總理ニ對スル御  
質問ヲ御願ヒスルコトニ致シマス、先程貴  
族院ノ側カラモ、總理ノ豫算總會御出席ノ  
要求ガ非常ニ痛烈デアリヤウデアリマシテ、  
大體一時間ヲ限ツテ此ノ委員會ニ御出席ヲ  
願フ、斯ウ云フコトニ政府側ト話合ヒヲ致  
シテ居リマスカラ、是ハ已ムヲ得ザルコト  
ト御承認ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、隨  
テ御質問ハ甚ダ皆様ノ御不滿デアルカモ知  
レヌコトヲ惧レマスカレドモ、右様ノ次第

デアリマスカラ、御一人ニ付キ一問一答  
ノ形式ヲ執リマシテ、一人一問、ソレニ對  
スル總理ノ御答ヘ、重ネテノ御質問ハ御遠  
慮ヲ願フ、サウシテ其ノ一問ノ時間ハ大體  
五分間ヲ目標ニ御願ヒスル、是レ以上ド  
ウモ整理ノ仕方ガアリマセヌカラ、甚ダ委  
員長橫暴ノ嫌ヒハアリマスカレドモ、事情  
已ムヲ得ザルコトト惡シカラズドウカ御諒  
察ヲ御願ヒ申上ゲマス、是ヨリ質問ヲ開始  
致シマス——小山倉之助君

○小山(倉)委員 總動員法ガ強化セラレマ  
シテ、其ノ經濟主體タル個人竝ニ團體ヲモ  
左右シ得ルノデアリマス、之ヲ物的方面カ  
ラ申シマスナラバ、凡ユル物資ヲ左右シ得  
ルノデアリマス、此ノ強大ナル力ヲ持チマ  
スルト、如何ナル形ノ統制經濟ヲモナシ得  
ルト私ハ信ズルノデアリマス、近衛總理大  
臣ハ貴族院ニ於キマシテモ、本院ニ於キマ  
シテモ屢、聲明セラレテ居ル所デアリマスカ  
ラ、御心事ハ何等私ハ疑ヒヲ持チマセヌ、  
唯世間全般ニ不安ヲ與ヘ、恐怖ヲ與ヘテ居  
リマス三點ニ付テ御質問ヲ申上ゲタイトノデ  
アリマスガ、之ヲ一括シテ五分間内ニ整理  
致スノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ御答  
ヘヲ願ヒタイトデアリマス

統制ガ強化セララルニ從ヒマシテ、憲法  
上保障セラレテ居リマス所ノ所有權ガ稀薄  
トナツテ參リマス、而シテ其ノ所有權ノ内  
容デアル所ノ使用、收益、處分ト云フ權利  
ガ段々縮小セラレテ來ル傾向ガアリマス、  
是ハ國家ノ爲ニ已ムヲ得ナイノデアリマス  
ガ、其ノ縮小シテ居リマス關係カラ所有  
權ヲ管理スル——管理スルト云フ觀念ハ所  
有權ヲ益、狹メルト云フコトニナルノデアリ  
マシテ、此ノ管理ヲスルト云フコトト、

之ヲ統制強化スルト云フコトハ、偶、生産手  
段ヲ社會ガ持つ、或ハ國家ガ持つ思想  
ニナル、此ノ社會ガ持つ國家ガ持つ思想  
思想ハ、總テハ利潤ヲ無視スル、利潤ヲ許  
サナイ、個人或ハ會社ニ仕事ヲサセレバ利  
潤追求ニナルカラ之ヲ社會ガ持つ、國家ガ  
持つト云フコトニナレバ其ノ利潤ヲ沒收ス  
ルコトガ出來ル、利潤ナクシテ出來ル、斯  
ウ云フ思想ハ我が國ト相容レザルモノデア  
リマス、併シ適正利潤ヲ認メテ居リマスガ、  
經理統制令デ以テ此ノ利潤ガ色々制限セラ  
レテ居ル、或ハ惧ル、法律上ニ於テハ利潤  
ヲ許サユナ形式ガアリマシテモ、實質ニ  
於テハ利潤ヲナクスルト云フ傾向ガ著シイ  
ト云フコトヲ私ハ憂ヘルノデアリマス、モ  
ウ一ツハ斯クノ如クシテ個人或ハ會社ヨリ  
其ノ産業ノ經理權、産業ノ生産手段ヲ社會  
ニ移シ、或ハ之ヲ國家ニ移スト云フコトハ、  
結局ハ此ノ社會機構ヲ有給ノ官吏ヲ以テ經  
理セシムルト云フ結果ニナルノデアリマス、  
例ヘバ米ノ管理法案ニ依リマシテ、今日米  
穀商ハ殆ド其ノ姿ヲ消シテ、有給ノ商人ガ  
ヤツテ居ル、官吏デハアリマセヌケレドモ、  
有給人デアリマス、即チ私有財産ヲ擁護シ  
ナイカ、利潤ノ追求ヲ許サナイカ、此ノ生  
産手段ヲ全部社會或ハ國家ニ收メルト云フ  
コトハ、我が國ト相容レザル思想デアリマ  
シテ、總理大臣ハ斯様ナ考ヘガナイト云フ  
コトハ能ク承知ヲ致シテ居リマスガ、斯様  
ナ組織ガ出來テ居ル、斯様ナコトガ可能ニ  
ナツテ來ル、即チ共產主義、社會主義ト紙  
一枚ノ制度ガ茲ニ作ラレントシテ居ルノデ  
アリマス、併シナガラ此ノ制度ハ義勇公ニ  
奉ズル、憲法ニ保障セラレタル範圍ニ於テ國  
家ニ奉公スルト云フ信念カラ出テ居ルト云

フコトハ、總理大臣モ屢々聲明セラレテ居ル所デアリマスガ、動モスレバ茲ニ赤化運動ト云フモノニ乗ズル隙ヲ與ヘ、動モスレバ日本ノ從來ノ經濟組織ヲ根本ヨリ覆ヘスト云フ結果ニナルコトヲ私共ハ惧ルノデアリマス、今日經濟人ノ不安ハ此處ニアル、經濟人ガ心カラ協力シ得ザル點ガ此處ニアリ、此ノ點ガ或ハ「サボタージ」トナリ、或ハ生産ノ擴充ヲ阻止スルト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付テ特ニ近衛總理大臣ノ明確ナル御答辯ヲ、此ノ委員會ヲ通シテ國民ニ示シテ戴キタイ、此ノ三點ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○近衛國務大臣 第一ニハ私有財産制度ノコトニ付キマシテノ御尋ネデアリマスガ、申スマデモナク私有財産制度ハ憲法ノ認ムル所デアアルノデアリマス、今回此ノ總動員法ガ改正セラレ、又是ガ或ル程度擴充セラレテ、ソレカラ又此ノ擴充發動ニ依ツテ經濟ノ統制ガ一層強化セララルト云フコトニハ勿論ナリマセウガ、是ハ何處マデモ憲法ノ條規ニ從ツテ行ハレルノデアリマシテ、決シテ私有財産制度ヲ侵スト云フガ如キ結果ニハナラズト思フノデアリマス、政府ハ飽クマデモ憲法ノ定ムル所ニ依リマシテ私有財産制度ヲ尊重シテ參ラネバナラスト思ツテ居リマス、第二ハ企業ノ利潤ニ關スル御所見デアリマス、是モ屢々申述ベマシタウニ、政府當局カラモ御説明ヲ致シタト思ヒマスガ、經濟ノ新體制ニ於キマシテハ、各企業ガソレノ其ノ自主的ノ責任ニ於テ運營セラレ、サウシテ十分ニ其ノ企業擔當者ノ創意ト工夫トヲ盡シテ生産ノ増強ニ努メマシテ、利潤ノ増加モ圖ラナケレバナラ

ヌノデアリマス、唯利益ノ追求ト云フコトヲ最高ノ目標トシ、之ヲ至上ノ目的トシマシテ、之ニ專念シテ他ヲ顧ミナイト云フヤウナコトハ、是ハ許サルベキコトデナイト思ヒマス、政府ハ利潤ヲ否定シマシタリ、或ハ此ノ利潤ニ不當ノ抑制ヲ加ヘマシテ、生産ノ擴充ヲ阻害スルト云フガ如キ結果ヲ招來スルコトハ極力避ケナケレバナラスト思ヒマス、適正ナル利潤デアレバ十分ニ之ヲ認メマシテ、生産力ノ増強ニ寄與セシメタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ此ノ總動員法ノ改正ノ結果、産業ノ社會化ト云フガ如キコトガ起ツテ來ルノデハナイカト云フ問題デアリマスガ、今日此ノ非常時局ニ際會シテ大東亞ノ共榮圈ヲ確立スル爲ニ、此ノ限リアル物資ト、限リアル人力トヲ以テ最大能率ヲ國家國力ノ發揮ノ上ニ於テ齎サナケレバナラスト、此ノ爲ニハ民間ノ各企業ヲシテ、企業ノ公共性ノ自覺ノ下ニ、其ノ自主性ヲ保持シテ、積極的ナル創意ト努力トヲ盡シテ各自ノ最大能率ヲ發揮セシムルト共ニ、各企業ヲシテ、相互ニ緊密ニ協力連繫ヲ致シマシテ、有機的ノ一體トナツテ、生産能率ノ昂揚ニ努メラレルヤウナ組織ヲ整ヘルト云フコトガ必要ナノデアリマス、而シテ之ヲ政府ノ樹立致シマスル綜合的計畫ニ順應シテ、運營シテ行クコトニ依リマシテ、初メテ生産力ノ擴充、經濟總力ノ發揮ト云フコトガ出來ルノデアリマス、今回改正スル國家總動員法モ此ノ精神ニ基イテ運用セラレルノデアリマシテ、此ノ精神カラ逸脱シテ産業ノ社會化ヲ行フト云フガ如キコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、之ヲ以テ御答ヘト致シマス

○山崎委員長 古島君

○古島委員 私モ一言總理大臣ニ思想ノ取締ニ付テ御質問申上ゲタイト思フノデアリマス、近來思想上ノ問題ニ付キマシテハ、隨分色々ナ思想ガ流レテ參ツテ居リマス、中ニハ極右翼デアルト云フノガアリマス、中ニハ極左翼デアルト云フノガアリマス、其ノ中デ最モ恐ルベキモノハ所謂狼ノ威ヲ假ル狐ナラ宜シイノデアリマスガ、狼ノ威ヲ假ル狐ガアルノデアリマス、其ノ狐ガ偶々非常ナ危險ナル思想ヲ持チ、危險ナル考ヘヲ持ツテ殊更ニ言説ヲナシテ居ルノデアリマス、元來或ル團體ガ宣傳部ヲ持ツテ居リ、其ノ宣傳部ガ宣傳部員ヲシテ宣傳サセルト云フコトニナリマスルト、是ハ宣傳ヲシタ人ノ一人ノ責任デハナイト私ハ思フノデアリマス、即チ宣傳ヲサセタ其ノ團體ノ責任デアルト共ニ、其ノ團體ヲ統轄スル統裁者ノ責任デアルト固ク信ジテ居ルノデアリマス、先般東京ニモ起ツタコトデアリ、富山縣ニモ起ツタコトデアリマスルガ、全く私有財産ヲ否認スルヤウナ言説ヲナシテ居ル者ガアリマス、而モ其ノ中ニハ吾々ノ生活ノ費用ハ悉ク 天皇ヨリ頂戴スルノダト云フヤウナ過激ナ意見ヲ述ベ、其ノ金ハ大臣、宰相ト雖モ一掃除人夫ト雖モ悉クガ一千圓ツツ貰フト云フ金額マデ書イテ居ルノガアリマス、 天皇ヨリ生活費ヲ貰フコトニナレバ雇主ニ向ツテ頭ヲ下ゲル必要ハナイノデアル、上官ニ向ツテ敬禮ヲスル必要ハナイノデアル、ココマデ行カナケレバ吾々ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌノダト云フヤウナ演説ヲ、此ノ御膝元デナサツタ方ガアルノデアリマス、其ノ詳シイコトハ私ハ一寸申上ゲニクイノデアリマスカラ申上ゲマセヌガ、斯ウ云フ說ヲナシテ思想界ヲ混亂サセ

ルヤウナ者ガアリマシタ場合ニ於テハ、而モ是ハ其ノ宣傳部員ガ自由勝手ニ其ノコトヲ言ツタノデハナク、或ル團體ノ宣傳部員トシテ之ヲ言ツタ以上ハ、其ノ部員ノ所屬スル團體ハ、當然其ノ責任ヲ負ハナケレバナラストコトガ思フノデアリマス、當然其ノ責任ヲ帶ビルト共ニ、團體ノ統裁者モ是ハ其ノ儘デハ濟マスコトデアアルマイカト思フノデアリマス、私ハ近衛內閣ニ向ツテハ絶對ノ支持ヲナス男デハアリマスガ、偶々誤ラレテ斯ウ云フ風ナ團體ノ總統ヲ近衛總理ガナサツテ居ルト云フコトニ付キマシテ、洵ニ遺憾ニ存ズルモノデアリマスガ大政翼贊會ガ會テ宣傳部員トシテ派遣ヲ致シマシタ某々ガ本年ノ一月二十七日ニ東京デ演説ヲ致シタ、其ノ演説ニハ臣民ノ生命財産ハ天皇ヨリ預カツテ居ルモノデアアル、サウシテ吾々ノ財産ハ 天皇ガ所有スルノデアツテ 天皇ノ御名ニ於テ吾々ガ經營ヲ託サレテ居ル、其ノ處理ヲ託サレテ居ルノデアル、吾々ノ總テノ職域ハ、 天皇ヨリ與ヘラレテ居ルノデアツテ吾々ノ生活費ハ 天皇ヨリ支給サルベキモノデアアル、括弧致シマシテ「一箇年一〇〇圓」トシデアリマスカラ一千圓ノコトデアリマセウ、斯ウ云フ風ナコトヲ言ツテ歩ク組ガアルノデアリマス、即チ吾々ノ私有財産ハ自發的ニ之ヲ 陛下ニ奉還致シテシマヒ、吾々ノ生産機能ハ全部之ヲ 天皇ニ奉還シテシマヒ、財産金融其ノ他ノ一切ノ制度ハ之ヲ廢止スル、斯ウナリマスルト自分ノ持ツテ居ル物ヲ奉還致シ、サウシテ吾々ガ今日マデ金融制度デアルトカ、或ハ物ノ工作制度デアルト云フモノヲ持ツテ居リマシテモ、ソレヲ廢止シテシマハウト云フノデアアル、是レ位恐ルベキ

思想ハ私ハナイト思フノデアリマス、殊ニ我ガ國ガ此ノ日支事變ナリ、其ノ後逼迫シタル時局ガ益々逼迫シテ、萬一ノ事デモ起ルト云フコトニナレバ、ドウ云フコトニナツテ參リマセウ、是ハ「ロシヤ」デ初メテ共產主義ヲ述ベタ時ノ「レーニン」等ノ意見其ノモノデアリマス、是ガ場所モアラウニ帝都ノ眞中、御膝元ニ於テ言ハレト云フコトニナルナラバ、日本ハ半分赤ニナツタト言ツテモ一向過言デハアルマイト思フデアリマス、今ノ内ニ之ヲ思切ツテ刈取ルコトガ出來ナカッタナラバ、或ハ順次是ガ増シテ來ルヤウナコトガアツテハ一大事デアリマス、吾々ハ之ヲ心配シマスガ爲ニ、斯ウ云フコトニ向ツテ總理大臣ガ固キ御決心ヲ以テ、ドウ云フ取締ヲ今日マデ致シテ居ツタカ、今後ハドウシヨウカト云フコトニ付テ、吾々ノ安心ノ出來ルヤウナ御答辯ヲ願ヒタイト思フデアリマス

○近衛國務大臣 翼賛會ノ職員ノ中ニ時々甚ダ不穩當ト思ハレルヤウナコトヲ申ス者ガアルコトハ耳ニスルノデアリマシテ、其ノ度ニ相當ノ戒飭ヲ加ヘ、又其ノ甚ダシキ者ニ對シマシテハ、辭メテ貰ツタ人モアルノデアリマス、今後モ一層其ノ點ニ付キマシテハ注意致シマシテ、翼賛會ガ何分マダ創立尙々ノコトデアリマシテ、各種ノ人ガ入ツテ居ルノデアリマスカラ、今後ハ是ガ醇化育成ト云フコトニ一層力ヲ注ギタイト考ヘマス

○山崎委員長 松村光三君

○松村(光)委員 三點伺ヒマス、第一點、本法ノ第十八條第一項ニ依ツテ國家總動員上必要アル時ハ組合、團體又ハ會社ノ設立ヲ命ズルト云フ改正法ノ規定デアリマスガ、

此ノ場合ニ於テハ當然之ヲ總動員會議ニ提案諮問スルモノト考ヘマスルガ、如何デアリマスカ、第二點ハ審議會ノ運用デアリマス、從來審議會ノ總會ハ議事ガ混亂ヲ起シタ場合、議事ガ纏マラナイ場合ニ限リ特別委員會ヲ開イテ居リマスガ、今後ハ總テノ問題ニ付テ議事規則第十四條ニ依リマシテ、事前ニ特別委員會ヲ開イテ後ニ總會ニ諮ルト云フ風ナコトニ運用方法ヲ變ヘマスルナラバ、度々總會ニ於テ議事ヲ延期シ、或ハ各省舉ツテ全員總會ニ出席シテ無駄ナ時ヲ使フコトハ省略サレテ、議事ガ圓滿ニ行ハレ、慎重ナル討議ガ遂ゲラレルト考ヘラレマスノデ、事前ニ特別委員會ヲ開カレルト云フ方策ニ出デラレテハ如何カト思ヒマス、此際閣令其ノ他ノ省令ヲ必ズ審議會ニ付シテ願ハナケレバナリマセヌ、吾

々從來審議會ニ出席致シテ居リマシテ、其ノ審議會ノ席ニ於キマシテハ閣令、其ノ他ノ施行細則ガ出テ居ラヌ爲ニ、左程ノコトトハ思ハヌモノガ後ニナリマシテ、非常ニ重大ナ影響ヲ各方面ニ及ボシタコトハ其ノ例ニ乏シクアリマセヌ、最近ニ於ケル會社經理統制令ノ如キハ、アノ時ニ閣令、細則ヲ吾々ニ示サレナカツタ爲ニ、後ニナリマシテ閣令其ノ他ノ施行細則ニ依リマシテ細カイ規程ガ出テ、此ノ細則ニ依ツテ以外ナル惡影響ヲ産業ノ上ニ及ボシタノデアリマスルカラ、會議ノ際ニハ成ベクト言ハンヨリモ、必ズ閣令其ノ他ノ施行細則ヲ併セテ示スト云フヤウニ運用セラレナイト、圓滿ヲ期スルコトガ出來ナイト思ヒマス、尙ホ運用上今後ハ民間ノ委員ヲモウ少シ追加サレテハドウカ、又問題ノ必要ニ依ツテ臨時ニ專門委員ヲ設ケラレテハドウカ、即チ審

議會運用ノ上ニ於テ事前ニ特別委員會ヲ開イテ審議スルコトガ、圓滑妥當デハナイカト云フコトト、其ノ際必ズ閣令其ノ他ノ施行細則ヲ加ヘテ審議スル、又ドウモ今後ハ非常ニ混雜シマスカラ民間委員ヲ追加シ、專門委員或ハ特別委員ヲ追加サレテハドウカト云フコトガ、質問ノ第二點デアリマス、第三點ハ産業團體ノ指導者ノ問題デアリマス、過般來企業總裁ノ答辯ニ依リマシテハ、産業團體ノ指導者ニ付テハ、現在第四條ノ規定ヲ應用スル考ヘハ差當リナイガ、將來ハ必要ニ應ジテ之ヲ考ヘルト云ツテ居ラレル、商工大臣ノ答辯ハ不得要領デアリ、遂ニ結論ヲ得マセヌ、ソコデ産業團體ノ指導者ハ簡明直截ニ經濟新體制要綱ノ産業團體ノ規定ニ基イテ「經濟團體ハ業者ノ推薦ニ基キ政府ノ認可スル理事者指導ノ下ニ之ヲ運営ス」ト云フ規定ヲ直チニ明確ニ適用セラレタナラバ、過日來商工大臣並ニ企業總裁ノ答辯ガ今日マデ要領ヲ得テ居リマセヌノデ、此ノ際總裁ハ此ノ産業團體ノ指導者ノ選任ニ付テ、此ノ經濟新體制要綱ヲ直チニ適用スルノデアルト云フコトヲ、明確ニ御答ヘ願ヒタイト思フデアリマスガ、如何デアリマスカ、以上三點デアリマス

○近衛國務大臣 第一ノ御尋ネハ第十八條ノ問題デアリマスガ、是ハ審議會ニ掛ケルコトニナリマス、第二ノ審議會ノ運用ノ問題ハ、是ハ只今御述べニナリマシタヤウナコトヲ悉ク御約束スルコトハ出來マセヌガ、出來ルダケ御趣旨ニ副フヤウニ運用ヲ致シマス、第三ノ産業團體ノ指導者ノ問題ハ、御考ヘノ通りデアリマス

○伊藤(五)委員 私ハ簡單ニ三點ニ付テ御

伺ヒラ致シマス、本總動員法改正法案ハ、戰時動員關係ヲ規定シテ居ル現行法ニ比シテ、其ノ適用範圍ヲ擴大シタルバカリデハナク、全ク其ノ性格ヲ一變シ、經濟組織ノ根柢ニ觸レル基本事項ノ内容ヲ包括シ、政府ノ企圖シテ居ル經濟新體制關係法案ハ、帝國議會ノ審議ヲ經ズシテ悉ク本改正法ニ一括セラレルヤウニ相成ツタノデアリマス、政府ハ帝國議會ヨリ正ニ經濟全權ノ白紙委任ヲ受ケタモノト言ハナケレバナリナイデアリマス、實ニ政府ノ責任ハ重大ナリト私ハ言ハナケレバナラヌト思フデアリマス、若シ政府ガ萬一ニモ官僚ノ獨善ニ陥リ一步其ノ運用ヲ誤ランカ、本改正案ノ目標ハ逆轉シ、生産力ノ増強ヲ阻害シ、國民生活ニ甚大ナル支障ヲ來スコトアルヤモ測リ難イノデゴザイマス、是ニ於テ政府ハ本改正法ヲ運用ニ當リテハ、慎重萬全ヲ期スル爲ニ、從來動トモスレバ形式ニ流レタル國家總動員審議會ヲ擴大強化シテ、兩院議員ノ多數ヲ含ム官民合同ノ大委員會ヲラシメ、此ノ委員會ニ對シテハ實質的決議權ヲ與ヘ、委員ヲシテ勅令案ノ立案者クハ政府案ノ審議ヲ十分盡サシメテ、官民一體ノ實ヲ舉ゲ、本法案ノ所期ノ目的ヲ達成セシムルコトガ、緊要缺クベカラザル問題デアルト思フデアリマス、斯クスルコトニ依ツテ吾々帝國議會モ亦白紙委任狀ヲ政府ニ提出シタル責任ヲ、十分ニ果スコトガ出來ルト思フデアリマスガ、此ノ點ニ關スル御所信ヲ承リタイト思ヒマス、次ニ經濟新體制要綱ニ依レバ「尙本體制ノ整備ニ即應シテ關係行政機構及其ノ事務ノ再編成ヲ行フ」トアルノデアリマスガ、經濟新體制案ノ内容ハ、本改正法ニ依リテ實施セラレント致シテ居ル以上、

同ヒラ致シマス、本總動員法改正法案ハ、戰時動員關係ヲ規定シテ居ル現行法ニ比シテ、其ノ適用範圍ヲ擴大シタルバカリデハナク、全ク其ノ性格ヲ一變シ、經濟組織ノ根柢ニ觸レル基本事項ノ内容ヲ包括シ、政府ノ企圖シテ居ル經濟新體制關係法案ハ、帝國議會ノ審議ヲ經ズシテ悉ク本改正法ニ一括セラレルヤウニ相成ツタノデアリマス、政府ハ帝國議會ヨリ正ニ經濟全權ノ白紙委任ヲ受ケタモノト言ハナケレバナリナイデアリマス、實ニ政府ノ責任ハ重大ナリト私ハ言ハナケレバナラヌト思フデアリマス、若シ政府ガ萬一ニモ官僚ノ獨善ニ陥リ一步其ノ運用ヲ誤ランカ、本改正案ノ目標ハ逆轉シ、生産力ノ増強ヲ阻害シ、國民生活ニ甚大ナル支障ヲ來スコトアルヤモ測リ難イノデゴザイマス、是ニ於テ政府ハ本改正法ヲ運用ニ當リテハ、慎重萬全ヲ期スル爲ニ、從來動トモスレバ形式ニ流レタル國家總動員審議會ヲ擴大強化シテ、兩院議員ノ多數ヲ含ム官民合同ノ大委員會ヲラシメ、此ノ委員會ニ對シテハ實質的決議權ヲ與ヘ、委員ヲシテ勅令案ノ立案者クハ政府案ノ審議ヲ十分盡サシメテ、官民一體ノ實ヲ舉ゲ、本法案ノ所期ノ目的ヲ達成セシムルコトガ、緊要缺クベカラザル問題デアルト思フデアリマス、斯クスルコトニ依ツテ吾々帝國議會モ亦白紙委任狀ヲ政府ニ提出シタル責任ヲ、十分ニ果スコトガ出來ルト思フデアリマスガ、此ノ點ニ關スル御所信ヲ承リタイト思ヒマス、次ニ經濟新體制要綱ニ依レバ「尙本體制ノ整備ニ即應シテ關係行政機構及其ノ事務ノ再編成ヲ行フ」トアルノデアリマスガ、經濟新體制案ノ内容ハ、本改正法ニ依リテ實施セラレント致シテ居ル以上、

政府ハ其ノ先決要件ト致シマシテ、關係行政機構及ビ其ノ事務ノ再編成ヲナスベキ義務ガアルト思フノデアリマス、政府ハ之レニ對シテ如何ナル具體案ヲ御持チニナツテ居ルカ、是ガ第二點デアリマス、第三點ハ、官吏ノ使命ト責任ノ重大ナルニ鑑ミマシテ、近衛內閣總理大臣ハ過般官吏制度ノ一大改革ヲ斷行セラレタルコトハ、私ノ深く敬意ヲ表スル次第デアリマス、併シナガラスル官吏制度ノ改革ヲ斷行セラレタルニモ拘ラズ、尙且ツ吏道ノ刷新、吏人精神ノ涵養ヲ要スルコト、今日ヨリ急ナルハナイノデアリマス、近衛內閣總理大臣ハ、此ノ憂慮スベキ秋ニ際シマシテ、官吏ノ實踐スベキ道ヲ執筆セラレマシテ、之ヲ內閣訓示トシテ全國ノ官吏ニ發セラレ、官吏ノ心ノ鑑トセラレルコトガ必要デハナイカト信ズルノデアリマス、之ニ對スル所ノ近衛內閣總理大臣ノ御所信ヲ承リタイト思フノデアリマス

○近衛國務大臣 第一ノ總動員會議ノ問題デアリマスガ、是ハ今回ノ如キ總動員法ノ改正ニ依リマシテ、政府ノ責任モ非常ニ重大ヲ加ヘルデアリマスガ、審議會ノ任務モ亦益々重大トナツテ來タノデアリマス、ソレデ其ノ審議會ノ組織ナリ運用ナリニ付キマシテモ、一層效果ヲ擧ゲルヤウニ十分工夫ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ官吏制度、官廳ノ改革ノ問題デアリマスガ、曩ニ御承知ノヤウニ官吏制度ノ改革ハ致シマシタ、官廳事務ニ付キマシテモ不急不用ノ事務ヲ整理シマシテ、且ツ事務ノ進行ノ上ニ於テ出來ルダケ簡易化ヲ圖リ、又能率化ヲ圖リマシテ、此ノ時局ノ要請ニ眞ニ適合スルヤウニ、行政ノ運用ヲ期セナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマ

ス、目下折角努力ヲ致シテ居リマス、官廳ノ機構ニ付キマシテモ、今日ノ事態ニ即應シテ實情ニ立脚シタル改正整理ヲ行ヒマシテ、民間ノ人ガ歸趨ニ迷フヤウナコトガナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、次ニ吏道刷新ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、是モ屢、申シマシタヤウニ、吏道ノ刷新、官紀ノ振肅ヲ圖ルト云フコトハ、今日ノ急務デアリマス、只今御話ノ官場訓示云フガ如キモノヲ定メタルト云フコトモ、十分考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○山崎委員長 中原謹司君

○中原委員 前伊藤委員ト同ジ心配デアリマスガ、反對ノ方ノコトヲ聽クヤウニナルノデアリマス、私モ官界ノ革新、首相權限ノ強化、更ニ監察制度ナドノコトニ付テ承リタイノデアリマス、今度ノ案ハ各重要産業團體ノ自主統制トスルト云フ所ニ非常ナ面白味モアルト同時ニ、又此ノ指導監督ヲ誤レバ四分五裂ノモノニナル虞レガ十分アルト思フノデアリマス、其ノ點ニ私共ハ政府ノ監督指導ト云フコトニ、萬遺憾ナキヲ期シテ戴キタイト云フノガ中心デアリマス、ナゼ斯ウ云フ不遜ナ言ヲナスカト申シマス、從來ノ實業界ノ方達ガ官僚獨善ノ統制ニ付テ屢、之ヲ批判サレテ居リマス、ソレモ缺點ガアツタト思ヒマス、併シ其ノ方達ノ人格ヲ疑フ譯デハナイノデアリマスガ、自主統制ニナツタ際ニ、或ハ「ドイツ」ノヤウニ、或ハ「イタリー」ノヤウニ、政府ト同ジ指導原理、首相ト同ジヤウナ同志のナ關係、同志のナ機構ヲ持ツテ居ル所デ自主ヲ許セバ、ソレハ實ニ政府ノ意圖スル通りニ參ルデアリマセウ、併シ日本ノ現狀ハ果シテソコマデ行ツテ居ルカドウカ、政府デ綜合計

畫ヲ立テテ十分監督ヲナサツテ居テスラ、其ノ手裡ヲ逸脱シテ、或ハ恐ル自主デナクシテ自肆或ハ放縱ニ流ルコトナキヤ、私共ハ恐ルルノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ政府ニ期待スル所ガ實ニ大キイノデアリマスガ、併シ現在私共昨年十一月以來政府ガ御執リニナツタ御方針ヲ見マスト、ソレハ將來伸ビル爲ニ、飛躍スル爲ニ縮ムト云フ必要ガオアリニナツタカト思フノデアリマスガ、經濟新體制ノ要綱ヲ拵ヘマス時ニ、同ジ官界ニ於テ相當ノ意見ノ違ヒガアツタ、是ハ人間デスカラ已ムヲ得マセスガ、可ナリ革新的ナ案ニ對シテ寧ロ政府以外ノ部外ノ人ガ相當猛烈ト運動ガアツテ、其ノ爲ニ政府ハ遂ニ妥協セザルヲ得ナカツタト云フヤウナ風聞ヲ聞クノデアリマス、其ノ點ニ付テモ御聽キシタイノデアリマスガ、ソレハ今日ハ別ニ聽キマセス、ケレドモサウ云フ噂ガ立ツテ今度ノ新體制ガ出來タ、其ノ結果ガ今回ノ自主統制案ト云フ風ニ世間デハ思ツテ居ル、ソレカラ更ニ選舉法改正案ノ如キモ俄ニ戸主制ト云フヤウナ制度ヲ御採リニナルヤウニ發表サレマシテ、少クトモ若イ部面、新體制ヲ加味シナケレバナラヌト云フ部面ノ者ハ、可ナリ失望シテ居ルヤウニモ思ハレマス、農村方面トシテハ、農林水產團體ノ統一統制ハ、目下ノ急務

ト皆思ツテ居ルノデアリマスガ、最近ニ農林大臣ノ御話ニ依リマス、色々ナ事情ガアツテ是モ急速ニ運ブコトガ出來ナイト云フヤウナ御話ヲ承ツテ居リマス、サウシマスト新體制ヲ高唱サレ、更ニ又國民ヲ新シイ體制ニ導クヤウニ、再編成ニ強ク指導シテ行クベク期待シテ居リマシタ現內閣

ノ方針ガ、稍、後退シタカノ如キ感ヲ持ツノデアリマス、政府ガ此ノ自主統制ニ對スル御方針ガ前云フ様ナ後退シタ御心持デ對處サレルト、或ハ指導監督ト云フ點ニ於テ缺クル所ナキヤ實ハ心配サレルノデアリマス、是ガ杞憂ニ終レバ洵ニ幸デアリマス、サウ云フコトカラ、唯今十分首相カラ責任ヲ負ツテ此ノ案ノ趣旨ノ貫徹ヲ期スル御話ガアリマシタケレドモ、モウ少シ細部ニ付テ御伺ヒ申シテ見タイト思フノデアリマス、此ノ新經濟體制要綱ニモアリマス通りニ、基本方策ノ中ニ、本體制ノ整備ニ即應シテ、關係行政機構並ニ其ノ事務ノ再編成ヲ行フト云フコトガ御示シニナツテ居リマス、承ルニ昨年ノ十二月中旬デアリマシタカ、農林省商工省等ニ多少ノ機構ノ改變ガアツタノデアリマスガ、ソレヲ以テ満足サレルノデアリマセウカ、又ソレハ今後更ニ此ノ事態ノ進ムニ從ツテ、モツト是ハ機構ヲ改變サレルノデアリマスガ、私共思ヒマスルニハ、是ダケノ大キナ權限ヲ產業團體ニ移讓シソレヲ指導シ監督スルト云フノデアリマ

スカラ、モツト權威アル監督機構ヲ要スル、實ハ局長ノ如キハ、ヤハリ先程官僚獨善ヲ伊藤委員モ言ハレマシタガ、其ノ官僚獨善ノ弊風ヲ一掃スルト同時ニ、サウ云フ產業團體ノ事情ニ通曉シタ、相當產業界ノ重ナル人達ニ對シテモ、威壓スル力ノアル民間人ヲ局長ナリ次官ナリニ御採用ニナツテ、或ハモツト事務次官ト云フヤウナ人ヲ殖シテ、サウ云フ人ヲ採用シテ指導監督ニ關スル強味ヲ増スト云フ必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テサウ云フ必要ヲ持ツテ居ラヌノカ、或ハ他ノ方法デオヤリニナルノカ、其ノ點一ツ、ソ

レカラドウ致シマシテモ此ノ非常時デアリ  
マスカラ、單リ總動員法業務ノ遂行バカリ  
デナク、總理大臣ノ權限ヲモツト強メテ戴  
ク、ブレイン・トラス・トノ大臣ヲ幾人モ御  
入レニナツテ強メテ戴クト云フコトガ、此  
ノ非常時突破ニ於テ必要デハナイカト思  
フ、其ノ點ニ付テノ御方針、ソレカラ更ニ  
同業ノ代表ニ選バレル方々、是ハ立派ナ人  
達ニ違ヒナイ、產業界ノ立派ナ人達ニ違ヒ  
ナク、至誠モアル人々ト思ヒマスガ、其傘  
下ニハ何ニシテモ五十年來營利追求本位デ  
働イテ居ル人達ガ多數アラウト思ヒマス、  
其ノ中ニハ拔道モアレバ裏街道モアルト思  
ヒマス、サウ云フ人達ニ對シテハ、之ヲ疑  
フ譯デハナイガ、誤リナカラシムル爲監察  
スル制度ヲ設ケテ萬遺憾ナキヲ期スル必要  
ガアルト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テノ御見  
解ハ如何デアリマスカ、以上ノ點ニ付テ御  
伺ヒシタイト思ヒマス

アリマス、一點ハ政府ハ時局ノ重大性ニ鑑  
ミラレマシテ、今議會提出ノ法案ノ大整理  
ヲ行ハレタノデアリマス、此ノ處置ヲ政府  
ガ執ルヤウニナリマシテカラ、一部ニハ革  
新ノ後退デアルト云フコトヲ言フ人ガアリ  
マス、又一部ニハ現在ノ儘ノ機構ヲ以テシ  
テ總力ガ發揮出來ルト考ヘル人モアリマス、  
併シ私ハ先日豫算委員會ノ席上ニ於テ陸軍  
大臣ガ藤本君ノ生産力擴充ニ關スル質問ニ  
對シテ答ヘラレタ通り、我が國ハ戰爭遂行  
中デアリマスカラ、生産力ハ一日モ低下シ  
テハナラナイノデアリマス、又一日モ早ク  
總力戰體制ヲ整ヘテ行カナケレバナラヌト  
思フノデアリマス、此ノ總力戰體制ヲ整ヘ  
ル、即チ國防國家ヲ建設シテ行ク場合ニ於  
キマシテハ、政治、經濟、文化凡ユル方面  
ニ革新ガ要請サレテ來ルト思フノデアリマ  
スガ、革新ノ爲ノ革新デアツテハナラヌト  
思フノデアリマス、革新ノ爲ニ生産力ノ低  
下ガ行ハレテハ斷ジテナラヌト思フノデア  
リマスガ、國家ノ總力戰體制ニ必要ナル革  
新ハ、思ヒ切ツテ之ヲヤツテ行カナケレバ  
ナラヌト思フノデアリマス、之ニ對スル總  
理大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリ  
マス

法ヲ發動スルコトニ依ツテ不提出ニナリマ  
シタ諸法案ノ缺陷ヲ補ハントスル意思デア  
ラレカドウカ、此ノ際承ツテ置キタイト  
思フノデアリマス、以上ノ二點デアリマス  
○近衛國務大臣 此ノ生産力ノ擴充ト云フ  
コトガ何ヨリモ今日ノ急務デアリ、總テノ  
目標ハ此ノ一點ニ集中シテ居ルト思フノデ  
アリマス、生産力擴充ノ爲ニ必要ナル革新  
デアルナラバ、是ハドウシテモ行ハナケレ  
バナラヌ、併シナガラ所謂革新ノ爲ノ革新  
ト云フモノハ是ハ此ノ際避ケナケレバナラ  
ヌ、斯ウ云フ風ニ根本的ニハ考ヘテ居リマ  
ス、ソレカラ此ノ時局ノ要請ニ基ク法案ニ  
シテ此ノ議會ニ提出ニナリマセシタモ  
ノハ、ヤハリ總動員法ノ發動ニ依ツテ行フ  
積リデアリマス

トナツテ居ル人物ノ心構ヘ、又其ノ手腕、  
力量ト云フモノガ其ノ事業ガ眞ニ繁榮スル  
カドウカラ決スル、要スルニ斯ウ云フコト  
デアラウト思ヒマス、隨ヒマシテ指導者原  
理ト云フモノハムヅカシイ言葉ノヤウデア  
リマスガ、要スルニ人物ヲ中心トシテ企業  
ヲ行ヒ、人物ヲ中心トシテ之ニ信賴シ、之  
ヲ中心トシテ各企業ガ運營サレル、或ハ企  
業ノ合同シテ場合之ヲ其ノ指導的立場ノ中  
心トシテ企業ガ運營サレル、之ヲ所謂指導  
者原理ト云フ風ニ私ハ解シテ居リマス  
○深澤(豐)委員 此ノ指導者原理論ノ唱ヘ  
ラレテ居リマス反面ニ、現在ノ人々デハイ  
ケナイノダ、指導者原理ニ依ツテ經營スル  
者ニ取リ替ヘルノダト云フコトガ、其ノ前  
提ニナケレバナラヌ、サウスルト、現在ノ  
人々ノ經營ニハ任セテ置ケナイ、指導者原  
理ヲ體得シテ居ル者ニ其ノ事業ノ指導ヲサ  
セ、經營ヲサセルノダト云フコトニナリマ  
スト、一體世界ノ何處ニサウ云フコトヲヤ  
ツテ居ル國ガアルノカ、若シサウ云フ例ガ  
アツタラ伺ヒタイト思ヒマス

○星野國務大臣 我ハ餘リサウ云フ言葉ハ  
用ヒマセスガ、私ノ解釋シ、考ヘテ居リマ  
スノハ、指導者原理ト申シマスノハ決シテ  
今アルモノガ良イトカ惡イトカ云フコトデ  
ハゴザイマセスノデ、現在アル人物デアリ  
マシテモ、兎ニ角人物本位デ、其ノ事業ノ  
經營ヲ任セラレタ其ノ人物ヲ中心トシテヤ  
ツテ行カナケレバイカヌデヤナイカ、事  
業ヲ唯、物的ニ見ルヨリハ、其ノ中心人物ト  
云フモノノ手腕、力量、及ビ心構ヘト云フモ  
ノニ重キヲ置イテ、經營ト云フモノヲ見  
テ行カウ、斯ウ云フコトト思ヒマス、隨ヒ  
マシテ例ヘバ現在アル會社ノ企業ニ於キマ

○近衛國務大臣 政府ハ初メカラ自主統制  
ナノデアリマシテ、何カ政府以外ノ或ル勢力  
ニ動カサレテ、途中カラ自主統制ニナツタト  
云フヤウナ御考ヘノヤウデアリマスガ、サウ  
云フコトハ決シテナイノデアリマス、ソレカ  
ラ政府ノ指導監督ニ付キマシテハ、是ハ大綱  
ニ付キマシテハ之ヲ強力ニ行フコトハ勿論  
デアリマス、官界ノ整備ニ付テ農林省、商工  
省其ノ他ニモ更ニ之ヲ行フ必要ガアルカド  
ウカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ事情ニ  
依リマシテ更ニ之ヲ行フ必要モアルト思ツ  
テ居リマス、總理大臣ノ權限ノ強化ト云フコ  
トハ、是ハ今日法制ノ上ニ於テハ斯クノ如  
キコトヲスル必要ヲ認メマセヌ

○山崎委員長 淺沼君  
○淺沼委員 我ハ二點程御尋ネシタイノデ

第二番目ハ、政府ニ於テハ重要法案ノ不提出  
ト、總動員法ノ改正トハ關係ガナイト言ハ  
レテ居ルノデアリマス、併シ此ノ不提出ニナ  
リマシタ諸法案ニ付テ考ヘテ見マスト、ソ  
レガ平時立法、或ハ戰時立法デアルト假定致  
シマシテモ、政府ガ立案スルニ當リマシテハ  
國家的要請ニ基イテ作ラレタ法案デアラウ  
ト思フノデアリマス、其ノ法案ヲ提出シナカ  
ツタ結果、ソコニ幾分デモ缺陷ガ現レテ參  
リマシタ場合ニ於キマシテハ、政府ハ總動員

第六類第十號 國家總動員法中改正法律案委員會會議錄 第五回 昭和十六年二月六日

一一一

シテモ、要スルニ最モ斯業ニ經驗ガアツテ、サウシテ長イ間ソレニ當ツテ居ル者ヲ中心トシテ企業ヲ行ハシメル、斯ウ云フ心組ミデアリマス、例ヘバ今度ノ新體制ノ中デ團體ヲ作ル、其ノ團體ト云フモノニ付キマシテハ、ヤハリ其ノ團體ノ中デ、最モ斯界ノ經驗並ニ閱歷或ハ手腕ノアルモノニ依ツテ、自ラ其ノ人ガ中心トナツテ行クト云フコトニ依ツテ運営サレデアラウト云フ、其ノ人物ト云フモノヲ中心トシテ行カウ、斯ウ云フ心組ミデゴザイマセヌシ、決シテ抽象的ノ問題デモゴザイマセヌシ、今居ル者ヲ決シテドウノ斯ウノト云フ意味デヤアリマセヌ

○深澤(豊)委員 此ノ指導者原理ト云フ言葉ノ今ノ御解釋ハ、斯クナケレバナラヌモノダト思ヒマス、所ガ此ノ「フューラー・プリンチーブ」ト云フコトガ唱ヘラレマシタノト時ヲ同ジウシテ、公益優先ト云フ言葉ガ唱ヘラレシタ、此ノ公益優先ト云フ言葉ト、指導者原理ト云フ言葉トガ、同時ニ唱ヘラレタ、言換ヘルト過去ノ經營者ハ私益ノ追求ノ經營者デアアルカラ、是ハ公益優先ノ趣意ニ立直ラナケレバナラヌ、公益優先ヲナサシメル爲ニハ、其ノ趣意ヲ體得シタ、指導者原理ニ依ツテ行ツテ行ケル人ニ代ラナケレバナラヌ、茲ニ資本ト經營トヲ分離セシメテ、經營者ハ此ノ指導者原理ニ依ツテ、公益優先ヲ行ハシムルト云フヤウナ議論ニナツテ來タ、ソコデ社會ニ波紋ヲ起シタノデアリマスガ、只今ノ御答ヘヲ其ノ儘私ハ御尤モデアルト考ヘマスノデ、此ノ點ハ是デ諒解シテ置キマス、但シ指導者原理ニ付キマシテハ、是ハ企畫院トシテハ一應御考ヘヲ願ハナケレバナラヌト思フ、私ハ近頃

言ハレテ居リマスル指導者原理ト云フコトハ、官僚獨善ニ依ル指導者原理、斯ウ解釋致シテ居リマス、政府ガ斯ウ考ヘタナラバ、又政府ノ役人ガ斯ウ考ヘタナラバ、其ノ方針ニ從ツテ事業ヲ經營スル、是ガ指導者原理ニ則ツタ經營デアアル、斯様ナ考ヘ方デ日本ノ事業ヲヤツテ參リマスルト、日本ノ事業ハ全部滅ビテシマフダラウト思フ……

〔委員長退席、伊藤(五)委員長代理着席〕

何故ナラバ官僚ノ諸君ハ事業ノ素人デアリマスカラ、一體指導者原理ト云フ言葉ガ出テ來マスルノモ變ニ思フ、企畫院デハ大分「ロシヤ」ノコトヲ御研究ノヤウデアリマス、此ノ問題ヲ起シタ人々モ最初企畫院デ「ロシヤ」ノコトヲ研究スル爲ニ雇ツタ、其ノ人々ニ依ツテ「ロシヤ」ノ事情ヲ研究サレタモノガ今日デモ尙ホ殘ツテ問題ヲ起シテ居ルノデスガ、此ノ「ロシヤ」ノ問題ニ致シマシテモ、「ロシヤ」ニ於ケル學者専門家ノ地位——「ロシヤ」デハ議會ニ掛ケル議案スラモ學者専門家ノ委員會ヲ通過シナケレバ原案トナラナイノデアリマス、況ヤ「スターリン」ノロヲ衝イテ出マスモノハ學者専門家ニ依ツテ十分ノ検討ガ加ヘラレタモノデアル、是ガ先ツ謂ハバ指導者原理デアリマセウ、「ヒットラー」ノロヲ衝イテ出マスモノ、其ノ陰ニ居リマスモノハ無位無官デアリマシタ、今ハ相當ノ地位ニ居ラレマスガ、外交ノ問題ニ關シテハ「リッペンドロップ」ガ全ク陰ノ人デアツタ、此ノ指導者原理ヲ「ヒットラー」ヲシテ言ハシムル、「ヘス」ト云フ人モ亦全ク陰ノ人デアツタ、此ノ人々ガ學者専門家ヲシテ十分ニ検討セシメタ其ノ結論、「エッキス」ヲ以テ、サウシテ「ヒッ

トラ」ヲシテ茲ニ指導者原理ヲ立テシメテ居リマス、「フューラー・プリンチーブ」ハサウシテ立ツテ居ル、官吏ノ獨善ニ依ツテ立ツテ居ルノデヤアリマセヌ、日本デ若シ指導者原理ト云フヤウナコトヲ立テラレルノデアアルナラバ、宜シク學者専門家ノ結晶シタル意見ヲ以テ指導者原理ヲ定ムベキモノデアツテ、政府ナリ又官吏ナリノ獨善ニ依ツテ定ムベキモノデナイ、斯様ニ考ヘマセガ、若シ指導者原理ト云フヤウナコトガ必要デアルナラバ、斯クナケレバナラナイ、本日ノ本會議ニ於テ、偶、科學總動員ト云フ言葉ガ使ハレマシタ、此ノ科學總動員ト云フ言葉ハ、是ハ説明者ハ發明發見ニ付テ御述べニナリマシタ、發明發見ハ勿論科學總動員ニ依ラナケレバナリマセヌ、今日全國ノ各研究所ガ一年間ニ使ヒマス經費ガ、大キナ所ダケ集メテモ四千二百萬圓ト云ハレテ居リマス、此ノ四千二百萬圓ノ大キナ經費ヲ使ツテ研究シテ居ツテモ、何等ノ結果ガ現ハレテ來ナイ、ソレハ壁ニ突キ當ツテ一ツノ問題ノ解決ガ出來ナイデ困ツテ居ルト思ヒマス、ソレデ一ツ企畫院ガ此ノ總動員ノ發動ヲシテ、其ノ問題ハ學者ニヤラシメレバ、協力セシメレバ、其ノ壁ヲ突キ抜ケルコトガ出來ルノダト云フコトガ各部門ニ澤山アラウト思ヒマス、此ノ間モ學者ノ人々、専門ノ人々ニ依ツテ儘カ時局ニ即シタル項目ダケヲ數十項目ヲ擧ゲテ、是カラ研究スルト云フコトヲ決議サレタ答デアリマス、是等ノモノニ對シテ此ノ學者専門家ヲ總動員シテ、サウシテ發明ニ協力セシメルコトハ勿論デアリマス、單リ發明デハアリマセヌ、總動員全體ニ於テ、ドンナ部門ニ對シテモ此ノ科學ノ基礎ニ立タナケレバ

ナラナイ、米ノ増産ト云フ問題ニ付テモ、肥料ノ問題ダケヤナイ、即チ今ノ如ク耕地ガ全ク自分ノ住居カラ飛ンデ居ル、耕地ガアチラ、コチラニ飛ンデ居ル、此ノ飛ンデ居ルモノハ皆交換セシメテ、一箇所ニ纏メテ、サウシテ自分ノ家ノ近くニ持ツテ來ル、交換ヲナサシムレバ、是デドノ位農家ノ勞力ガ省ケ、又生産ガ殖エルカ分ラナイ、ソレヲ科學的ニ研究シ、統計ヲ取ツテ貰フ、或ハ實行ノ方法ニ付テ考ヘテ貰フト云フヤウナコトガ必要デアアル、東京ノ此ノ電車ノ込ンデ居ル状態ナンカモ、今度ノ時局産業ニ通勤スル者ノ住宅ヲ、若シ其ノ工場附近ニ従業員等ノ交換ヲ行ハシメルコトガ、是モ科學的ノ統計ニ依ツテ研究セラレテヤルナラバ、交換可能デアアルシ、混雜ヲ避ケルコトモ出來マセウ、斯様ナ小サナコトカラ、大キナ生産擴充ノ問題ニ至リマスルマデ、科學ノ學者専門家ヲ總動員ニ協力セシムルト云フコトヲ願ヒタイ、勿論偉イ人達デアリマスカラ、權力ヲ以テナサシムル、單リ學者ガ偉イノデハナイ、官吏ガ偉イノデハナイ、學問ガナクテモ長イ經驗者ハ皆偉イノデアリマスカラ、此ノ人々ノ動員ヲスルヤウニシテ、茲ニ初メテ指導者原理ト云フモノノ過チノナイモノガ打立テラレルノデハナイカト思ヒマス、是ハ一ツ大臣ノ御考慮ヲ煩ハシテ置キマス

○板谷委員 一寸關聯シテ——今深澤君ノ御質問ニナツタ指導者原理デスガ、是ハ私ノ想像デアリマスガ、企畫院デ立案サレタル所謂計畫經濟ハ、ヤハリ全體主義トデモ申シマスガ、此ノ觀念カラ出テ居ルヤウニ感ゼラレルノデアリマス、ソコデ、近衛總理ハ假ニ外國ノ思想ヲ採入レルトシテモ、

ナラナイ、米ノ増産ト云フ問題ニ付テモ、肥料ノ問題ダケヤナイ、即チ今ノ如ク耕地ガ全ク自分ノ住居カラ飛ンデ居ル、耕地ガアチラ、コチラニ飛ンデ居ル、此ノ飛ンデ居ルモノハ皆交換セシメテ、一箇所ニ纏メテ、サウシテ自分ノ家ノ近くニ持ツテ來ル、交換ヲナサシムレバ、是デドノ位農家ノ勞力ガ省ケ、又生産ガ殖エルカ分ラナイ、ソレヲ科學的ニ研究シ、統計ヲ取ツテ貰フ、或ハ實行ノ方法ニ付テ考ヘテ貰フト云フヤウナコトガ必要デアアル、東京ノ此ノ電車ノ込ンデ居ル状態ナンカモ、今度ノ時局産業ニ通勤スル者ノ住宅ヲ、若シ其ノ工場附近ニ従業員等ノ交換ヲ行ハシメルコトガ、是モ科學的ノ統計ニ依ツテ研究セラレテヤルナラバ、交換可能デアアルシ、混雜ヲ避ケルコトモ出來マセウ、斯様ナ小サナコトカラ、大キナ生産擴充ノ問題ニ至リマスルマデ、科學ノ學者専門家ヲ總動員ニ協力セシムルト云フコトヲ願ヒタイ、勿論偉イ人達デアリマスカラ、權力ヲ以テナサシムル、單リ學者ガ偉イノデハナイ、官吏ガ偉イノデハナイ、學問ガナクテモ長イ經驗者ハ皆偉イノデアリマスカラ、此ノ人々ノ動員ヲスルヤウニシテ、茲ニ初メテ指導者原理ト云フモノノ過チノナイモノガ打立テラレルノデハナイカト思ヒマス、是ハ一ツ大臣ノ御考慮ヲ煩ハシテ置キマス

ナラナイ、米ノ増産ト云フ問題ニ付テモ、肥料ノ問題ダケヤナイ、即チ今ノ如ク耕地ガ全ク自分ノ住居カラ飛ンデ居ル、耕地ガアチラ、コチラニ飛ンデ居ル、此ノ飛ンデ居ルモノハ皆交換セシメテ、一箇所ニ纏メテ、サウシテ自分ノ家ノ近くニ持ツテ來ル、交換ヲナサシムレバ、是デドノ位農家ノ勞力ガ省ケ、又生産ガ殖エルカ分ラナイ、ソレヲ科學的ニ研究シ、統計ヲ取ツテ貰フ、或ハ實行ノ方法ニ付テ考ヘテ貰フト云フヤウナコトガ必要デアアル、東京ノ此ノ電車ノ込ンデ居ル状態ナンカモ、今度ノ時局産業ニ通勤スル者ノ住宅ヲ、若シ其ノ工場附近ニ従業員等ノ交換ヲ行ハシメルコトガ、是モ科學的ノ統計ニ依ツテ研究セラレテヤルナラバ、交換可能デアアルシ、混雜ヲ避ケルコトモ出來マセウ、斯様ナ小サナコトカラ、大キナ生産擴充ノ問題ニ至リマスルマデ、科學ノ學者専門家ヲ總動員ニ協力セシムルト云フコトヲ願ヒタイ、勿論偉イ人達デアリマスカラ、權力ヲ以テナサシムル、單リ學者ガ偉イノデハナイ、官吏ガ偉イノデハナイ、學問ガナクテモ長イ經驗者ハ皆偉イノデアリマスカラ、此ノ人々ノ動員ヲスルヤウニシテ、茲ニ初メテ指導者原理ト云フモノノ過チノナイモノガ打立テラレルノデハナイカト思ヒマス、是ハ一ツ大臣ノ御考慮ヲ煩ハシテ置キマス

ナラナイ、米ノ増産ト云フ問題ニ付テモ、肥料ノ問題ダケヤナイ、即チ今ノ如ク耕地ガ全ク自分ノ住居カラ飛ンデ居ル、耕地ガアチラ、コチラニ飛ンデ居ル、此ノ飛ンデ居ルモノハ皆交換セシメテ、一箇所ニ纏メテ、サウシテ自分ノ家ノ近くニ持ツテ來ル、交換ヲナサシムレバ、是デドノ位農家ノ勞力ガ省ケ、又生産ガ殖エルカ分ラナイ、ソレヲ科學的ニ研究シ、統計ヲ取ツテ貰フ、或ハ實行ノ方法ニ付テ考ヘテ貰フト云フヤウナコトガ必要デアアル、東京ノ此ノ電車ノ込ンデ居ル状態ナンカモ、今度ノ時局産業ニ通勤スル者ノ住宅ヲ、若シ其ノ工場附近ニ従業員等ノ交換ヲ行ハシメルコトガ、是モ科學的ノ統計ニ依ツテ研究セラレテヤルナラバ、交換可能デアアルシ、混雜ヲ避ケルコトモ出來マセウ、斯様ナ小サナコトカラ、大キナ生産擴充ノ問題ニ至リマスルマデ、科學ノ學者専門家ヲ總動員ニ協力セシムルト云フコトヲ願ヒタイ、勿論偉イ人達デアリマスカラ、權力ヲ以テナサシムル、單リ學者ガ偉イノデハナイ、官吏ガ偉イノデハナイ、學問ガナクテモ長イ經驗者ハ皆偉イノデアリマスカラ、此ノ人々ノ動員ヲスルヤウニシテ、茲ニ初メテ指導者原理ト云フモノノ過チノナイモノガ打立テラレルノデハナイカト思ヒマス、是ハ一ツ大臣ノ御考慮ヲ煩ハシテ置キマス

ナラナイ、米ノ増産ト云フ問題ニ付テモ、肥料ノ問題ダケヤナイ、即チ今ノ如ク耕地ガ全ク自分ノ住居カラ飛ンデ居ル、耕地ガアチラ、コチラニ飛ンデ居ル、此ノ飛ンデ居ルモノハ皆交換セシメテ、一箇所ニ纏メテ、サウシテ自分ノ家ノ近くニ持ツテ來ル、交換ヲナサシムレバ、是デドノ位農家ノ勞力ガ省ケ、又生産ガ殖エルカ分ラナイ、ソレヲ科學的ニ研究シ、統計ヲ取ツテ貰フ、或ハ實行ノ方法ニ付テ考ヘテ貰フト云フヤウナコトガ必要デアアル、東京ノ此ノ電車ノ込ンデ居ル状態ナンカモ、今度ノ時局産業ニ通勤スル者ノ住宅ヲ、若シ其ノ工場附近ニ従業員等ノ交換ヲ行ハシメルコトガ、是モ科學的ノ統計ニ依ツテ研究セラレテヤルナラバ、交換可能デアアルシ、混雜ヲ避ケルコトモ出來マセウ、斯様ナ小サナコトカラ、大キナ生産擴充ノ問題ニ至リマスルマデ、科學ノ學者専門家ヲ總動員ニ協力セシムルト云フコトヲ願ヒタイ、勿論偉イ人達デアリマスカラ、權力ヲ以テナサシムル、單リ學者ガ偉イノデハナイ、官吏ガ偉イノデハナイ、學問ガナクテモ長イ經驗者ハ皆偉イノデアリマスカラ、此ノ人々ノ動員ヲスルヤウニシテ、茲ニ初メテ指導者原理ト云フモノノ過チノナイモノガ打立テラレルノデハナイカト思ヒマス、是ハ一ツ大臣ノ御考慮ヲ煩ハシテ置キマス



シマフ、株主ノ配當ハ出來得ル限リノ少額ニ止メル、是ガ公益優先デアラウト思フ、納税ニ依ツテ其ノ利潤ノ大部分ヲ政府ガ取ツテシマフバカリデナシニ、寄附ニ於テモ亦取ツテシマフ、私ハ「ドイツ」ノ狀況ヲ見テ、アノ「アルバイツ・デインスト」ノ素敵ナ經營ナドヲ見マシテモ、是等ガ皆寄附ノ形式ニ依ル負擔デ出來テ居ル、一體事業家ハドノ位社會ノ爲ニ寄附スルデアラウカト云フコトニナルト、殆ド配當金ト同ジ程度ノ寄附ヲシテ居ル、國家ニ納メル税ニ至ツテハ、配當金ノ五倍ニモ當ツテ居ル、又其ノ外ニ減價償却ノ點ニ至リマシテハ、非常ナ高率デ償却ヲシテ居ル、其ノ半面ニ驚クベキコトニハ、所謂第二次四箇年計畫ナドノ事業擴張計畫ナカハ日本トハ全ク正反對デアリマス、日本ノ法律ニ依リマス、政府ガ指定シタ者ニハ總動員法ノ命令ニ依ツテ金ヲ貸セト云フコトニナツテ、金ヲ貸サシメテ、金ヲ借りテ經營ヲシテ居ル、サウシテ生産擴充ニ必要ナル資金ヲ得テ居ル、「ドイツ」ノ擴張計畫ヲ見マス、社内留保ノ利益ガ三〇%以上アルノデナケレバ、生産擴充ノ仕事ハ出來ナイ、自己資本ヲ三〇%出シテ、株主ガ五〇%何%カ出シ、政府ガ一二%カノ金ヲ出シテ、其ノ形式ニ依ツテ生産擴充ヲヤツテ行クト云フノデスカラ、三〇%以上ノ減價償却ニ依ル資金ヲ持つテ居ル者デナケレバ生産擴充ハ出來ナイ、斯ウシテ生産擴充ヲヤツテ行ツタ結果ハドウナルカト云フト、其ノ中ノ純粹株主ニ配當スベキ金ハ僅カニ其ノ中ノ五〇%デス、今マデ六千万圓ノ利益ノアツタ會社ハ、其ノ中ノ一千万圓ヲ株主ニ配當シテ、後ノ五千万圓ハ國家ト社會ニ提供シテ居ルノデス、

是ガ又三〇%ノ留保利益ヲ以テ政府ノ指定スル所ノ生産擴充ヲヤルノデスカラ、其ノ中ノ又五〇%ダケガ株主デアリマスカラ、今度上ル所ノ利益ノ六分ノ一カラ十二分ノ一ノ配當デ株主ハ濟ムコトニナル、其次ノ生産擴充ノ配當ハ二十四分ノ一ノ配當ヲ株主ハ受ケルダケデ、後ノ二十四分ノ二十三ハ國家社會ニ提供シ、或ハ又生産擴充ノ準備金トシテ社内ニ留保スルト云フ形式ヲ執ラシメテ、全ク會社ノ利益其ノモノヲ公益優先タラシメテ居ル、ソレヲ日本デハ逆ニ儲ケサセナイ、儲ケサセナイ言フト語弊ガアリマスケレドモ、政府ガ命令ヲ以テ、借入金ヲセシメテ事業ヲサシテ行クト云フヤウナコトデハ、少シモ是ハ公益優先ニハナリマセヌ

〔委員長著席、伊藤(五)委員長代理退席〕

其ノ上リマスル利益ハ全部金利ト株主配當ニ廻ルダケデアツテ、國家ノ利益ニナラナイ、況ヤ生産擴充ニ依ル事業ハ全部免稅ヲシテ行クノデスカラ、一體國家ニ對スル奉仕、公益優先ハ何處ニアルカ、斯ウ云フ事業家ノ公益優先ト云フヤウナコトハ、ドウ云フ形式デアツテ行ツタ宜イカト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、公益優先ノ出來ルヤウナ經營ヲサシタラドウカ、今日マデノ利益制限ノ政府ノヤリ方ハ、軍部ノ計算ヲ以テ致シマシテモ、先ヅ一割五分位シカリ潤率ガナイ、其ノ中カラ償却ダトカ税金ダトカ皆出シテシマツテ、株主ノ配當ハ幾ラニナルカ分ラナイ、況ヤ民間ノ利益ノ査定ニ當リマシテハ、政府ノ方針ハ六分デス、利益金ヲ六分ニ見テ物價公定ヲシテ行クト云フヤウナコトデアリマスカラ、御話

ニナリマセヌ、「ドイツ」ノ經營ノ如キハ、實ニ二年間一二五%ノ減價償却ヲシタ會社モアリ、平均シテ三割三分ノ減價償却、三年乃至五年デ原價償却ガ出來テシマフト云フヤウナ利益ヲ與ヘテ居ル、ダカラ利益ハ幾ラ得テモ宜イノダト云フコトガ「ドイツ」ノ經濟狀態デアル、其ノ得タル利益ノ分配ガ國家ト社會トニ分配出來ルヤウニスルコトガ公益優先デアル、日本デハ利潤ヲ追求スル、利潤ヲ得ルコト其ノ事ガ公益優先ニ反スルノダト云フ建前ヲ政府ガ執ラレテ居ル、利潤ヲ得ルコト其ノ事ガ公益優先ノ精神デアル、私ハ斯ウデナケレバナラスト思ヒマスケレドモ、政府ハ利潤經營其ノモノヲ否定スルヤウデアリマスガ、總裁ノ御考ヘヲ承リタイ

○星野國務大臣 色々有益ナル御話ヲ承リマシテ感謝ヲシテ居リマスガ、政府ノ現在ノ考ヘト致シマシテモ、決シテ利潤ヲ否定スル或ハ歡迎シナイト云フコトハ一ツモナイノデゴザイマシテ、從來ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、例ヘバ物價其ノ他ノ關係モゴザイマシテ、色々ノ制限ヲセザルヲ得ナカツタノデアリマスガ、段々トソレ等ノ關係ガ安定スルニ從ヒマシテ、成ベクノビノ活動ノ出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、只今「ドイツ」ノ制度ノ中デヤハリ償却ノ點ガ非常ニ大キイ點デゴザイマシテ、其ノ償却ヲ相當認メルト云フノガ、或ル年限經チマスレバ、之ニ基イテ相當ノ利潤モ上ツテ來ルト云フコトニナルノダト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、現在政府ト致シマシテモ、償却ノ規定ニ付キマ

シテハ大イニ考慮致シマシテ、償却ノ率ヲモウ少シ高メルト云フコトニ付テ、現在色研究中デゴザイマス、殊ニ新シイ事業デアリマスルトカ、或ハ非常ニ變遷ノ多イ事業ト云フモノニ付テハ、償却率ヲ高メルト云フコトハ是非考ヘテ行カクチャナラヌト思ヒマス、勿論今日ノヤウナ時局ニ、殊ニ政府ニ於テ外國ノ物ヲ買フ、軍需品ヲ買フト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、之ニドウ云フ利益ヲ認メルカト云フコトハ、多ク幾ラデ買カフト云フコトニ關聯シテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ安ク買ツテ行クト云フコトハ勿論宜クアリマセヌガ、此ノ場合ニ無暗ニ高ク買フト云フコトモ考ヘナケレバナラスコトダト思ヒマス、要ハ今日ノ經濟新體制ノ心持ハ、一定ノ適當ナ所ヲ定メマシテ、アトハ本人ノ勉強ニ依ツテ利潤ヲ得ルト云フコトニ付テハ、其ノ人ノ創意ニ依リ、工夫ニ依リ、或ハ勤勉ニ依ツテ利潤ヲ得テ行クト云フコトニ付テハ、決シテ政府トシテ之ニ對シテ容喙スル積リハナイ、斯ウ云フ意思ヲ明カニシテ居ルノデゴザイマス、「ドイツ」ト日本トハ産業ニ付テ現在ノ發達ノ狀況モ異ナリマスカラ、ヤリ方ハ同ジデスガ、中々ムツカシイダラウト思ヒマス、要ハ企業者ガ本當ニ御國ノ爲ニ全力ヲ盡シテ働ケルヤウニスルコトガ眼目デアラウト思ヒマシテ、ソレ等ノコトニ付テ、我が國ノ現在ノ制度ニ尙ホ不十分ナル點ハ十分考慮ヲ加ヘマシテ、眞ニ各企業者ガ自分ノ企業ニ付テ十分働クコトガ國家ノ爲ニ盡ス所以デアルト云フコトヲ心底カラ考ヘラレルヤウナ情勢ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○深澤(豐)委員 事業家ハ事業ヲスルコトガ樂シミデアリマシテ、配當其ノモノガ目

的デナイ、事業家ハ事業慾ガアルノデスカ  
ラウト働ケルヤウニシテ貰ヒタイ、サウ  
シテ働イテ得タ利益ハ國家社會ニ十分ニ貢  
獻スルコトガ出來ルヤウニシテ貰ヒタイ、  
サウ云フ利潤ヲ認メテ貰ヒタイ、而モ利潤  
ノ分配ハ制限ヲシテ、國家社會ニ或ハ生産  
擴充ニ其ノ資金ヲ使ハレルヤウニシテ貰ヒ  
タイ、公益優先ハ斯クナケレバナラヌモノ  
ダト私ハ考ヘマスノデ、是非此ノ點ハ御考  
慮願ヒマス、私ノ問ヒマス大體ノコトハ其ノ  
程度ニシテ置キマス

唯二、三ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シテ置キタ  
イノデスガ、國家總動員法第五條ニ付テ  
御答辯ガアリマシタガ私共納得シ得ナイ  
點ガアリマス、「地方公共團體又ハ政府ノ  
指定スル者」ノ行フ總動員業務ニ付テ、政  
府ノ指定ト云フノガ今マデノ質問應答ノ  
結果デハ諒解致シマセス、總裁ノ御言葉  
ニ依ルト、是ハ隣組トカ町内會ダト云フ  
話デアリマス、若シ果シテサウデアリマ  
スルナラバ、其ノ前ノ方ニ入ルノデアリマ  
シテ「政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要ア  
ルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及  
帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ……協力セシ  
ムル」トアルノデスカラ、此ノ方面ニ隣組ト  
カ或ハ町内會ハ入ラナケレバナライ、特ニ  
茲ニ「國又ハ地方公共團體又ハ政府ノ指定  
スル者」ト云フノハ、國又ハ地方公共團體  
ト肩ヲ並ベキモノデナケレバナライ、  
此處ニ特ニ國又ハ地方公共團體ト肩ヲ並  
ベキ「政府ノ指定スル者」ト云フ字句ヲ入レ  
ラレタノハ、ザツクバラニ言ウタラ大政  
翼賛會ヲ豫想シテ之ヲ御入レニナツタノデ  
ハアリマセスカ、ソレヲ伺ヒマス

○星野國務大臣 丁度其ノ點ニ付テ、此ノ

前ノ質問應答ノ時私ノ言ウタコトガ、ハツ  
キリシナカウタト後デ思ヒマシテ、機會ガ  
アツタラ直サウト考ヘテ居リマシタガ、今  
丁度好イ機會デアリマスカラ、此ノ機會ニ  
直サシテ戴キマス、茲ニ申シマス「政府ノ  
指定スル者」ト云フノハ、言フマデモナク總  
動員業務ヲ行ツテ居ル者デアリマス、即チ  
本法第三條ノ總動員業務ヲ行ツテ居ル者ノ  
中デ、特ニ政府ノ指定スル者、ソレ等ノ者  
ニ他ノ者ヲシテ總動員業務ニ協力セシメル  
ト云フコトナラデゴザイマス

○深澤(豐)委員 益、分リマセス

○星野國務大臣 詰リ「政府ノ指定スル者」ト  
云フノハ、第三條ニ依リ總動員業務ヲ行  
フ……例ヘバ總動員物資ノ生産ト云フト茲ニ  
軍需工場モアル、此ノ軍需工場ニ對シテ手傳  
ト言フコトガ出來ル、斯ウ云フ意味ナンデ  
ス、今御話ノ大政翼賛會ト云フヤウナコト  
ハ殆ド考ヘテ居リマセス、殆ドト云ツテ、  
毫モ考ヘテ居ナイ規定デス

○深澤(豐)委員 サウナリマス、國又ハ  
地方公共團體又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシ  
テ總動員業務ニ協力セシムト云フコトデア  
リマス

○星野國務大臣 サウデアリマセス、政  
府ノ指定スル者ノ行フ總動員業務——「政  
府ノ指定スル者」ト云フノハ、例ヘバ「エー  
ナラ「エー」ト云フ軍需工場ガアリマスネ、ス  
ルト其ノ「エー」ト云フ軍需工場ヲ政府ガ指  
定スル、サウスルト政府ノ指定スル其ノ軍  
需工場ニ對シテ「帝國臣民及帝國法人其ノ  
他ノ團體」ガ協力スル、斯ウ云フ譯デス

○山崎委員長 モウ宜シウゴザイマス

○深澤(豐)委員 ソレカラ新聞通信ノコト  
デアリマスガ、此ノ新聞社通信社ノ合同ガ

近頃盛シニ行ハレマスガ、政府ハ本條ノ規  
定ニ依リマシテ此ノ新聞社ヲモツト少クス  
ル、合同セシムル御考ヘガアルノカドウカ、  
或ハ通信社ハ東京ノ通信ハ五社トカ六社ヲ  
合同シテ——存續シ得ルモノモ相當十社ト  
カ、八社トカアルヤウデアリマスガ、ソレ  
等ヲ除イテ存續スルモノデアリマセウカ、  
東京ノ新聞モ亦合同シナケレバナライモ  
ノデアリマセウカ、又之ヲ具體的ニ言ヘバ  
富山縣ノヤウニ一縣一社ニナツタ、長野縣  
ノヤウニ二十數社アツタノガ五社ニナツタ  
ト云フノハ、既ニ合同シ統制セラレテ居ル  
ノデアリマスガ、是ハヤハリ一縣一社ニシ  
ナケレバナラスモノデアルカ、斯ウ云フヤ  
ウナ新聞通信ニ對スル合同ハ、政府ハドウ  
云フヤウナ御方針ヲ執ラレルカ、御伺ヒシ  
タイト思ヒマス

○星野國務大臣 私カラ申上ゲルヨリモ情

報局ノ方カラ御答ヘシタ方ガ宜デアラウ  
ト思ヒマスカラ御待チテ願ヒマシテ情報局  
カラ答ヘルコトニ致シマス

○山崎委員長 ソレデハ呼ビマスカラドウ  
ゾ御待チテ願ヒマス——上田君ハ農林次官  
ニゴザイマス

○上田委員 ソレデハ農林省ニ簡單ニ伺ヒ  
マス、結局失業、轉業對策ニモ關聯スルノ  
デアリマスガ、ソレハ企畫院、商工省、農  
林省各省共通ニナリマスガ、特ニ農林省ニ  
御聽キシタイコトハ、今度ノ經濟新體制ニ  
依ツテ大體團體、組合ト云フモノガ整理統  
合サレレコトニナル、但シ農林水産業ニ關  
スルモノニ付テハ別途ニ考慮サレルト云フ  
コトデ、ハツキリ決ツテ居ライノデアアリ  
マスケレドモ、併シナガラ大體ノ趣旨ハヤ  
ハリ此ノ時局ノ必要ニ應ジテ整理統合サレ

ルヤウニナツテ行クデアラウト思フノデア  
リマス、此ノ經濟新體制ニ伴ウテ商工省、  
農林省、企畫院共ニ御考慮ヲ願フベキ問題  
ハ、生産ト配給ト消費部門ニ於ケル各團體  
ノ職域ト云フモノヲ、ドウシテモヤハリ是  
ハ練習セシメテ適當ニ整理統合セシムベキ  
デアラウト思フ、然ルニ此ノ頃聞ク所ニ依  
リマスルト、特ニ農林省關係ノ生産部門ニ  
屬スル人達ガ配給ノ部門ニ進出ヲ致シマシ  
テ、所謂茲數年間机上ノ一空論ノヤウニ吾  
吾ハ思ツテ居ルガ、生産ヨリ消費ト云フヤ  
ウナ一ツノ考ヘ方カモ知レマセスガ、サウ  
云フヤウニシテ當然配給ノ部門ハ配給ノ業  
ニ居ル者ガヤラナケレバ到底全ク其ノ職分  
ハ盡スコトガ出來ヌノデス、又本當ノ配給  
ガ出來ナイニモ拘ラズ生産部門ノ人ガドシ  
ドシ配給ノ部門ニマデ進出シテ來ルト云フ  
ヤウナ傾向ガアルコトハ、私ハ非常ニ遺憾  
ト思フノデアリマスガ、サウ云フ事實デア  
體的ニ擧ゲテモ宜イガ、サウ云フ事實デア  
リト農林當局ハ思ツテ居ラレマスガ、アリ  
トスレバ農林當局ハドウ云フヤウニ處置サ  
レル御考ヘデアアルカト云フコトヲ御聽キシ  
タイノデアリマス

○井野政府委員 生産部門ノ團體ガ配給ノ  
部門ニ入ツテ來ル處レガ多分ニアル、之ニ  
對シテ農林省ハドウ考ヘテ居ルカト云フ御  
質問デアリマスガ、御承知ノヤウニ昨年ノ  
七月ニ農林商工ノ事務調整ト云フ、即チ農  
林省、商工省ノ間ノ色々ノ摩擦ヲ防ギマス  
閣議決定ガアツタノデアリマス、其ノ閣議  
決定ニ依リマスト集荷部門ハ生産團體ガヤ  
ル、配給部門ハ商業團體ガヤル、斯ウ云フ  
閣議決定ニナツテ居ルノデアリマシテ、其  
ノ方針ニ從ツテ今農林省デハ大體サウ云フ

傾向ニ色々ノ問題ヲ進メテ居リマス、先キ御話ノ農林團體ノ統合ニ依ツテ失業者ガ出ルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ昨日農林大臣カラ申上ゲマシタヤウニ、農林團體ノ統合ト云フコトハ一時之ヲ見合セタノデアリマス、隨テ今直チニサウ云フ方面カラ失業者ハ餘リ出テ來ナイト云フ風ニ御諒承願ヒタイノデアリマス

○上田委員 大體次官ノ御答辯ハサウアルベキコトデアリ、サウ云フ風ニアルト思ツテ居ルノデアリマスガ、所ガ實際上ニ於テハヤハリ生産部門ノ者ガ其ノ範圍ヲ逸脱シテ、配給ノ範圍マデドシ／＼ト出テ來ルト云フヤウナコトガ現ニ私共耳ニシ、又見テ居ルノデアリマスガ、餘リ時間ガナイカラ詳細ナコトハ申上ゲマセヌガ、例ヘバ中央市場ノ如キモノ、私ハ大阪市ニ選舉區ヲ持ツテ居リマスガ、六大都市ガ中央市場ヲ設ケルト云フ時ニハ非常ナ面倒ナ経緯ガアツタコトハ、大體御存ジデアラト思フ、業者ガ中央市場ニ收容サレルコトヲ厭ヤガツテ居ツタ、其ノ厭ヤガツテ居ツタモノヲ無理ニヤハリ配給部門ノ統制ト云フコトヲ、寧ロ今ノ時局ニ先行シテ考ヘラレテ、ソシテ六大都市ニ中央市場ヲ設ケルコトニナツテ來テ居ルノデアリマス、其ノ中央市場ト云フモノガ段々機能ヲ發揮シヨウトシテ居リマスルト、特ニ是ハ配給、生産ノ關係バカリデナシニ、價格ノ公定ニモ關係シテ居ル、或ハ出荷ニモ關係シテ居リマスケレドモ、兎ニ角生産部門ノ人ガ此ノ中央市場ノ配給ノ部門ニマデドシ／＼ト進出シテ來タ、サウシテ前ハ一方ハ商工省、一方ハ農林省ト云フコトダカラ、各省ノ對立ト云フコトニナツテ居ツタケレドモ、今次官ノ仰シヤル通

リ農林省ニ一緒ニナツタ、農林省ニ一緒ニナツタニ拘ラズ、一方ノ生産部門ノ方ハ所謂農林省ノ嫡子、モウ前カラノ農林省ノ子供、一方ノ中央市場、配給部門ノ方ハ商工省ノ子供デアツタガ、今度農林省ニ貫ヒ子サレテシマツタヤウナ形デ、最近職制ガ變ツタ爲メデアルカドウカ知ラナイガ、其ノ間ニ非常ナ相剋摩擦ヲ生ジテ居ルト云フ事實ガ今現ニアル、斯ウ云フコトニ對シテハ農林當局トシテハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスガ、御聽キシタイノデアリマス

○井野政府委員 只今上田委員ノ御話ニナリマシタノハ、最近全漁聯ガ東京市ニ魚市場ヲ作りマシテ、其ノ進出ガ既設ノ中央卸賣市場ニ影響ヲ與ヘテ居ルト云フ問題ダラウト思ヒマス、此ノ問題ハ中々古い沿革ノアル問題デアリマシテ、從來中央卸賣市場ニ對シテ一部制ニ部制ト云フ議論ガアリマシタ、ソレガ今日斯ウ云フ形デ現ハレテ來テ居ルノデアリマスガ、中央卸賣市場自體ガ十分其ノ機能ヲ發揮サヘシテ下サイマスレバ、サウ云フ問題モ實ハ起ラナイノデアリマス、所ガ手數料其ノ他色々ノ問題デ生産者ト致シマシテハ非常ニ不満足ナ點ガアリマスノデ、サウ云フヤウナ問題モ起ツテ來タト思フノデアリマス、併シ是ハ今御示シノ通り中央卸賣市場モ今度農林省ノ子供ニナリ、又全漁聯其ノ他生産者ノ團體モ農林省ノ子供デアリマスガ、是ハ繼子デアルトカ、本當ノ子デアルトカ云フ區別ハ決シテ致シマセヌ、モウ自分ノ子供ニナリマシタナラバ同ジ氣持デ無論可愛ガツテ行ク積リデアリマスガ、其ノ間ニドウ云フ調整ヲ保ツテ行ツタ宜イカト云フコトハ、マダ

實ハ貰ツテ來タバカリノ子供デ、直グ之ヲドウシタラ宜イカト云フ具體案ハ立ツテ居リマセヌ、隨テ私共トシテハ能ク事情ヲ調査シテ、既設ノモノヲ無クシテ、新シイモノヲ設ケルト云フ氣持ハ持ツテ居リマセヌカラ、其ノ間ノ調和ハ十分ニ一ツ保タセテ、オ互ヒニ其ノ機能ヲ十分ニ發揮スルヤウニサセタイト思ツテ居リマス、要ハ結局生産者、消費者ノ爲ニドウ云フ機構ガ一番宜イカト云フコトニ歸スルノデアリマスカラ、ソレ等ノ點ハ能ク一ツ是カラ調査致シマシテ、萬遺憾ナキヲ期シタイト思ヒマス

ト云フモノハ、中央市場ト云フモノガ開設サレテ居ル以上ハ、モウ法規上イケナイノデアリマス、イケナイガ之ヲ取締ルベキ所ノ罰則ガナイノデス、實ニ是ハ不備ナ法律デス、詰リ場外取引ヲスルコトハイケナイノデス、イケナイケレドモ、ソレヲシテモ處罰ヲスベキ所ノ法規ガ完備シテ居ラスガ爲ニ、ソレデ盛シニ場外取引ヲヤル、場外取引ヲヤルカラ中央市場ト云フモノガ機能ヲ發揮出來ナイト云フ事情ニナツテ居ツテ、商工省デモ永キニ互ツテ未ダニ解決サレナイ、今度農林省所管ニ移ツタ此ノ際、農林省トシテハ斷乎トシテ此ノ問題ノ解決ヲナサラスト、中央市場ノ問題ハ中々解決ガ難カシイト思フノデアリマスガ、今日既ニ其ノ御成案ガアレバソレヲ承リタイ、若シ只今ナケレバ速カニ其ノ成案ヲ御立デニナランコトヲ御願ヒシタイノデアリマス

○上田委員 大體只今ノ次官ノ御答辯デ議事ノ御進行ヲ願ツテ結構デアリマスガ、何分中央市場ノ問題ハ職制ガ變ツタ實際デアリマスカラ、十分此ノ點ハ御調ベヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、併シ問題ハ今現ニ起ツテ居ルノデス、サウ悠長ニ閑々トシテ見逃ガスコトノ出來ナイコトニナツテ居ルト私ハ思フノデス、デアリマスカラ特ニ是ハ御注意ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、帝都ノ下ニ於テ此ノ問題ヲ御調査位デ過シテ居ツテハ由々シキコトニナルト云フコトヲ豫メ御注意シテ置キタイト思ヒマス、ソコデ更ニ御注意ヲシテ置イテ御意見ヲ承リタイコトハ、是ハ商工省ニ中央市場ガアツタ頃カラノ問題デアリマスガ、場外取引ノ問題デアアル、今次官ノ御答ノ中ニ、中央市場ガ機能ヲ發揮出來ナイト云フ御言葉ガアリマシタケレドモ、成程中央市場ガ機能ヲ發揮スルニ十分デナイ所モアリマセウ、ケレドモソレハ中央市場ノ業者、市場ノ開設者デアアル各都市バカリノ責任デハアリマセヌ、之ヲ監督シテ居ル商工省ニモ大キナ責任ガアルノミナラズ、大體此ノ場外取引

○井野政府委員 只今當面起ツテ居ル問題ニ付キマシテハ、數日來兩當局者ヲ呼びマシテ、色々其ノ問題ノ解決ニ農林省トシテハ當ツテ居リマス、併シ是ハ應急ノ解決デアリマシテ、根本ノ解決ニハナラスト思ヒマス、只今私が申上ゲマシタノハ、斯ウ云ツタヤウナ状態ニ置イテ置クト、何時マデモサウ云ツタ問題ハ片付キマセヌカラ、モツト水産ノ關係ハ、生産部門等ヲ根本的ニ、モウ少シ考ヘネバナラヌ問題ガ澤山アルト思ヒマス、又配給部門ニ於テモ此ノ儘ニシテ置イテハ市民ナリ其ノ他ニ生鮮食料品ガ十分ニ配給ガ出來ナイト云フ大キナ缺陷ガアルコトヲ認メテ居リマス、隨テ私モ多少ノ腹案ヲ持ツテ居リマスカラ、ソレニ基イテ一ツ此ノ解決ニ當ツテ見タイト云フ決心ヲ自分ハ持ツテ居リマス

○上田委員 大體只今ノ次官ノ御答辯デ議事ノ御進行ヲ願ツテ結構デアリマスガ、何分中央市場ノ問題ハ職制ガ變ツタ實際デアリマスカラ、十分此ノ點ハ御調ベヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、併シ問題ハ今現ニ起ツテ居ルノデス、サウ悠長ニ閑々トシテ見逃ガスコトノ出來ナイコトニナツテ居ルト私ハ思フノデス、デアリマスカラ特ニ是ハ御注意ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、帝都ノ下ニ於テ此ノ問題ヲ御調査位デ過シテ居ツテハ由々シキコトニナルト云フコトヲ豫メ御注意シテ置キタイト思ヒマス、ソコデ更ニ御注意ヲシテ置イテ御意見ヲ承リタイコトハ、是ハ商工省ニ中央市場ガアツタ頃カラノ問題デアリマスガ、場外取引ノ問題デアアル、今次官ノ御答ノ中ニ、中央市場ガ機能ヲ發揮出來ナイト云フ御言葉ガアリマシタケレドモ、成程中央市場ガ機能ヲ發揮スルニ十分デナイ所モアリマセウ、ケレドモソレハ中央市場ノ業者、市場ノ開設者デアアル各都市バカリノ責任デハアリマセヌ、之ヲ監督シテ居ル商工省ニモ大キナ責任ガアルノミナラズ、大體此ノ場外取引

○井野政府委員 只今當面起ツテ居ル問題ニ付キマシテハ、數日來兩當局者ヲ呼びマシテ、色々其ノ問題ノ解決ニ農林省トシテハ當ツテ居リマス、併シ是ハ應急ノ解決デアリマシテ、根本ノ解決ニハナラスト思ヒマス、只今私が申上ゲマシタノハ、斯ウ云ツタヤウナ状態ニ置イテ置クト、何時マデモサウ云ツタ問題ハ片付キマセヌカラ、モツト水産ノ關係ハ、生産部門等ヲ根本的ニ、モウ少シ考ヘネバナラヌ問題ガ澤山アルト思ヒマス、又配給部門ニ於テモ此ノ儘ニシテ置イテハ市民ナリ其ノ他ニ生鮮食料品ガ十分ニ配給ガ出來ナイト云フ大キナ缺陷ガアルコトヲ認メテ居リマス、隨テ私モ多少ノ腹案ヲ持ツテ居リマスカラ、ソレニ基イテ一ツ此ノ解決ニ當ツテ見タイト云フ決心ヲ自分ハ持ツテ居リマス

○井野政府委員 只今當面起ツテ居ル問題ニ付キマシテハ、數日來兩當局者ヲ呼びマシテ、色々其ノ問題ノ解決ニ農林省トシテハ當ツテ居リマス、併シ是ハ應急ノ解決デアリマシテ、根本ノ解決ニハナラスト思ヒマス、只今私が申上ゲマシタノハ、斯ウ云ツタヤウナ状態ニ置イテ置クト、何時マデモサウ云ツタ問題ハ片付キマセヌカラ、モツト水産ノ關係ハ、生産部門等ヲ根本的ニ、モウ少シ考ヘネバナラヌ問題ガ澤山アルト思ヒマス、又配給部門ニ於テモ此ノ儘ニシテ置イテハ市民ナリ其ノ他ニ生鮮食料品ガ十分ニ配給ガ出來ナイト云フ大キナ缺陷ガアルコトヲ認メテ居リマス、隨テ私モ多少ノ腹案ヲ持ツテ居リマスカラ、ソレニ基イテ一ツ此ノ解決ニ當ツテ見タイト云フ決心ヲ自分ハ持ツテ居リマス

○上田委員 要スルニ私ガ政府ニ希望シテ置キタイコトハ、何トシテモ生産ト配給ト消費ノ部門ハ、各、職域ガアルノデアリマスカラ、是ハ先程次官ノ御答ニモアリマシタ通りニ、何處マデモ職分ト云フモノヲ明カニシテ、サウシテ其ノ間ニ紛淆ヲ來サナイヤウニサレマシテ、同時ニ中央市場ノ問題ニ付テハ、丁度職制ガ變ツテ農林省ニ移管サレタノデアリマスカラ、其ノ職域竝ニ權限、機構ト云フヤウナモノニ付テ、之ヲ根本的ニ確立サレルコトヲ是非御願ヒシテ置キタイノデアリマス

○伊藤政府委員 先程ノ深澤委員ノ御質問ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマス、實ハソレニ類似致シマシタ御質問ガ、豫算委員會ノ分科會デアリマシタノデ、一應御答ヘ致シテ置キマシタガ、モウ一應私カラ申上ゲマス、御話ノ第一點ニ關シマシテハ從來ノ言論機關ノ統制ハ、昨年ノ十二月半頃マデ內務省ノ方ガ主管デゴザイマシテ、勿論內務省モ政府ノ機關ノ一ツデアリマスカラ、私共モ其ノヤツテ居ルコトニ對シテハ全然同意ヲ致シテ居タノデアリマス、ソレカラ以後私ノ方デ引受ケマシタノデ、今後ドウ云フ方針デヤツテ行カト云フコトニ對シマシテハ、私共ノ方デモ目下慎重ニ研究中デアリマスガ、其ノ方針ニ關シマシテ大體ノ事ヲ申上ゲマス、實ハ言論機關ノ統制ト申シマシテモ、今マデ內務省ガオヤリニナツテ居タヤウニ、私共モ理解ニ基イテ協議ヲシテヤルト云フ方法ヲ第一ニ執リタイト思ツテ居リマス、ソレカラ第二點ニハドウ云フ方法デヤルカト御尋ネニナリマスレバ私ト致シマシテハ現在ノ非常時局下ニ於キマシテハ、言論機關モソレニ相應シイヤウ

ナ態勢ヲ執ツテ貰ヒタイ、其ノ意味デ若シ出來マスナラバ、必要ガアレバ御協議ヲシタイト思ツテ居リマス、然ラバ戰時下ニ相應シイヤウナ言論機關ノ態勢ヲドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト仰シヤイマス、是ハ中央又地方色々事情ガ異ナリマスノデ、果シテ新聞紙ノ數ガドレダケ必要デアルカ、或ハ又其ノ編輯ノ方針トカ云フモノハ、自ラ中央地方ニ於キマシテ各地ニ於テ事情ヲ異ニ致シテ居ルト思フノデアリマス、デアリマスカラ各地ヲ一樣ニ統制スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、將來ハ大體サウ云フ方針デ、若シ必要ガアレバ御相談ヲシテヤツテ行キタイ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ第三點ノ情報局カラ一縣一市ニシカ情報ヲ送ラナイカト云フ御質問デアリマシタガ、サウ云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、又現在モ情報私ノ方カラ出シテ居リマスノハ直接新聞社アトリニ出シテ居ルノハ非常ニ少イノデアリマス、若シサウ云フモノヲ送ツテ居ルニ致シマシテモ、一縣一社ニ限ツテ送ツテ居ルヤウナコトハ致シテ居リマセヌ、要スルニ現在ハ戰時下ノ體制ニ伴フヤウニ言論機關モアツテ貰ヒタイ、其ノ意味デ若シ必要ガアレマスレバ手段ヲ執リマス、ソレモ方法ハ懇談ヲ致シマシテ、兩方デ協議シテ理解セラレル方法デヤツテ戴キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、マダ確タル案ハ立テテ居リマセヌ

○深澤(豐)委員 言換ヘマスト特別法ヲ出シテ整理ヲスル場合ハアルカモ知レナイケレドモ、總動員法ニ依ツテハ此ノ合同ナドハナサラナイ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○伊藤政府委員 方法ハ果シテ特別法ヲ出シマスカ、或ハ總動員法ヲ出シマスカ、マダ研究致シテ居リマセヌ、私共ノ方デ現在必ズ特別法ヲ出ストカ、總動員法ニ據ラナイトカ云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、其ノ場合ニ適當ナ方法ヲ執リタイト考ヘテ居リマス

○山崎委員長 板谷君

○板谷委員 簡單ニ農林次官ニ御尋ネシタインデアリマスガ、今回ノ國家總動員法ガ成立致シマスナラバ、統制ガ益、強化スル、斯ウ思フノデアリマス、ソコデ從來農林省ガ從憑シテ作ラレマシタ所ノ統制會社ノ成績ニ付テ御調査ニナツテ居ルカ、又指導監督ハ十分ニ行届イテ居マスカ、實ハ其ノ點ニ付テ私ハ從來ノ國策會社、統制會社ガ大體ニ於テ失敗デアルト云フ其ノ一例ト致シマシテ、北海道ニ於ケル農產物、海產物ノ共販會社ガ出來テ居ルノデアリマスガ、是ハ殆ド資本金ノ大部分ヲ損シテ居ル、是ハ大體社長ニ役人ノ古手ノ人ガ成ツタリ、或ハ又專務ニ軍人上リノ馴レヌ者ガ成ツテ、所謂素人商賣デアル、ノミナラズ從來月給百五十圓取ツタ者ニイキナリ專務ニシテ一万二千圓ノ高給ヲ出シテ居ルト云フヤウナ關係カラ、統制會社ト云フモノハ殆ド現在ノ狀態ハ失敗ニ歸シテ居ルノデアリマス、然ルニ一面從來農產、海產物ノ取扱ヲシテ居ツタ所ノ從業者ガ殆ド職ヲ失ツテ、前途ニ對スル不安ヲ懷キ、隨テ政府ガ一億一心、官民協力シロト云ツテモ、蔭デハ怨シテ居ルヤウナ情勢デアル、デアリマスカラ將來農林省ガ統制ト云フコトニ付キマシテハ、餘程最善ノ御注意ヲ拂フ必要ガアル、又從來出來タ所ノ統制會社ガ斯クノ

如キ始末デアルトシタナラバ、之ヲ解散シテ從來親子代々多年ノ間營業ヲヤツテ來タ者ニ配給、生産消費ノ圓滑ヲ圖ルヤウニ、機構ノヤリ變ヘヲナサル御意思ガアルカドウカ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒマス、又私ガ今申上ゲタ所ノ統制會社ノ失敗デアルト云フコトヲ御認メニナツテ居ルカ、御調査ニナツテ居ルカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○井野政府委員 農林所管ニ於キマスル統制會社ノ實績ニ付キマシテハ、私共ハ能ク調べテ居リマス、其ノ中デ非常ニ旨ク行ツテ居ルモノモゴザイマスレバ、餘リ旨ク行ツテ居ナイモノモアリマス、是ハ認メザルヲ得ナイト思ヒマス、唯今御話ノヤウニ統制會社ガ出來タカラ役人ノ古手ヲ入レテ、ソレデ高給ヲ與ヘテ居ルカラ旨ク行カナイノダ、斯ウ云フ風ニ御認定下サルト、ソレハ少シ慘酷デヤナイカト思ヒマス、ト申シマスノハ、統制會社ト云フモノハ大體物ガ十分ナ時ハ必要ガナイノデアリマス、物ガナイ時ニ公平ナル集荷分配ヲ致シマス爲ニ、已ムヲ得ズシテ出來テ來ル機關デアリマスカラ、隨テ私共モ出來ルダケ業者ヲ以テ當業者ニ充テタイト考ヘテ居リマスケレドモ、一業者ニサセルト、却テ不公平ニナルト云フ所カラ、全然業界ニ關係ノ無イ——或ハマア役人ノ古イ人モアリマスガ、サウ云フ人ヲ持ツテ參リマシテ、公平ナル配給統制ヲ致スト云フ建前カラ、現在ニ、三サウ云ツタヤウナ會社モゴザイマス、又俸給等モ他ノ機關ニ比ベテ決シテ高イ俸給ヲ出シテ居ルトハ思ヒマセヌガ、有能ナル人ヲ得マス爲ニ、適當ナル俸給ハ之ヲ出シテ居リマス、併シ其ノ爲ニ會社ガ赤字ニナルトカ云フヤウナコトハナイノデアリマシテ、俸給

ハ豫算ノ建前カラ十分農林省モ檢討致シマシテ、適當ナルモノト認メタ金額ヲ出サシテ居ルノデアリマス、唯其ノ業績ガ十分ニ旨ク行カナイト云フコトニ付テハ、例ヘバ手持シテ居ツタ物ガ公定價格ノ結果値下リニナツタ、其ノ爲ニ赤字ニナツタト云フヤウナ事例ハ知ツテ居リマス、其ノ爲ニ會社ガ多少苦シイ經營ヲ致シテ居リマスガ、是等ハ農林省ノ指導ニ依リマシテ、適當ナル處分ヲ得マスレバ、又其ノ赤字ハ黒字ニ變ルコトト考ヘテ居リマス、現在ニ於テハ無論善ク指導ヲシテ參リタイト思ツテ居リマスケレドモ、サウノ農林省所管ノ統制會社ガ皆赤字デ困ツテ居ルト云フコトハナイノデアリマス、併シサウ云ツタヤウナ前提ノ下ニ出來テ居リマスカラ、是ハ更ニ檢討致シマシテ、國策會社ノ中デ不適當ナモノハ私ハ整理シテ參リタイト思ツテ居リマス、サウ云フ方針ノ下ニ今吾々ハ統制會社ニ付テハ色々内容ヲ調ベテ居リマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○板谷委員 私ガ今申上ゲタノハ事實デアリマシテ、アナタガモウ一遍能ク實際ニ付テ御調査ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、現ニ私ハ先般北海道長官ニ對シテモ、斯ノ如キ統制會社ヲ作ツテ道民ノ不利ヲ招クコトハ甚ダイカサデヤナイカト云フ質問ヲシタ際ニ、自分ハ餘リ賛成ヲシナイケレドモ農林省ガヤレト云フカラ仕方ガナイ、ヤツタングト云フヤウナコトヲ言ツテ居ル、デアラカラ今轉失業ト云フコトガ重大問題トナツテ居ルノデアリマスルガ、何モ從來ノ機構ヲ根本カラ改メテ、素人ノ寄合ノ統制會社ナド作ル必要ハナイ、デアラカラ將來此ノ國家總動員法ニ依ツテ統制ガ強化サレ

ルト云フ場合ニナツタナラバ、此ノ點ハ十分御留意ニナツテ、成ルベク從來ノ機構ヲ活シテ、之ニ惡イ所ガアツタラ改善ヲ加ヘルト云フヤウナ方針ヲ以テ進ンデ戴キタイト思フノデアリマス

○山崎委員長 馬場元治君——成ベク一ツ簡單ニ御願ヒ致シマス

○馬場委員 各種ノ工業特ニ重工業ニ從事シテ居リマス我國ノ會社ト外國資本トノ間ニ契約ヲ結ビマス場合ニ其ノ技術家ガ入ツテ來ルトカ、或ハ經營者ガ入ツテ來ルト云フヤウナ場合ガ少クナイト思フノデアリマス、其ノ場合ニ外國ニ對シテ正貨ヲ拂フノデアリマスガ、其ノ總額ハ一體ノ位ニナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、此ノ額ハ明確ニ承知致シマセヌガ、相當巨額ニ及ンデ居ルノデハナイカト思ヒマス、現在産金ナドヲ大イニヤツテ出來ルダケ國內デモ多クノ金ヲ擡キ集メルコトヲヤツテ居リマスガ、其ノ反面ニハ斯ウ云ツタ方面カラ正貨ガ出デ行ク、爲替管理其ノ他ノ關係デ正貨ヲ拂ヘナイ場合ニハ株式デ拂フ、而モ時價デヤナクテ額面デ株式拂フト云フコトガ起リマス爲ニ、外國資本ト云フモノハ段々大キクナツテ來ルヤウニ思フノデアリマス、ノミナラズ日本ノ重工業ニ從事致シテ居リマス會社ナドガ外國ト契約ヲ締結致シマス場合ニハ、其ノ生産物ハ販路ヲ制限サレ、國內ダケデ販賣スル、又生産額ノ何「パーセント」ニ相當スルモノハ外國資本ニ支拂フスルト云ツタヤウナコトニナツテ、其ノ報告ヲ求メラレルト云フコトニナツテ居リマスノデ、之ヲ逆算致シマスルト、日本ノ生産力ト云フモノガ外國ニ其ノ儘筒拔ケニ知レルト云フヤウナコトガアリ

得ルト思フノデアリマス、ソコデ、此ノ外國資本トノ契約ト云フモノヲ此ノ儘デ一體放任シテ置イテ宜イモノダラウカ、政府ガシツカリ其ノ内容ヲ「コントロール」シナケレバ、其ノ爲ニハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ對シテ政府ノ對策ナリ御所見ナリヲ伺ヒタイト思ヒマス

○星野國務大臣 現在外國ノ資本ガドノ位入ツテ居ルカト云フコトノ問題ニ付キマシテハ、一寸今手許ニ數字ガゴザイマセヌカラ、何レ後刻何カノ方法ヲ以テ調べマシテ申上ゲマス、其ノ爲ニ相當金ガ出デ行クト云フコトハ、正貨ニ對シテ「マイナス」ノ「フアクター」ニナルコトハ、是ハ事實デゴザイマス、出來得ル限り國內ノ力ニ依リヤツテ行キタイト云フコトハ勿論デアリマスルガ、併シ又現在ノ日本ノ狀況ト致シマシテハ、出來得ル限り發達シテ、急速ニ諸外國ニ追付クト云フヤウナ意味ニ於キマシテハ、外國ノ特許其ノ他ヲ利用スルト云フコトモ、是ハマア已ムヲ得ナイコトデアラウト思ヒマシテ、之ヲ絶對的ニ止メルト云フコトモドウカト、斯ウ思ヒマス、要ハ、勿論出來得ル限り國內ノモノデ拂ツテ行クノデアラガ、利用スベキモノニ付テハ外國ノモノモ利用シテ行ク、斯ウ云フ風ニ行クヨリ仕方ガナイト思ヒマス、唯併シ斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ、勿論機密其ノ他ノ關係モゴザイマスルシ、出來得ル限りヤハリ政府ニ於テ之ニ對シテ通知致シテ居リマシテ、之ニ對シマシテハ直接間接相當監督ノ方法ヲ講ズルト云フコトガ必要ト思ヒマス、現在ニ於キマシテハ、機密事項ニ關シマシテハソレノ法規ヲ以テ取締ルコトニナツテ居リマスガ、一般ノ點ニ付キマシテモ、特

ニ常ニ注意ヲ怠ラナイト云フコトハ固ヨリ必要デアラウト思ツテ居リマス

○馬場委員 サウ云フコトヲ止メト云フノデモナケレバ、止メタイト云フノデモナイノデアリマス、總裁ノ言ハレル通り、現在ノ日本ノ狀況ト致シマシテハ、外國ノ資本モ、外國ノ技術モ迎ヘ入レナケレバナラヌ實情ニ遺憾ナガラアリマスルコトハ承知ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ儘政府ノ「コントロール」ナシニヤツテ宜イノカ、是ガ私ノ心配致ス所デアリマス、機密モ漏洩致シマス、日本ノ生産力モ其ノ儘向フニ筒拔ケニナル、私ノ希望致シマスル所ハ、契約ノ内容自體ヲ政府ガ「コントロール」シナケレバ、其ノ爲ニハナイカト云フコトハ、此ノ點デアリマス、今ノ御答ヘニ依ルト、直接、間接ニ監督ヲスル、斯ウ仰シヤルノデアリマスガ、政府ガ契約ノ内容マデ知悉シ、且ツ「コントロール」スルノデナクテハ、監督スルト申シマシテモ、私ハ事實上ニ於テサウ出來ルモノデハナイト思フ、ソコデ「コントロール」スルトスレバ、一體ドウ云フ法律上ノ根據ニ基イテヤルノデアラカ、此ノ國家總動員法ヲ見デミマスルト、色々規定ガアルノデアリマスガ、多クハ國內ノ問題バカリ今マデ論議サレテ、今マデ對外的ノコトニ付テハ質問ガナカツタヤウデアリマス、隨テ政府カラモ答辯ヲ聽クコトガ出來テ居ナイノデアリマス、此ノ總動員法ニサウ云ツタ問題ハハツキリ規定スル必要ハナイノデアリマスガ、例ヘバ外國資本ト我が國ノ會社トノ間ニ契約ヲ結ブ場合ニ於テハ、政府ノ認可ヲ要スルト云フヤウナコトニシタラドシナモノデアラウカ、而シテ其ノ違反ヲ致シマシタ場合ニハ、嚴重ナル罰

則ヲ以テ之ニ臨ムト云ツタヤウナコトガア  
ツテ然ルベキモノデハナイカト私ハ思フノ  
デス、其ノ點ニ付テ伺ヒマス

○星野國務大臣 御尤モナコトダト思ヒマ  
ス、大體ニ於キマシテ只今御話ノヤウニ外  
國ト契約ヲ結ブト云フヤウナ場合ニ於キマ  
シテハ、爲替管理法ノ關係上ドウシテモ政  
府ノ許可ヲ得ナクテハナラヌコトニナツテ  
居リマス、又其ノ業態ノ必要ニ應ジマシテ、  
機密ヲ要スルト云フヤウナモノニ付キマシ  
テハ、ソレノ其ノ條項ニ從ツテ監督サレ  
テ居ルノデゴザイマス、特ニ外國ト契約ヲ  
結ブト云フコトニ付テ政府ノ許可ヲ要スト  
云フ特別ノ條項ヲ設クル必要ガアルカドウ  
カト云フコトニ付キマシテハ、或ハサウ云  
フ必要モアルカモ知レマセスガ、大體現在  
マデノ所ニ於キマシテハ、或ハ爲替管理法  
其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、餘リ露骨ニ出  
サナイデ現實ノ效果ヲ擧ゲテ行ク方ガ宜イ  
ノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○馬場委員 此ノ問題ハ突進シテ參リマス  
ト、遺憾ナガラ日本ノ技術ナリ科學ナリガ未  
ダ自立出來ナイ、少クトモ國際水準マデ達  
シテ居ナイト云フ所ニ根本ノ原因ガアルノ  
ダト思フ、如何ニモ私共殘念ニ思フノデ  
ス、今日ノ本會議デモ問題ニナリマシタシ、  
先程此ノ委員會デモ問題ニナリマシタガ、  
科學並ニ技術ノ向上ト云フコトニウント一  
ツ政府ガ力ヲ入レテ載キタイト思フノデア  
リマス、技術教育ノ徹底デアルトカ、發明  
發見ノ尊重デアルトカ、色々ナ問題ガアル  
デアリマセウガ、一番ノ弊害ヲ來シテ居ル  
問題ハ、日本全國ニアリマスル其ノ方面ニ  
從事シテ居リマスル會社ナドト云フモノガ、  
銘々ノ研究所ヲ持ツテ居リマシテ、テン

テンバラノデアリ、人モ時間モ而シテ經費  
モ重複シテ同一ノモノヲ研究スルト云フヤ  
ウナコトニナツテ居ルコトニ非常ナ「ロス」  
ガアルト私ハ思フノデアリマス、ソコデ國  
立ノ研究所ト云フヤウナコトニシテ、本式  
ニ是非ヤツテ載キタイト思フノデアリマス、  
今度ハドウヤラ本式ノヤウニ思ヒマスケレ  
ドモ、動モスレバ唯掛聲ノミニ流レテ――  
形式ニ流レテ、本當ノ效果ヲ擧ゲナイ例ガ  
屢アリマスノデ、今度こそハ本當ニ一ツ  
思切ツテ、徹底的ニヤツテ貫ヒタイト考ヘ  
マス、問題ノ焦點ハ、結局ハ技術ナリ、科  
學ナリノ低位ニアルト云フコトニ原因スル  
ト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ要望致シマシテ  
私ノ質問ヲ終リマス

○山崎委員長 高橋義治君  
○高橋(義)委員 私人御尋ネ致サウト考ヘ  
マス大體ハ殆ド同僚諸君ノ熱心ナ質疑ニ依  
ツテ盡クサレテ居リマスノミナラズ、尙ホ數  
名ノ通告者ガアルト云フコトデアリマスカ  
ラ、私ハ極メテ簡單ニ、主トシテ運營ニ關  
スル部面ニ限ツテ御尋ネヲ申上ゲテ見タイ  
ト思ヒマス、其ノ前ニ一寸政府ニ御尋ネ致  
シテ置キタイト思ヒマスコトハ、統制法令  
ノ一元化ヲ期スル意圖ハナイカ、斯ウ云フ  
點デアリマス、詰リ總動員法ニ對シテ輸出  
入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律ヲ綜  
合統一セシムル意思ナキヤ、理由ハ省略致  
シマス

○星野國務大臣 此ノ點ハ先日申上ゲタコ  
トモアルノデハナイカト思ツテ居リマスガ、  
要スルニ成ベク總動員法ガ出タ以上ハ、總  
動員法ニ統一スルノガ宜イコトト思ツテ居  
リマス、唯現實ニ既ニ法律ガ出マシテ活動  
致シテ居リマスルモノニ對シマシテハ、法

規ヲ改メルト云フコトノ爲ニ無用ノ摩擦ヲ  
生ズルト云フコトモ考ヘナクチャナラヌト  
思ヒマスルカラ、今後出來ル限リ本法ニ統一  
スルヤウニ持ツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ  
思ツテ居リマス

○高橋(義)委員 其ノ點ハソレデ宜シウゴ  
ザイマス、第二點ハ本法ヲ母法トシテ發布セ  
ラルル法令ノ主管官廳ハ主トシテ商工、農  
林、厚生、大藏等ニ互ツテ居ルト思ヒマス、  
御尋ネヲ致シタイ要點ハ、是等官廳ノ間ニ  
連絡機關ノ如キモノヲ現ニ設ケテ、此ノ法  
律ノ目的達成ノ爲ニ資スル設備アリヤ否ヤ、  
思フニ本法ノ如ク特殊ノ目的ヲ有シ且ツ積  
極性ヲ持ツテ居ルモノニ付キマシテハ、特  
ニ斯ウシタ連絡設備ノ必要ヲ痛感セシメラ  
レルノデアリマス、然ルニ私共ノ考フル所  
ニ依レバ、ドウモ從來法令ヲ、各省トモ生  
ミ放シデ、動モスレババラノ状態ニ置  
カレタ、隨テ斯ウ云フ重大法案ノ實績ト云  
フモノニ對シテ、比較的眞剣ナ檢討ト建設  
的態度トヲ執ツテ居ラナカツタ憾ガアルヤ  
ウニ考ヘラレルノデアリマスルガ、其ノ點  
ハドウ御考ヘニナリマスカ

○星野國務大臣 總動員法ニ基ク各命令ニ  
付キマシテノ主管官廳ハ大體ニ於テ左様ニ  
ナツテ居ルコトハ御話ノ通りデアリマス、  
之ニ對シマシテハ連絡ヲ執ルコト最モ必要  
ナコトハ言フヲ俟チマセス、現在ノ法制ニ  
於キマシテモ之ヲ考ヘテゴザイマシテ、御  
承知ノ通り國家總動員法等ノ施行ノ統轄ニ  
關スル件ト云フ勅令ヲ出シテゴザイマシテ、  
要スルニ之ニ關スル必要ナル命令ヲ發シ又  
ハ廢止變更セントスル場合ニハ內閣總理大  
臣ニ協議スベシト云フコトニナツテ居リマ  
シテ、必ズ企畫院ニ協議スルト云フコトニ

ナツテ居リマス、企畫院ニ於キマシテハ各  
次官及ビ總動員ニ特ニ關係ノアルヤウナ局  
長ヲ集メマシテ、參與會議ト云フモノヲ致  
シマシテ、重要ナル案件ニ付キマシテハ參  
與會議ニ掛ケテヤルト云フコトニ致シテ居  
リマス、唯從來ノ實績ト云フヤウナ點ニ付  
テ、ソレデハ十分ニ活動シテ居ルカドウカ  
ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、出來ル限  
リ活用ハ致シテ居リマスルガ、尙ホ將來更  
ニ活用致シマシテ萬遺憾ナキヲ期シタイト  
思ヒマス、要スルニ官制ノ立場其ノ他ニ於  
キマシテ若シ調整ガ旨ク行カナイコトガア  
リマシタナラバ、ソレハ企畫院ノ責任デア  
リマス

○高橋(義)委員 形式的ナ組織ト申シマス  
カ、機構ト申シマスカ、ソレ等ニ付テ私ハ  
要望致シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、  
實績本位ノ組織デス、相當斯ウ云フヤウナ  
劃期的ナ法案ノ實施ト云フコトニ付テハ、思  
ハザル種々ナ變轉極マリナイ事情ト云フモ  
ノガ到來スル、之ニ善處シテ建設ヲシテ行  
カナケレバナラナイ、之ニ對處スル適切ナ  
組織機構ノ必要ガアルノデハナイカト云フ  
點デアリマス、具體案ハ現ニナイノデアリ  
マスカ、モウ一應伺ツテ置キマス

○星野國務大臣 結局マア其ノ組織ヲ作リ  
マスレバ、恐ラク是ヨリ以上ノ組織ハ出來  
ナイガラウト思ヒマスガ、是非非常ニ重要  
ナルコトト思ヒマス、今後殊ニ其ノ重要ヲ  
増スコトト思ヒマスカラ、規定ニ從ヒマシ  
テ、企畫院ト致シマシテ一ツ組織ヲ作リマ  
シテ、今後方法ヲ案ジマシテ、萬遺憾ナキ  
ヲ期シタイト存ジテ居リマス、結局現實ニ  
於キマシテモ、各主管者間ノ連絡ノ會議等  
ハ始終催シテハ居リマスガ、特ニ總動員法

ノ今後ノ施行ニ付キマシテハ、之ヲ強力ニ實際ノ用ニ合フヤウニ一ツ運行致シタイト思ツテ居リマス

○高橋(義)委員 此ノ點ニ付テハ具體的ナ問題ニ付テ聊カ當局ノ御考ヘノ資料ニモ供シタイト考ヘテ居ルモノモアリマスガ、時

間ノ關係モアリマスカラ其ノ點ハ省略致シマス、當局ヲ信賴致シマシテ其ノ實現ヲ達成セラレコトノ努力ヲ要望シテ此ノ項ヲ終リマス、次ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

コトハ、昨日各委員カラ此ノ法令ヲ周知セシムル方法ニ付テノ懇篤ナ質疑ガ行ハレマシタ、私モ其ノ點ニハ極メテ同感デアリマスガ、私ハ周知セシメル上ニ尙ホ必要ナ

部面ト云フモノハ、只今申上ゲタ實績ヲ昂揚セシムル爲ノ實踐的ナ、ソシテ指導的ナ現實ナ當局ト民衆トノ協力ノ方策ヲ執ルコトガ妥當デハナイカ、例ヘバ各官廳トノ間ニ連絡統制アル一ツノ組織ヲ各適當ナ場所

ニ置イテオイテ、サウシテ配給ト云フモノノ實踐ニ資シテ行ツテ、或ハ統制ニ關スル日常ノ生活ニ關スル其ノ實體ニ觸レタ相談所ヲ設ケル、サウシタヤウナ實踐的ナ部門

ニ入ツテ、サウシテ官廳ガ國民ト協力シテ現實ニ其ノ力ヲ發揮シテ行クト云フ方法ヲ執ルコトガ必要デハナイカ、前問ハ各所管

○高橋(義)委員 內務省關係ノ經濟保安警察ニ於テハ早くモサウシタ方面ニ着目シテ、茲ニ新タナ組織ヲ立テヨウト云フヤウナ目論見デナシツアルト云フコトヲ承ツテ居リマスガ、斯ウシタ點ニ付テ企畫院トノ連絡ガアリマスカ、又サウ云フ内容ニ付テ御存ジニナツテ居ルモノガアリマスカ、之ヲ承ツテ置キタイ

○三浦政府委員 內務省デ只今實施致シテ居リマスノハ、各地方ノ警察署ニ經濟相談所ト云フモノヲ置キマシテ、現在ノ諸般ノ經濟統制ニ關スル事務ニ付キマシテ、色々指導ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ事

ハ豫算計上ノ當時ニ於キマシテモ能ク其ノ事情ヲ聞イ居リマス、サウ云フヤウナコトニ付キマシテノ整備擴充ノ關係ハ只今總裁ノ御答ヘノ通り今後研究致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

令實施後ノ臨時措置法ト國家總動員法ノ總數ヲ合計致シマスナラバ、受理件數十五萬二千五百十五名、之ニ對スル起訴件數五萬三千六百三名、是亦三分ノ一ガ目安ニナツテ居リマス、況ヤ受理スルマデノ道程ニ於テ搜查取調ヲ受ケタ者ヲ計算致シマスナラバ、實ニ此ノ戰時體制下ノ人的資源缺乏ノ時期ニ於ケル恐ルベキ計數ヲ示スコトヲ私共ハ恐怖ノ觀念ヲ以テ考ヘシメラルル者デアリマス、此ノ計數ハ多ク具體的ナ事マデ

○高橋(義)委員 此ノ項ニ付キマシテモ必要性質ヲ痛感セラレマス資料ヲ多少持ツテ居リマスガ、其ノ點モ省略致シマシテ、次ニ斯クノ如キ高度ノ國家目的ニ即應致シマス法令ノ目的達成ノ爲ニハ、特ニ留意シナケレバナラナイ部面ニ取締ノ圓滑、要スルニ取締ヲ軌道ニ乗セル部面ガ、一方機構ノ整備

○星野國務大臣 頗ル御尤モナ御意見ト思ヒマス、部分的ニハ色々ナコトヲ考ヘテ居ルコトガアルト思ヒマスガ、今日ノヤウナ總動員體制ノ進行ニ連レマシテ、各官廳共ニ一ツ廣ク斯カル方法モ考慮致スコトニシ

遺憾ニ存ジテ居リマス、ソレニ對スル政府ノ責任ハ洵ニ重大ナルモノガアルト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ、有ユル方法ヲ盡シマシテ、何トカ斯カルコトノ一人デモ少カラシムルヤウニ努メナケレバナラスト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居リマス、色々具體的ノ方法モアラウト思ヒマスルガ、要ハ根本ニ於キマシテ能ク今日ノ時局ト云フモノヲ國民ニ皆知ツテ戴クト云フコト、又一面ニ於キマシテハ法令ノ周知ト云フコトニ付テモツト政府ガ努メルト云フヤウナコト、其ノ他取扱方ニ付キマシテモ改善スベキ所ガ甚ダ少クナイト思ヒマス、要スルニ總テノ點ニ思ヒヲ廻ラシマシテ、折角今日ノ如ク國力ヲ盡シテ國家ノ建設ノ爲ニ進ムト云フヤウナ時期ニ、却テ此ノ法案ノ犧牲トナリマシテ、力ヲ國家ノ爲ニ致スコトノ出來ナイヤウナ情勢ニナル人ガ一人デモ少クナルヤウニ、出來ルダケ各方面ニ力ヲ集メテ努力致シタイト存ジテ居リマス

○高橋(義)委員 總裁ノ意圖ハ諒トスベキモノガアリマスガ、モウ少シ眞劍ニ斯ウシタ問題ニ付テノ御檢討ヲセシメテ置カレナカッタノカト云フ氣持ヲ抱クノデアリマスガ、今後ノ當局ノ執ララル御方針ニ信賴ヲ致シマシテ此ノ項ハ終リマス

○星野國務大臣 固ヨリ國家總動員法ヲ發動致シマシテ、之ニ基イテ色々ナ統制命令ヲ出ス、是ハ洵ニ已ムヲ得ザルコトデゴザイマスルガ、其ノ法令ノ爲ニ多クノ國民ガ此ノ法網ニ掛リマシテ或ハ固圉ニ泣キ、或ハ法廷ヲ取調ヲ受ケテ居ルト云フ事實ニ對シマシテハ、私ハ洵ニ身ヲ切ラレルヤウニ

柔佛委員會議錄 第五回 昭和十六年二月六日

陽給 常食 云云 三重之ミナ  
ミナ月之ミナ 間行方身ノ女ノ生室ノミナ

三月一日 晴 從方外 女 牛 寶 公

時デアリマスカラ、多少不便ハアリマセウガ、要スルニ外國トノ關係ノ已ムヲ得ザル物資ト云フヤウナモノハ、今差當リドウスルコトモ出來マセスガ、結局生産ヲ擴充スル方法トシテモ、又物資ヲ豐富ナラシムル凡ユル努力工夫ニ依ツテ、今日ノヤウニ物資ガ足ラナイト云フヤウナコトノナイヤウニスル、ソレガ政府ノ大方針デアリ、又私ハ必ズソレハ實行サレルモノデアルト信ジテ居リマス、色々申上ゲテモ、要スルニ中小業者ニ對スル今マデノ不安ヲ一掃スル方法ハ、各方面ニ於ケル全國ノ代表者皆サシテ、此ノ議會ヲ通ジテ能ク政府ノ方針ヲ御諒解下サツタコトト信ジマスカラ、ドウゾ郷里ニ御歸リニナリマシタナラバ、一々其ノコトヲ御披露下サツテ、決シテ中小業者者モ不安デハナイト云フコトヲ御強調シテ戴クコトガ、一番良イコトデアラウト信ジテ居リマス

○星野國務大臣 上田サンノ御話、御尤モト思ヒマス、何レ翼賛會ノ性格ガ明瞭ニナリマシタ曉ニハ、コチラノ方モ何カ之ニ關聯シマシテ、若シ經濟新體制ノ方デ處理ヲスル必要ガゴザイマシタナラバ、必ズ御報告致スコトニ致シマス

○松村(光)委員 殘サレタ問題ノ中デ伺ヒタイコトガアリマス、ソレハ此ノ十八條ノ三ノ規定デアリマス、是ハ昨日中村君カラ大分述べラレマシタコトデアリマスガ、唯其ノ他ニ此ノ十八條ノ三ノ規定ハ、命令ニ依ツテ——命令ヲ發動シタモノニ付テ、是ハ課稅上ノ計算ノ特例若シハ課稅ノ全免ヲアルト云フ規定ニナツテ居ルガ、過日來ノ説明ニ依ツテ命令ヲ發スルト云フコトハ、是ハ主タル目的デナクテ、此ノ規定ガアル

ナラバ命令ヲ發セズト雖モ、傳家ノ寶刀ヲ抜カズニ當初ノ目的ヲ達成スルデアラウト屢、御答ヘニナツテ居リマス、ソレナラバ命令ヲ發スルニ至ラズシテ、勸誘懲懲ニ依ツテ其ノ目的ヲ達成シタル場合、即チ命令ニ準ズベキ場合ニモ、此ノ十八條ノ三ノ規定ヲ適用スルコトガ妥當ナリト考ヘラレマシガ、如何デアリマセウカ

○星野國務大臣 御趣旨ハ能ク分リマスガ、併シ實際ノ取扱ト致シマシテハ、個々ノ規定トシテハ是レ以上、先程御説明申上ゲマシタヤウニ、此ノ條項ニ基クモノ以外ニハ困難デハナイカト思ヒマス、ソコデ一ツ出來得ル限リ其ノ恩典ヲ適用スルヤウニ實際ノ處置ハ講ジタイト思ヒマスガ、此ノ規定ニ依リマス、一般ノ合併其ノ他ノ場合ニ免稅ノ措置ヲ執ルコトハ困難デアラウト存ジテ居リマス

○松村(光)委員 一般ノ合併ト云フノデアリマセス、特ニ必要ガアツテ第十六條ノ二、三、第十八條ノ一項、三項ノ規定ニ依ツテ命令ヲ發スルニ先ダツテ、當局ノ勸メニ依ツテ出來上ツタ、當局トノ狎合ヒデ會社ガ出來タ、サウ云フ場合ナラバ、命令ヲ發スルノハ、結局狎合ヒノ形ヲ以テ命令ヲ發スルコトニナルカラ、ソレナラバ廣義ニ解釋シテ命令ヲ發スルヤウナ場面ニ至ラズシテ出來タヤウナモノ——是ハ結局狎合ヒニ依ツテ命令ヲ發スルト云フコトニナルガ、ダカラ一般ノ合併デヤナイ、サウ云フ風ニ廣義ニ便宜ニヤルト云フコトガ此ノ目的ヲ達成スル趣旨デアラウト思ヒマス、サウデナイト、ヤツテモ宜イケレドモ、命令ヲ發シテ賞フマデハ斯ウ云フ恩典ハ受ケ得ナイト云フコトニナルト、命令ヲ發スルコトヲ待

ツテ居ル、ソレデハ徒ラニ時ヲ經過スルコトニナルカラ、言葉ハ穩カデナイガ、狎合ヒニ依ツテ命令ヲ發スルヤウナ結果ニナル、實質上ハ狎合ヒニナルガ、サウ云フヤウナ場合ヲ想像シテ居ラレカドウカト云フ意味デアリマス

○星野國務大臣 サウ云フ場合ハ大イニ想像シテ下サイ

○村松(光)委員 ソコデ此ノ整理統合ニ付テ租稅ノ減免、計算上ノ特典ヲ與ヘルト云フ此ノ規定ハ、例ヘバ合併登錄稅ノヤウナ一時的ノモノモ大分アルガ、其ノ多クノモノハ其ノ會社ノ存續期間中ハ、當然此ノ規定ノ恩典ヲ繼續スベキモノト考ヘマスガ、左様ニ解釋シテ差支ヘアリマセヌカ

○星野國務大臣 サウデス

○松村(光)委員 次ハ二重課稅ノ問題デアリマス、此ノ第十六條ノ二、三、第十八條ノ一、三ノ規定ニ依リマシテ、會社ノ合同合併ヲ命令シタル場合、自ラソコニ既存ノ會社ト新設ノ組合、會社、團體等トノ間ノ二重課稅ノ問題ガ起ツテ來ル、既存ノ會社ガ全部解消スルニアラズシテ、殘ツテ新ナル團體、組合、會社ガ出來タ場合ハ、所得稅、法人稅、營業稅、利得稅、其ノ他各種ノ租稅ニ於テ二重課稅ノ問題ガ當然起ツテ來ル、從來ノ租稅上ノ規定デハ、持株會社ノ如キ二重會社ニ對シテハ、大體ニ於テ特典ヲ與ヘテ居ラヌノデアルケレドモ、國家ガ命令シテ二重會社、二重團體ヲ拵ヘル場合ニハ、二重課稅減免ノ特典ヲ與ヘルコトガ當然ト思ヒマス、斯カル國家ノ命令ニ依ルモノノ二重課稅ハ減免スルノガ當然デアルト思フノデアリマスガ、左様ニ心得テ宜シウゴザイマスカ

○松村(光)委員 今ノ企畫院總裁ノ答辯ガ頗ル簡明直截デアリマシタカラ、モウ宜シウゴザイマス

○山崎委員長 古島君

○古島委員 昨ハ工場立地ノコトデ一言伺ツテ置キタイト思ヒマス、此ノ法律ハ昭和十三年ノ五月五日ニ施行サレマシテ、今日マデマダ僅カノ年月日デアリマス、而モ今回ノ改正ヲ見ルト、僅カ五十條ノ中二十五箇條ガ改正サレ、五箇條ノ新シイ條項ガ挿入サレタノデアリマス、之ヲ片端カラ讀ンデ見ルト、工場ノ管理、土地管理、事業所ノ管理ト云フヤウナコトハアリマスガ、工場ノ立地ニ付テハ毫モ御心配ナサレテ居ラヌヤウデアリマス、所ガ實際カラ申スト、工場ヲ或ル一ツノ所ニ集中スルト云フコトハドウデアラウカ、是ハ今後ノ國防上カラモ考ヘナケレバナラヌガ、此ノ點等ヲ御考慮ノ中ニ入レテ、此ノ國家總動員法ハ拵ヘラレ

○松村(光)委員 次ハ二重課稅ノ問題デアリマス、此ノ第十六條ノ二、三、第十八條ノ一、三ノ規定ニ依リマシテ、會社ノ合同合併ヲ命令シタル場合、自ラソコニ既存ノ會社ト新設ノ組合、會社、團體等トノ間ノ二重課稅ノ問題ガ起ツテ來ル、既存ノ會社ガ全部解消スルニアラズシテ、殘ツテ新ナル團體、組合、會社ガ出來タ場合ハ、所得稅、法人稅、營業稅、利得稅、其ノ他各種ノ租稅ニ於テ二重課稅ノ問題ガ當然起ツテ來ル、從來ノ租稅上ノ規定デハ、持株會社ノ如キ二重會社ニ對シテハ、大體ニ於テ特典ヲ與ヘテ居ラヌノデアルケレドモ、國家ガ命令シテ二重會社、二重團體ヲ拵ヘル場合ニハ、二重課稅減免ノ特典ヲ與ヘルコトガ當然ト思ヒマス、斯カル國家ノ命令ニ依ルモノノ二重課稅ハ減免スルノガ當然デアルト思フノデアリマスガ、左様ニ心得テ宜シウゴザイマスカ

○松村(光)委員 今ノ企畫院總裁ノ答辯ガ頗ル簡明直截デアリマシタカラ、モウ宜シウゴザイマス

○山崎委員長 古島君

○古島委員 昨ハ工場立地ノコトデ一言伺ツテ置キタイト思ヒマス、此ノ法律ハ昭和十三年ノ五月五日ニ施行サレマシテ、今日マデマダ僅カノ年月日デアリマス、而モ今回ノ改正ヲ見ルト、僅カ五十條ノ中二十五箇條ガ改正サレ、五箇條ノ新シイ條項ガ挿入サレタノデアリマス、之ヲ片端カラ讀ンデ見ルト、工場ノ管理、土地管理、事業所ノ管理ト云フヤウナコトハアリマスガ、工場ノ立地ニ付テハ毫モ御心配ナサレテ居ラヌヤウデアリマス、所ガ實際カラ申スト、工場ヲ或ル一ツノ所ニ集中スルト云フコトハドウデアラウカ、是ハ今後ノ國防上カラモ考ヘナケレバナラヌガ、此ノ點等ヲ御考慮ノ中ニ入レテ、此ノ國家總動員法ハ拵ヘラレ

ナケレバナラヌト思フノデアリマス、分散  
分散ト言フガ、分散ニ付テハ又極メテ便利  
ナ世ノ中ニナツテ参リマシテ、昔ナラ「ボ  
イラー」ヲ据付ケテ石炭ヲ焚クト云フヤウ  
ナコトカラ、中々移轉ハ出来ナカツタガ、  
今日デハ電氣動力ヲ使ヒマスノデ、僅カ  
費用ヲ掛ケレバ工場ノ移轉モ何モ出来ル  
デアリマス、斯ウ云フ場合デアルカラ、工  
場ノ管理、事業所或ハ土地ノ管理ト云フヤ  
ウナコトヲ考ヘルト共ニ、一定ノ場所ニ工  
場ガ出来タナラバ、ドレダケノ便利ガアル  
カ、ドレダケノ不利益ガアルカト云フコトヲ  
考ヘテ、何處カニサウ云フ法條ヲ入レル必  
要ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、此ノ  
改正案ヲ拵ヘル時ニハ、サウ云フヤウナ御考  
ハナカツタモノデアリマスカドウカ、其ノ  
點ヲ承ツテ置キタイ

○星野國務大臣 洵ニ御尤モナ御意見デ  
ザイマス、結局ハ國土計畫、之ヲ小ニシ  
テハ各地方ノ都市計畫ニ依ツテ定メテ行ク  
コトニナラウト思ヒマスガ、現在直チニソ  
コマデ積極ノ規定ヲ設ケル積リハ實ハマ  
ダナイノデアリマス、併シナガラ法第十三  
條ノ三ト云フモノハ、場合ニ依ツテハサウ  
云フ規定ヲナシ得ルコトニナルノダラウト  
思ヒマス、併シソレ等ノ點ニ付テハ、モウ少  
シ國土計畫其ノ他ノ確案ヲ得マシテ之ヲ實  
行スルガ適當デアルト考ヘテ居リマス、  
何カ國土計畫ニ關スル法律ノ研究ハ段々  
進シテ居ルヤウデアリマスガ、マダ此ノ議  
會ニ提出スルマデニハ至ラナカツタト云フ  
ヤウニ御承知ヲ願ヒマス

○古島委員 十三條モ實ハ私丁寧ニ讀ンデ  
見タノデアリマスガ、ドウモ十三條デハ工  
作物ヲ管理スルトカ、或ハ土地若クハ家屋

ヲ管理、使用スル、收用スルト云フコトダケ  
デアツテ、其ノ事業所ナリ工場ナリ其處  
ニアツテハイカスカラ、之ヲ他ヘ移轉シロ  
ト云フヤウナ命令ハ到底出セヌヤウニ思フ、  
是ハ私モ餘程時局重大ダト言ハレタノデ神  
經質ニナツタカモ知レマセヌガ、能ク考ヘ  
テ見レバ、東京カラ北福岡マデヲ調ベテ見  
マス、東京、神奈川ノ京濱工場「ブロック」、  
靜岡、愛知邊リノ東海工場「ブロック」、京  
都、大阪、兵庫ノ京阪神工場「ブロック」、  
岡山、廣島、山口ノ山陽工場「ブロック」、  
福岡一帯ノ北九州工場「ブロック」ト云フヤ  
ウニ見テミマス、若シ敵ノ飛行機デモヤ  
ツテ來ルヤウナ場合ニナツタラ、東京ノ蒲  
田カラ北九州マデ一直線ニナツテ居ルノデ、  
其ノ一直線上ヲ一ツノ飛行機デズツト爆破  
シテ行クヤウニナツタラ、天下ノ一大事ガ  
起ルノデアリマス、之ニ備ヘルト云フコト  
コソ大事デアル、ソレデナケレバ幾ラ勞務  
ヲ動員シ、物資ヲ動員シヤウガ、工場ガ片  
端カラ叩キ潰サレルト云フヤウニナルト容  
易ナコトデハアリマセヌ、而モ是デ最モ危  
險ナコトハ、自分ガ宣傳其ノ他教育等ニ重  
大關係ノアリマス印刷工場デアルトカ、大  
新聞社デアルトカ云フノガ悉ク此ノ中ニ入  
ツテ居ルノデアリマス、斯ウナリマススト  
レヲ目掛ケテ爆破スルト云フコトニナレバ、  
日本ノ宣傳機關若シハ文化機關ト云フモ  
ノハ、一切ナクナツテシマフト云フコトニ  
ナルト一大事デアリマス、先ヅ斯ウ云フ總  
動員法擴大ノ時ニハ是等ノコトヲ考ヘテ掛  
ラネバナラヌコトト私ハ考ヘテ居リマス、  
ソレニ考ヘテ及ボサズシテヤリマシテ、何  
モ彼モ法律ヲ拵ヘテ、勅令ヲコンナニ多ク  
出シテ——總動員法ノ出來タ時ニハ誰デモ

三十カ四十位ノ勅令ガ出ルデアラウト擲揄  
スル積リデ言ツタモノデアル、所ガ實際ニ  
ナルト驚ク勿レ六、七十モ出テ居ル、サウシテ  
省令ガ百モ出テ居ル、其ノ間ニ告示ガ出ル、  
其ノ勅令ガ時々改正サレルト云フヤウナコ  
トデハ、法律ヲ幾ラドツサリ拵ヘテ見マシテ  
モ、元方ヲ潰シテシマフコトニナツテドウ  
ニモナラヌノデアリマスカラ、之ニ付テ至  
急何等カノ策ヲ講ズルカ、何カ一箇條デモ  
入レテ見タイト云フ希望ハ出ナイカドウカ、  
或ハ之ヲ入レル譯ニイカヌト云フナラバ、  
工場立地ニ付テハ特別ノ立法デモスルト云  
フヤウナ御考ヘガアルカドウカ承リタイ

○星野國務大臣 洵ニ御尤モナ御心配デ  
ザイマシテ、ソレハ今ノ日本ノ一ツノ大キ  
ナ弱點デアルト云フコトハ事實デアラウト  
思ヒマス、併シソレニ付キマシテハ今日生  
產擴充ヲ致シテ居ル際ニ、餘リ工場其ノ他  
ノ移轉ト云フ問題ヲ起シテ、ソコニ又非常  
ナ不安ヲ起スト云フコトモ考ヘナケレバナ  
ラヌコトト思ヒマス、結局第十六條ニ依リ  
マシテ、新シイ工場ヲ作ルト云フヤウナ場  
合ニ付キマシテハ、相當新設ノ制限其ノ他  
ハ致スコトガ出來ル譯デゴザイマス、要ス  
ルニ今後益、サウ云フ情勢ニナルコトヲ防  
グト共ニ、相當ノ方途ヲ講ジマシテ、是ハヤ  
ハリ計畫のニヤラナケレバイカスト思ヒマ  
シテ、現在防空當局其ノ他ト眞剣ニ色々考  
究中ノ狀態ニナツテ居リマス、若シ必要ガ  
アリマスレバ別途方策モ講ジナケレバナラ  
ヌノデゴザイマスガ、現在ト致シマシテハ、  
兎ニ角在ルモノニ付キマシテハ防空上ノ色  
色ノ施設ヲナシ、サウシテ將來ノ態勢ト云  
フモノヲ成ベク理想的ノ方ニ持ツテ行ク、  
斯ウ云フヤウナ方針デ進ンデ居ル譯デゴザ

イマス  
○古島委員 成程十六條ニ依ツテ新設、擴  
張、改良ト云フ場合ニハ制限ガ出來ル、是  
ハ洵ニ結構ナコトデアリマスガ、現ニ此ノ  
法律ガ十三年五月五日ニ施行サレテ、其ノ  
後工場ガドン／＼新設サレツツアリマスガ、  
其ノ工場ニ向ツテ、其處ニ拵ヘテハイカス  
ト云フヤウナコトヲ言ハレタ工場ハ、恐ラ  
ク蒲田カラ北九州マデノ間ニナイト思ヒマ  
ス、サウ致シマス、今言ウタヤウナ考ヘ  
デ行クト云フナラバ、今日マデモ空襲ト云  
フコトノ御心配ガアツタデアリマセウカラ、  
多少ハ御注意ヲナスツテ然ルベキダト思フ  
ノデアリマス、ドウ云フモノデアリマスガ、  
心ソコニナクンバ、假ニドウ云フモノヲ拵  
ヘテ置イデモ、サウ云フ注意ガ出來ヌノデ  
アリマス、企畫院ニ於テ今日ノ工場ヲドウ  
思召スカ知ラスガ、今デモ政府ノ諸公ヤ何  
カ皆言ウテ居リマス、日本ハ人口ガ多イカ  
ラ滿洲ニヤルノダ、人ガ溢レテ居ルカラド  
ウスルト云フヤウナコトヲ言ウテ居ルガ、  
企畫院ハ人間ガドレ位日本ニ住メルカト云  
フ計數ニ基イテ、斯ウ云フ方面ノ計畫ヲ立  
テテ居ルカドウカ、私ノ未熟ナ考ヘニ依レ  
バ少クトモ日本ニハ二億ヤ二億五千万人ノ  
人間ガ居ツテモ、一向狹過ルコトハナイ、  
ソレハ日本内地ダケデ一切ノ製造モ消費モ  
悉クヤラウト云フヤウナ料簡デハイカス  
ガ、本當ニ東亞ノ大「ブロック」ヲ作ツテヤ  
ルト云フ時ニハ、日本ハ精密工業ナラ精密工  
業ヲ此ノ土地ニ於テヤル、サウシテ稍、粗製  
ノ機械デアルトカ器具デアルトカ云フヤウ  
ナモノヲ、大陸ニ於テヤルト云フヤウナコ  
トヲ考ヘレバ、二億ヤ二億五千万人位ナ  
人間ガ住ンデモ一向狹クナイ、サウ云フ考ヘ

デ今後計畫ヲ立テヤツテ戴カナケレバ大變ダト思フノデアリマス、總裁ガ幸ヒニ御生存中ニ人間ガ殖エナイト云フナラ別デアリマスガ、國家百年ノ大計ヲ樹テネバナラス、實際日本ノ政治家ハドウモ眼光ガ狭過ギテ非常ニ失敗シテ居ルノデアリマス、十三年ニ法律ヲ拵ヘテ、僅カ二年經ツテ二十五箇條モ改正シナケレバナラスヤウナ、二年先ノ見透シモ付カヌ、或ハ不擴大主義ヲ執リ、現地解決主義ヲ主張シテ居リナガラ、一箇月後ノ見透シモ付カヌデ今日ノヤウナ時局ニナルト云フヤウナ政治家デハイカヌ、愈、事ガ起ルナラ、百年後ニ目ガ届クヤウナ政治ヲヤツテ貰ハナケレバナライノデアリマスガ、企畫院ハドウ云フ御考ヘデ一切ノ企畫ヲ立テテ居ルカ、今日ノ日本ノ領土内ニ於テドレダケ人間ノ收容力ガアルト考ヘテ企畫ヲ立テテ居ルカ、其ノ點ヲ承リタイ

○星野國務大臣 洵ニ今日ノ日本ノ一ツノ弱點ヲ衡イタ御心配ノ點ニ對シマシテハ、非常ニ同感デゴザイマス、何人住メルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、日本ハ寧ロ現在ノ所デハ何人住メルカト云フコトヨリモ、現狀ノ儘ニ於キマシテハ、人口ノ増加ト云フコトニ付テモツト力ヲ入レナケレバナラス、詰リ先ツ幾人デモ住メルト云フ風ニハ考ヘテ居リマス、併シソレヲ大東亞ノ中心ト致シマシテ考ヘテ見マス場合ニ、日本ノ民族ヲドウ云フ風ニ配分スルカト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ第十六條ヲ早ク適用シテ今マデノ間ニ處置ヲ執ラナカツタノハ甚ダ怠慢デハナイカト云フ御話ニ付テハ、或ハドウモサウデヤナイカト云フヤウナ氣モ致シマス、洵ニ相濟ミマ

セヌガ、一ツ此ノ點ハ各方面トモ最近ニナリマシテ特ニ眞劍ニ考慮シテ居ル際デアリマスカラ、本條デ以テ使ヘルモノニ付キマシテハ、本條ヲ活用致シマシテ、御心配ノヤウナ點ニ付キマシテハ速力ニ策ヲ立テタイト存ジマス

○古島委員 實際ソレハ企畫院總裁ノ御話デ私モ安心致シマシタガ、是ハ重大ナ問題デス、眞劍ニ考ヘテ戴カナケレバナラスノデアリマス、今皆心配ヲ致シマシテ、斯ウ云フ平地ガナクナツテシマツタカラ住メヌ或ハ山ノ上ニハ雪ガ積ツテ住メヌト云フヤウナケチナ考ヘヲシテ居ル連中モアリマス、所ガ實際ニ能ク心ヲ落着ケテ考ヘテ見レバ、太平洋ノ水ト日本海ノ水ヲ全部乾シテシマツタナラバ、吾々ハ山ノ上ニ住ンデ居ルト言フ人ガヨクアリマスガ、ソレハ其ノ通りデアラウト思ヒマス、今コソ平地ニ住ンデ居ツテ、山ノ上ニハ住メヌト云フテ居リマスガ、若シ太平洋ノ水ト日本海ノ水ヲ全部乾シテシマツタナラバ、吾々ハ山ノ上ニ住ンデ居ルニ住ンデ居ル譯デアラウト思フ、本當ニ吾々ノ住ムニハ今日モウドウニモナラヌト云フヤウニ言ハレテ居ルガ、吾々ハ山ノ天邊ニ住ンデ、斯ウ云フ平ラナ所ニハ全部工場ヲ建テテシマフト云フヤウナ積リデ、今日カラ人間ノ分布ト云フコトヲ能ク考ヘテ、一切ノ計畫ヲ立テナイト、又五十年、七十年經ツト、トンデモナイコトニナルノデアリマスカラ、マア太ッ腹ノ企畫院總裁ハ其ノ御積リデ大イニヤツテ戴キタイト云フコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマ

○山崎委員長 中村梅吉君

○中村(梅)委員 私ハ改正條文ノ中デ、今マ

デ質疑ノ行ハレナカツタ條文ニ付テ、二、三疑義ヲ質シタイト思ヒマス、第十條、第十三條、第十四條等ニ「總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ハ收用セシムルコトヲ得」トアリマスガ、此ノ使用若シクハ收用ノ必要ノ有無ニ付テハ政府ガ決定スル、斯ウ云フヤウニ承知致シテ居リマスガ、此ノ政府ト云フノハ、一體政府ノ何處デ御決定ニナルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○星野國務大臣 是ハソレノ業務ニ應ジマシテ、ソレノ主務大臣ガアル譯デアリマスカラ、主務大臣ノ權限ト云フコトニナリマスガ、實際ノ處置ト致シマシテハ、主務大臣ハ必要ナル場合ニ於キマシテハ地方長官ニ委任シ得ルコトモアルカト存ジマス

○中村(梅)委員 第十八條ノ第三項デアリマスガ、「第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ政府ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得」トアリマスガ、此ノ「必要ナル處分」ト云フノハ、是ハ強制設立ヲ命ズルノデアリマスカラ、若シソレヲ設立シナイ場合ニハ、設立ノ代執行ヲスルコトニナルノデアリマスガ、代執行ヲスルコトニハ一體ドウ云フ概念デ行クノデアリマスカ、ソレヲ承リタイ

ノ場合ニ於キマシテハ、是ハ會社法ノ規定ガアリマシテ、會社ノ設立ノ際ハ其ノ創立總會ヲ招集致シマスツカ、其ノ他色々手續ガアリマス、是等ノ法規的手續ヲヤルト云フコトハ、商法等ノ關係ニ於テ、事實中込入ツタ困難ナ問題ガアルト思ヒマス、併シ最後ノ手段ト致シマシテ、設立ヲ命ジヨウトスルモノ全部ニ對シテ設立命令ヲ出セバ、是ハ罰則ノ規定モアリマスシ、實際出來ルコトニナリマス、又一部ノ關係者ガ設立命令ニ應ジナイト云フヤウナ場合ニハ、其ノ業務ノ廢止ヲ命ズル、或ハ事業設備ノ讓渡ヲ命ズルト云フヤウナコトモ出來ル譯デアリマス、實ハ尙ホ打明ケテ申上ゲマス、此ノ第十八條第六項ニ「第一項ノ團體又ハ會社ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスノデ、此ノ三項ノ規定ハ必ズシモ法理論トシテハ絕對ニ必要デナク、或ハ勅令デ決メタルコトモ考ヘラレルノデハナイカトモ思ハレル譯デアリマス、實ハ此ノ規定ハ今度ノ改正案ノ出ル前カラ既ニ入ツテ居リマス、ソレヲ落ス必要モナイ譯デアリマスノデ、前ノ通り入レテアリマス、甚ダ説明ガ込入ツテ居リマスガ、實ハ左様デアリマス

○中村(梅)委員 ソレハ前カラアリマスガ、今度團體ト云フモノガ新タニ加ハリマシタカラ御尋ネシタ譯デアリマス、次ニ第十八條ノ二デアリマスガ、強制讓渡或ハ強制設備ノ場合デアリマス、第十八條ノ二ニ「第十六條ノ一ノ規定ニ依リ設備若ハ權利ノ讓渡若ハ出資ヲ命ジ又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ命ジタル場合ニ於テ讓渡者又ハ出資者ノ負擔スル債務ノ承繼及其ノ擔保ノ處理ニ關シ必要ナル事項ハ勅令

一二四

ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ、債務ノ承繼  
及ビ其ノ擔保ノ處理——主ニ擔保ノ處理デ  
アリマスケレドモ、此ノ擔保ノ處理ハ、讓  
渡人ノ負擔ニ於テスルノデアルカ、或ハ強  
制讓渡ニ於テ讓受ケタ側ノ承繼人ノ負擔ニ  
於テスルノデアリマスガ、讓渡人ノ負擔ニ  
於テスルノデアアルナラバ、破産ノ場合ニ第  
三者ノ財産、特定人ノ財産ヲ管理スル管理  
人ヲ置クヤウナ工合ニ、何カ適切ナル鑑定  
人デモ置カナケレバ、讓渡人ノ負擔ニ於テ  
擔保處分ガサレト云フコトニナルト、其  
ノ利害關係ガ極メテ複雑ナルモノニナルト  
思ヒマスノデ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイ

○竹内(德)政府委員 只今ノ十八條ノ二ノ  
規定ハ、當初説明ニ申上ゲマシタ通り、設  
備、權利ノ讓渡、出資或ハ事業ノ讓渡、斯  
ウ云フ風ナ事柄ヲ圓滑ニ行ハシムル爲ニ設  
ケタ規定デゴザイマシテ、設備、權利、或  
ハ事業、斯ウ云フモノニハ多クノ場合ニ於  
テ事業ノ關係上、債務ガ伴ツテ居ル、又其  
ノ債務ノ關係カラ或ハ抵當權ガ設定シテア  
ル、或ハ大キナモノニナリマス、工場財  
團ト云フヤウナモノガ出來テ居ルコトモ考  
ヘラレル譯デアリマス、其ノ債務ノ承繼モ、  
普通ノ場合ニ於キマシテハ、設備ノ讓渡ヲ命  
ジテ、設備ハ讓渡サレマシテモ、債務ハ讓渡  
ヲ命ゼラレマシタ元ノ權利者ガ依然トシテ  
持ツテ居ツテ負擔スル譯デアリマス、併シ  
是ハ債權者保護ノ考ヘカラ申シマシテモ、  
斯ウ云フ場合ニハ寧ロ設備ノ讓渡ヲ受ケタ  
者ノ方ニ、其ノ債務ノ肩替リヲサセルコト  
ガ、適當デアラウト云フコトモ考ヘラレル、  
左様ナ場合ニ民法或ハ商法、斯ウ云フモノ  
ニ對スル例外的ナ規定ヲスル、手續ヲ簡易  
ニシ、債權者モ保護シ、同時ニ關係者ニモ

便利ナヤウニ斯ウ云フ規定ヲスル必要ガア  
ルダラウト考ヘラレル譯デアリマス、尙ホ  
十六條ノ二或ハ三ノ如キハ、最後ニ政府ノ  
補償ノ規定ガゴザイマス、サウ云フヤウナ  
關係デ、今アリマス民法、商法——擔保ノ處  
理ニ付キマシテモ、是ハ御承知ノ工場抵當  
法トカ色々特別法ニ於キマシテ、擔保物ノ  
處理ニ付テノ色々ナ制限ガゴザイマス、實  
際斯ウ云フヤウナモノノ讓渡ヲ簡便ニシテ、  
手續ヲ敏活ニシ、實際ニ合フヤウニスル爲  
ニ、是等ノ特別法、或ハ民法、商法等ノ例  
外規定ヲ設ケルヤウナ必要ノ起ル場合モア  
リマス、是等ハ必要ニ應ジテ勅令ヲ以テ定  
メ得ル、斯ウ云フ意味ノ規定デアリマス

○中村(梅)委員 ソレカラ第三者、總動員  
業務ヲ行フ者ヲシテ補償負擔ヲセシムル  
場合ガ今度新シク出來タ譯デスガ、其ノ場  
合ニハ今マデ國家ガ補償ヲ負擔スル場合ニ  
ハ、補償審査委員會ニ掛ケテヤツテ居リマス  
ガ、ヤハリソレト同一ノ手續ヲシテ行ク譯  
デアリマスガ  
○竹内(德)政府委員 御話ノ通りデゴザイ  
マシテ、今度補償委員會ニ關スル規定モ、  
其ノ意味デ書イテゴザイマス、二十七條ノ  
末項ニ政府以外ノモノガ收用使用シタ場合  
ハ損失ヲ補償スベシトアリマス、補償委員  
會ニヤハリ掛ケル、是ハ公正ヲ期スル爲デ  
アリマス  
○中村(梅)委員 最後ニ一點ダケ是非伺ヒ  
タイト思ヒマスガ、各般ノ統制ノ強化ニ件  
ヒマシテ、統制會社ガ非常ニ澤山アリマス、  
今日モ私貴ヒマシタモノデ數ヘテ見マシタラ、  
大變ナ數ニナツテ居リマスガ、是等ノ統制  
會社ニ介在致シマシテ、世間デ俗ニ言ツテ  
居ル統制「ブローカー」ト云フ者ガ非常ニ跋

扈シテ居ル、此ノ統制「ブローカー」ト云  
フ者ハドウ云フ者カト云フト、當業者デハ  
ナイ、當業者ニアラザル者デアリマスガ、  
會社サウ云フ業界ノ間ヲ縫ツテ「ブローカー」  
ヲヤツテ居ツタトカ、或ハ何カノ緣故デ、サ  
ウ云フ業界ノ組合員ニナツテ居ツタトカ、  
或ハ關聯ヲ持ツテ居ツタ者ガ、統制ヲ行フ  
當局官廳ニ參リマシテ、當局ノ擔當者ニ如  
何ニモ革新人物ノ氣取ヲシテ、當局官吏ニ  
話シ込ム、此ノ革新人物ナラ宜イト云フ  
ノデ、ソレヲ捉ヘテ統制會社ノ中心ニ入レテ、  
專務理事トカ、或ハ事務取締役ニシテ運用  
ヲシテ居ル所ガ、今日ノ統制會社ノ中ニハ  
澤山アルノデアリマス、是ガ私ハ業界人ノ  
大ナル不滿ニナツテ居ルト思フ、隨テ業界  
ノ此ノ實情モ事實ハ知ラナイ、而モ實情ニ  
即シナイ革新的ノヤウナ空理空論ヲ言ツテ、  
役人ノ擔當者ニ共鳴スルヤウナ議論ヲシテ  
取入ツテ、其ノ統制會社ノ重鎮トシテ采配ヲ  
振ル、俗ニ之ヲ稱シテ統制「ブローカー」ト  
言ツテ非難シテ居リマスガ、是等ハ根本的  
ニ改善ヲスル必要ガアル、私ハ國家ノ是等  
ノ綜合計畫ヲ進メテ行ク上ニ於テハ、ドウ  
シテモ必要ダト思フノデアリマスガ、此ノ  
點ニ付テ綜合的計畫ノ中心デアアル企畫院總  
裁ハドウ云フヤウニ御考ヘニナツテ居リマ  
スカ承リタイ

○星野國務大臣 洵ニ御尤モナ點デゴザイ  
マス、斯ノ如キコトノナイヤウニ、出來ル  
ダケ力ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス  
○中村(梅)委員 宜シウゴザイマス  
○山崎委員長 一昨日中村三之丞君カラ御  
希望ノアリマシタ資金計畫ニ付テ、祕密會社  
モ開イテ政府ノ説明ヲ聽キタイト云フ御希  
望ガアツタノデアリマスガ、其ノ事ニ付キ

マシテ大藏大臣トモ相談ヲ致シテ見マシタ  
ガ、政府ノ方デハマダ資金計畫ヲ祕密會社  
雖モ御話スルダケノ程度ニ仕事ガ進ンデ居  
ラナイヤウデアリマスノデ、遺憾ナガラ中  
村君ノ御要求ヲ達成スルコトガ出來ナカツ  
タ譯デアリマスカラ、ドウゾ惡シカラズ、  
是デ御通告ノ質問ハ大體終了致シマシタ、  
尤モ最初質問ノ希望ヲ御通告ニナツテ居ル  
方デ、此ノ委員會ニ殆ド缺席勝ノ御方ガ二  
三殘ツテオイデデアリマスケレドモ、イツ  
御出席ニナルカモ中々豫定ガ付キニクイヤ  
ウニ見受ケマスノデ、當委員會ノ質問ハ之  
ヲ以テ終了ト看做シマシテ差支ゴザイマス  
マイカ——尙ホ先例モアルコトデアリマス  
カラ、討論ニ先ダツテ質問漏レノコトハ又  
必要ニ應ジテ許スト云フコトモアル譯デア  
リマスカラ、其ノ意味ニ於テ質問ハ此ノ程  
度ヲ以テ終了ト致シテ如何デアリマセウカ  
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○山崎委員長 ソレデハ御異議ガアリマセ  
ヌケレバ左様決定致シマス、一寸速記ヲ止  
メテ……〔速記中止〕  
○山崎委員長 速記ヲ始メマス、ソレデハ  
本日ハ之ヲ以テ散會致シマス  
午後六時十六分散會

昭和十六年二月七日印刷

昭和十六年二月七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局